

三菱電機株式会社
エネルギー計測ユニット
EcoMonitorLight/EcoMonitorPlus
形名： EMU4-BD1-MB/EMU4-HD1-MB
EMU4-BM1-MB/EMU4-HM1-MB
EMU4-LG1-MB
EMU4-A2/EMU4-VA2
EMU4-AX4/EMU4-PX4

サンプル画面説明書

サンプルのご利用について

サンプル用の画面データ、取扱説明書などのファイルは、以下の各項に同意の上でご利用いただくものとします。

- (1) 当社製品をご使用中またはご使用検討中のお客様がご利用の対象となります。
- (2) 当社が提供するファイルの知的財産権は、当社に帰属するものとします。
- (3) 当社が提供するファイルは、改竄、転載、譲渡、販売を禁止します。
但し、内容の一部または全てをお客様作成の機器やシステム内の当社製品上でご利用いただく場合は、その限りではありません。また、当社製品をご利用いただいたお客様作成の仕様書、設計書、組み込み製品の取扱説明書などへの転載、複製、引用、レイアウトの変更についてもその限りではありません。
- (4) 当社が提供するファイルやそのファイルから抽出されるデータを利用することによって生じた如何なる損害も当社は補償をいたしません。お客様の責任においてご利用ください。
- (5) 当社が提供するファイルに利用条件などが添付されている場合は、その条件にも従ってください。
- (6) 予告なしに当社が提供するファイルの削除や内容の変更を行うことがあります。
- (7) 当社が提供するファイルのご使用に際しては、対応するマニュアルおよびマニュアルで紹介している関連マニュアルをよくお読みいただくと共に、安全に対して十分に注意を払って正しい取扱いをしてください。

目次

改訂履歴	5
1. 概要	6
2. システム構成	6
3. GOTについて	7
3.1 自動で選択されるシステムアプリケーション	7
3.2 作画ソフトウェアの接続機器の設定	7
4. エネルギー計測ユニットについて	8
4.1 対象機種	8
4.2 エネルギー計測ユニットの通信設定	8
5. 画面仕様	9
5.1 表示言語	9
5.2 画面遷移	9
5.3 画面説明	13
5.3.1 メニュー (B-30001)	13
5.3.2 現在値モニタ 1 (B-30002)	15
5.3.3 現在値モニタ 2 (B-30003)	16
5.3.4 現在値モニタ 3 (B-30004)	17
5.3.5 現在値モニタ 4 (B-30005)	18
5.3.6 現在値モニタ 5 (B-30006)	19
5.3.7 現在値モニタ 6 (B-30007)	20
5.3.8 現在値モニタ 7 (B-30008)	21
5.3.9 現在値モニタ 1_増設 (B-30009)	22
5.3.10 現在値モニタ 2_増設 (B-30010)	23
5.3.11 現在値モニタ 3_増設 (B-30011)	24
5.3.12 現在値モニタ 4_増設 (B-30012)	25
5.3.13 現在値モニタ 5_増設 (B-30013)	26
5.3.14 現在値モニタ 6_増設 (B-30014)	27
5.3.15 現在値モニタ 1_LG (B-30015)	28
5.3.16 現在値モニタ 2_LG (B-30016)	29
5.3.17 現在値モニタ 3_LG (B-30017)	30
5.3.18 現在値モニタ 4_LG (B-30018)	31
5.3.19 現在値モニタ 1_AX (B-30031)	32
5.3.20 現在値モニタ 2_AX (B-30032)	33
5.3.21 現在値モニタ 3_AX (B-30033)	34
5.3.22 現在値モニタ 4_AX (B-30034)	35
5.3.23 現在値モニタ 5_AX (B-30035)	36
5.3.24 現在値モニタ 1_PX (B-30041)	37
5.3.25 電力量グラフ (B-30019)	38
5.3.26 総合電流グラフ (B-30020)	40
5.3.27 パラメータ設定 1 (B-30021)	42
5.3.28 パラメータ設定 2 (B-30022)	43
5.3.29 パラメータ設定 1_増設 (B-30023)	44
5.3.30 パラメータ設定 2_増設 (B-30024)	45
5.3.31 パラメータ設定 1_LG (B-30025)	46
5.3.32 パラメータ設定 1_AX (B-30051)	47
5.3.33 パラメータ設定 2_AX (B-30052)	48

5.3.34	パラメータ設定 3_AX (B-30053)	49
5.3.35	パラメータ設定 4_AX (B-30054)	50
5.3.36	パラメータ設定 1_PX (B-30061)	51
5.3.37	アラーム履歴 (B-30027)	52
5.3.38	アラームリセット (W-30001)	54
5.3.39	時計&言語設定 (W-30002)	55
5.3.40	対象局&回路設定 (W-30010)	56
5.3.41	相線式 (W-30011)	57
5.3.42	センサ種別 (W-30012)	58
5.3.43	計測モード設定 (W-30013)	59
5.4	使用デバイス一覧	60
5.5	コメント一覧	65
5.6	レシピ一覧	67
5.7	ロギング一覧	68
5.8	スクリプト一覧	71
6.	GOT 上での MODBUS®アドレスの指定方法について	103
6.1	アドレスの置き換え方法	103
6.2	計測ユニットの計測値をモニタ表示する例	103
7.	グラフ・ロギングについて	106
7.1	ロギング詳細	106
7.2	ロギング項目を追加する例	109
7.3	ヒストリカルトレンドグラフに表示する過去データを増やす例	110
7.4	追加したロギング項目をヒストリカルトレンドグラフに表示する例	111

改訂履歴

サンプル画面説明書

改訂日付	管理番号*	改訂内容
2015/10	e-GOT-003	初版
2016/11	e-GOT-003-2	EMU4-AX4/EMU4-PX4 対応

* 管理番号は、右下に記載しています。

プロジェクトデータ

改訂日付	プロジェクトデータ	GT Designer3*	改訂内容
2015/10	e-GOT-003. GTW	1. 134Q	初版
2016/11	e-GOT-003-Ver2. GTW	1. 156N	EMU4-AX4/EMU4-PX4 対応

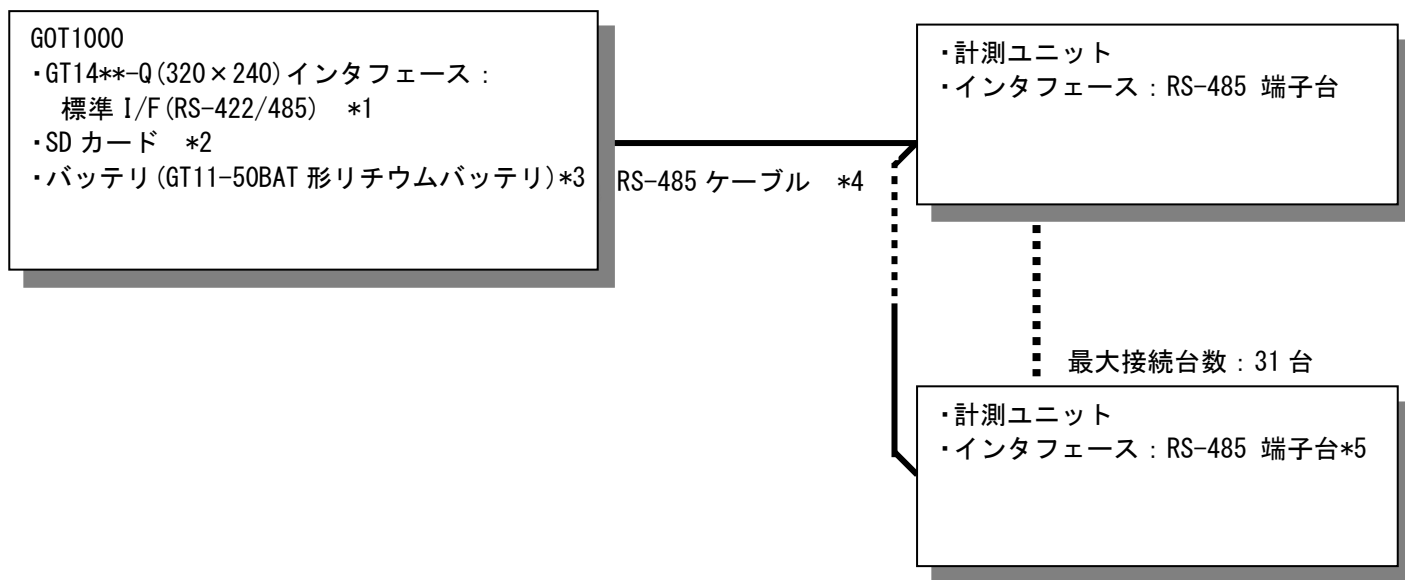
* プロジェクトデータ作成時に使用した作画ソフトウェアのバージョンです。記載したバージョンと同等、またはそれ以降のバージョンの作画ソフトウェアを使用してください。

1. 概要

GOT1000 と計測端末 エネルギー計測ユニット EcoMonitorLight/EcoMonitorPlus(以下、計測ユニットと省略)を MODBUS[®]/RTU(RS-485) で接続し、電流、電力、電力量のモニタなどを行うサンプル画面の説明書です。

- * EcoMonitorLight : EMU4-BD1-MB/EMU4-HD1-MB
- EcoMonitorPlus : EMU4-BM1-MB/EMU4-HM1-MB/EMU4-LG1-MB/EMU4-A2/EMU4-VA2/EMU4-AX4/EMU4-PX4

2. システム構成



*1 : 終端抵抗が必要となります。終端抵抗については、「GOT1000 シリーズ接続マニュアル(マイコン・MODBUS・周辺機器接続編) GT Works3 対応」を参照してください。

*2 : SD カードは、ロギング機能・拡張レシピ機能で使用しています。

*3 : バッテリーは、時計データおよび SRAM ユーザ領域のロギングデータ・ユーザアラームデータの停電保持に使用しています。(バッテリーは GOT 本体に標準装備していません。)

*4 : ケーブルの詳細については、「GOT1000 シリーズ接続マニュアル(マイコン・MODBUS・周辺機器接続編) GT Works3 対応」を参照してください。

*5 : 終端抵抗が必要となります。終端抵抗については、各機器のマニュアルを参照してください。

3. GOT について

3.1 自動で選択されるシステムアプリケーション

OS の種類	OS の名称	
基本機能	基本 OS	
	基本 OS システム画面情報	
	基本 OS システム画面データ	
	標準フォント	日本語 (欧州対応)
	TrueType 数字フォント	7 セグ
通信ドライバ	MODBUS/RTU	
オプション機能	標準フォント (中国 : 簡体)	
	拡張レシピ	
	ロギング	
	オブジェクトスクリプト	

3.2 作画ソフトウェアの接続機器の設定

項目	設定値	備考
ボーレート (BPS)	19200 bps	
データ長	8 bit	
ストップビット	1 bit	
パリティ	偶数	
リトライ回数 (回)	3	
通信タイムアウト時間 (秒)	3	
自局アドレス	1	接続されている計測ユニットの局番を設定します。 このサンプルでは、1 局固定とします。
送信ディレイ時間 (ms)	0	
32 ビット格納順序	HL 順	

4. エネルギー計測ユニットについて

4.1 対象機種

シリーズ	形名	備考
EcoMonitorLight	EMU4-BD1-MB	
	EMU4-HD1-MB	
EcoMonitorPlus	EMU4-BM1-MB	
	EMU4-HM1-MB	
	EMU4-LG1-MB	電力量グラフ、総合電流グラフには対応していません。 MODBUS®アドレスを1に設定する場合は、「7 グラフ・ロギングについて」を参考に、電力量ロギングおよび総合電流ロギングを変更してください。
	EMU4-A2	
	EMU4-VA2	
	EMU4-AX4	
	EMU4-PX4	

4.2 エネルギー計測ユニットの通信設定

項目	設定値	備考
MODBUS®アドレス	1~247	1局が必ず存在するようにしてください。*1
MODBUS®ボーレート	19200 bps	
MODBUS®パリティ	Even	
ストップビット	1 bit	

*1 1局が存在しない場合、このサンプルは動作しません。

電力量グラフ、総合電流グラフ、アラーム履歴は、局番1の回路1のみ設定しています。

5. 画面仕様

5.1 表示言語

画面上に表示する文字列は、日本語・英語・中国語(簡体)の3言語で切り換え表示できます。各言語の文字列は、コメントグループ No. 254、255 の列 No. 1~3 に以下のように登録しています。言語切り換えデバイスに列 No. を格納すると列 No. に対応した言語を表示します。

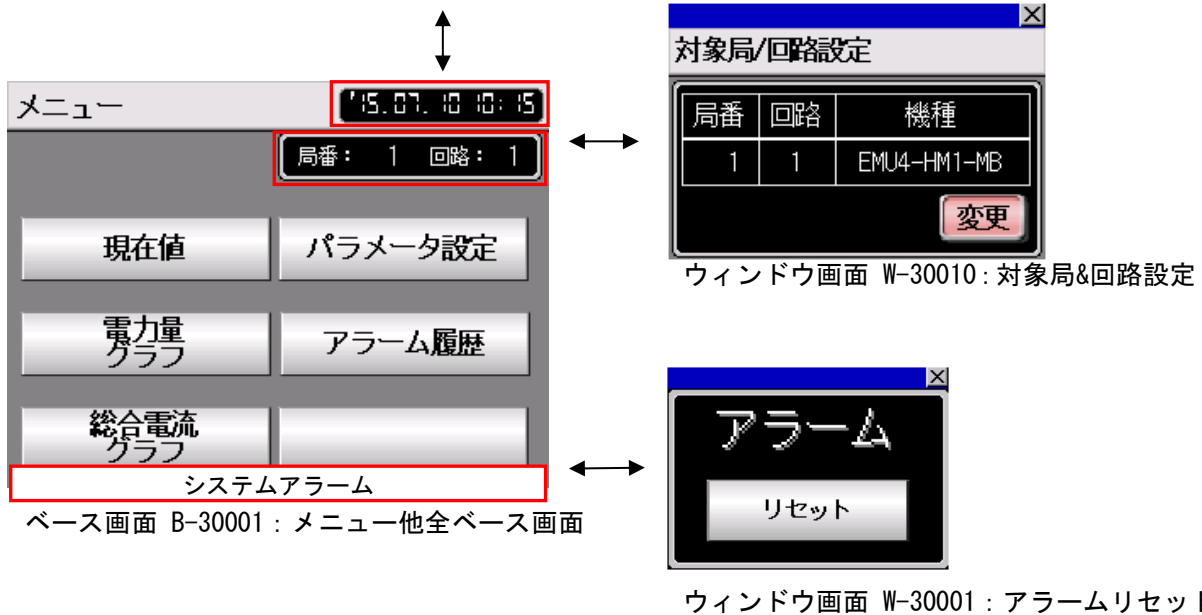
列 No.	言語
1	日本語
2	英語
3	中国語(簡体)

5.2 画面遷移

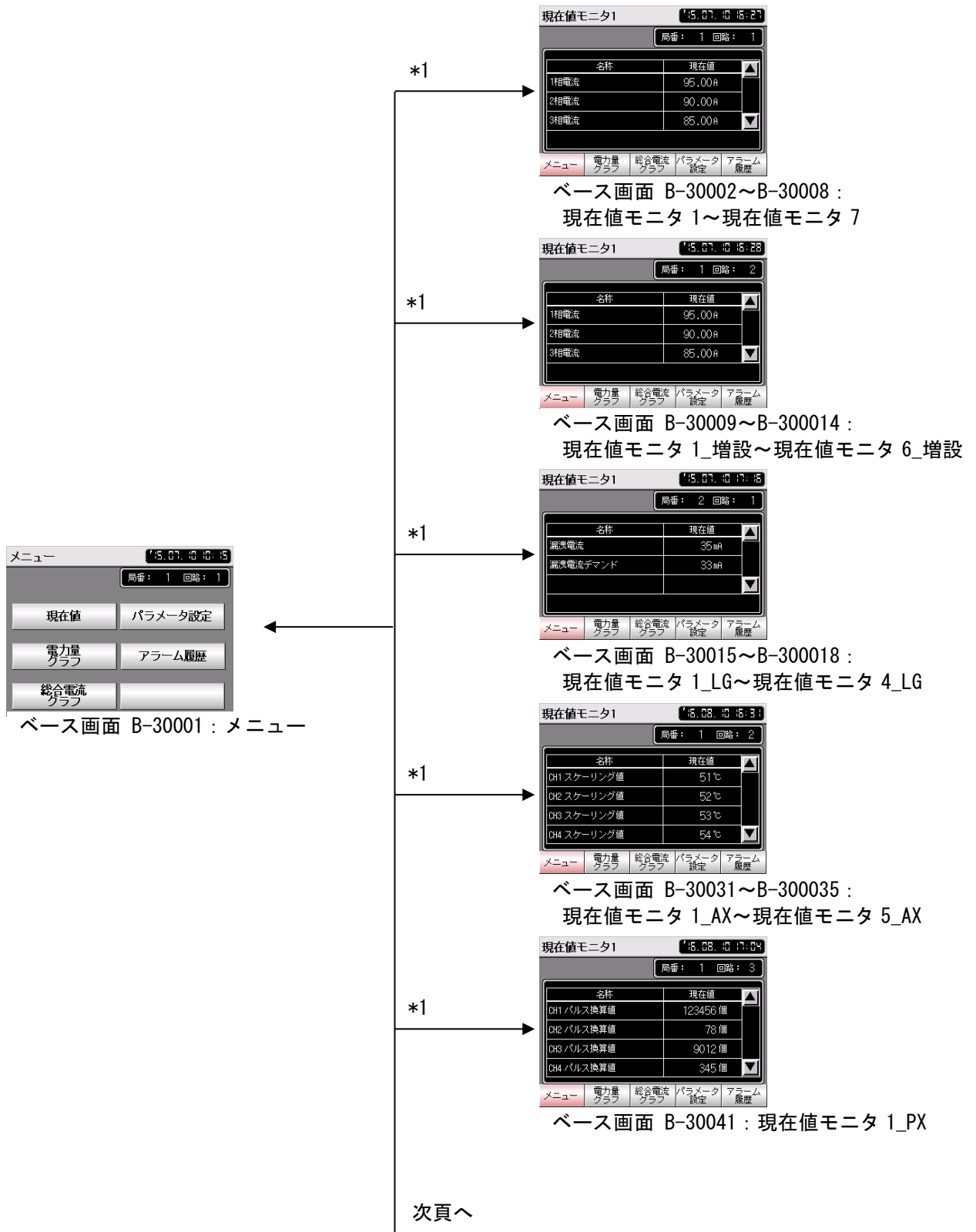
5.2.1 画面遷移(共通)



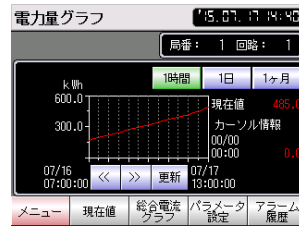
ウィンドウ画面 W-30002 : 時計&言語設定



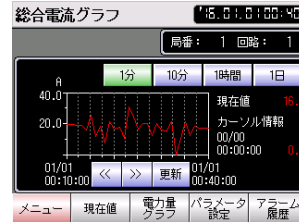
5.2.2 画面遷移(個別)



前頁より



ベース画面 B-30019 : 電力量グラフ



ベース画面 B-30020 : 総合電流グラフ

名称	設定値
相線式	1P2W
一次電圧 (線間電圧)	110 V
一次電圧 (相電圧)	V

ベース画面 B-30021~B-30022 :
パラメータ設定 1~パラメータ設定 2

名称	設定値
相線式	1P2W
一次電圧 (線間電圧)	110 V
一次電圧 (相電圧)	V

ベース画面 B-30023~B-30024 :
パラメータ設定 1_増設~パラメータ設定 2_増設

名称	設定値
相線式	3P3W
漏洩電流テマンド時間	120 s
計測モード設定	高感度モード

ベース画面 B-30025 : パラメータ設定 1_LG

名称	設定値
CH1 レベルA	61℃
CH1 レベルB	71℃
CH1 レベルC	81℃
CH1 レベルD	91℃

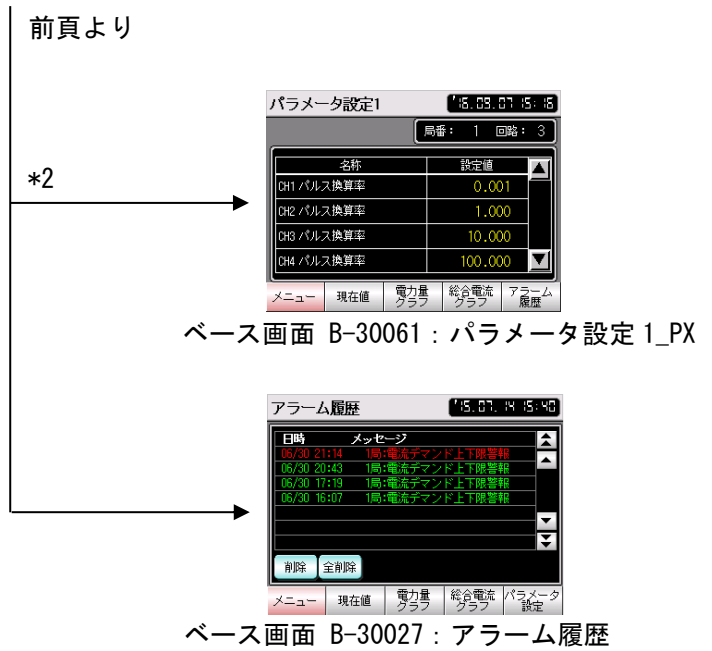
ベース画面 B-30051~B-30054 :
パラメータ設定 1_AX~パラメータ設定 4_AX

ウィンドウ画面 W-30012 : センサ種別

ウィンドウ画面 W-30011 : 相線式

ウィンドウ画面 W-30013 :
計測モード設定

次頁へ



*1 : 現在モニタ中の機種により、現在値モニタ画面の切り換え先が以下のように変わります。

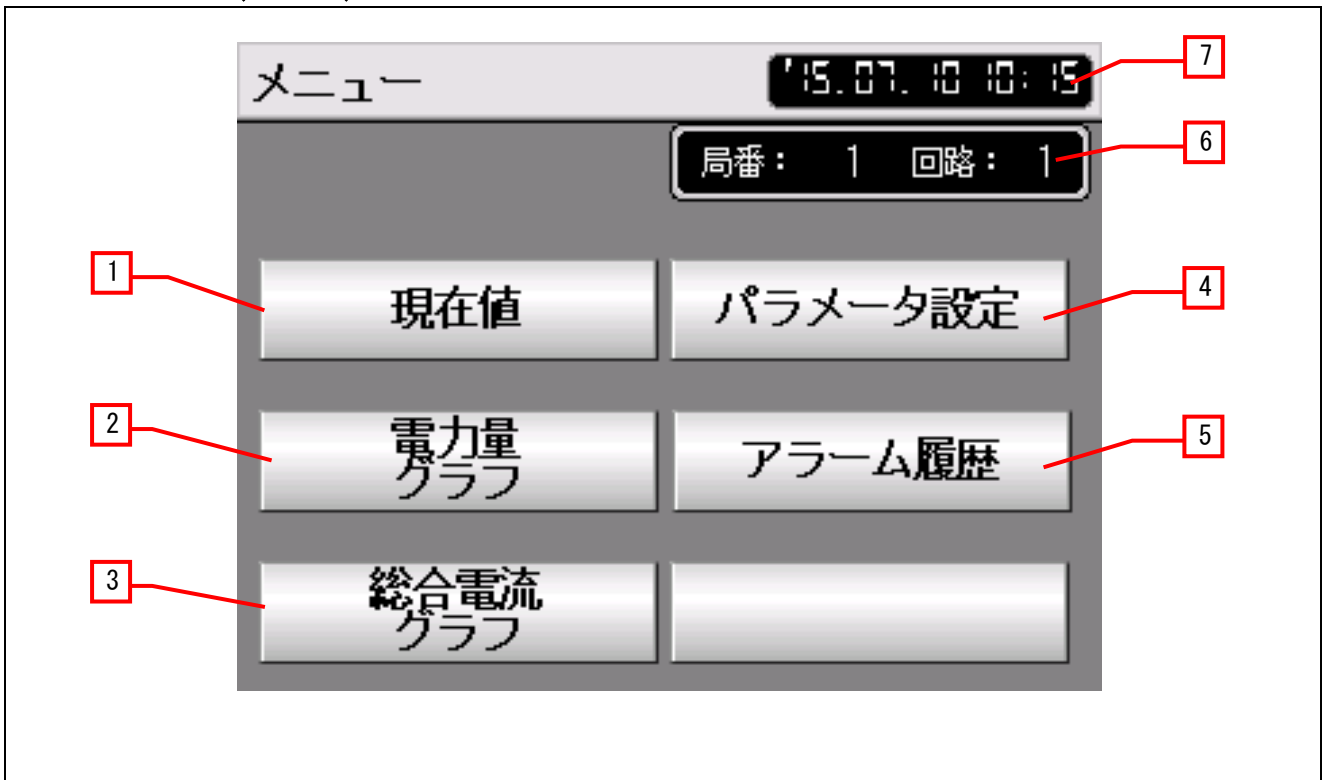
モニタ中の機種	現在値モニタ画面の切り換え先
EMU4-BD1-MB EMU4-HD1-MB EMU4-BM1-MB	ベース画面 B-30002 : 現在値モニタ 1 ~ ベース画面 B-30007 : 現在値モニタ 6
EMU4-HM1-MB	ベース画面 B-30002 : 現在値モニタ 1 ~ ベース画面 B-30008 : 現在値モニタ 7
EMU4-A2 EMU4-VA2	ベース画面 B-30009 : 現在値モニタ 1_増設 ~ ベース画面 B-30014 : 現在値モニタ 6_増設
EMU4-LG1-MB	ベース画面 B-30015 : 現在値モニタ 1_LG ~ ベース画面 B-30018 : 現在値モニタ 4_LG
EMU4-AX4	ベース画面 B-30031 : 現在値モニタ 1_AX ~ ベース画面 B-30035 : 現在値モニタ 5_AX
EMU4-PX4	ベース画面 B-30041 : 現在値モニタ 1_PX

*2 : 現在モニタ中の機種により、パラメータ設定画面の切り換え先が以下のように変わります。

モニタ中の機種	パラメータ設定画面の切り換え先
EMU4-BD1-MB EMU4-HD1-MB EMU4-BM1-MB EMU4-HM1-MB	ベース画面 B-30021 : パラメータ設定 1 ~ ベース画面 B-30022 : パラメータ設定 2
EMU4-A2 EMU4-VA2	ベース画面 B-30023 : パラメータ設定 1_増設 ~ ベース画面 B-30024 : パラメータ設定 2_増設
EMU4-LG1-MB	ベース画面 B-30025 : パラメータ設定 1_LG
EMU4-AX4	ベース画面 B-30051 : パラメータ設定 1_AX ~ ベース画面 B-30054 : パラメータ設定 4_AX
EMU4-PX4	ベース画面 B-30061 : パラメータ設定 1_PX

5.3 画面説明

5.3.1 メニュー (B-30001)



概要

メニュー画面です。

詳細

1. 現在値モニタ画面に切り換えます。
2. 電力量グラフ画面に切り換えます。
3. 総合電流グラフ画面に切り換えます。
4. パラメータ設定画面に切り換えます。
5. アラーム履歴画面に切り換えます。
6. 現在モニタ中の局番・回路を表示します。タッチすると、対象局&回路設定ウィンドウを表示します。
7. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計&言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- 現在モニタ中の機種により、現在値モニタ画面の切り換え先が以下のように変わります。

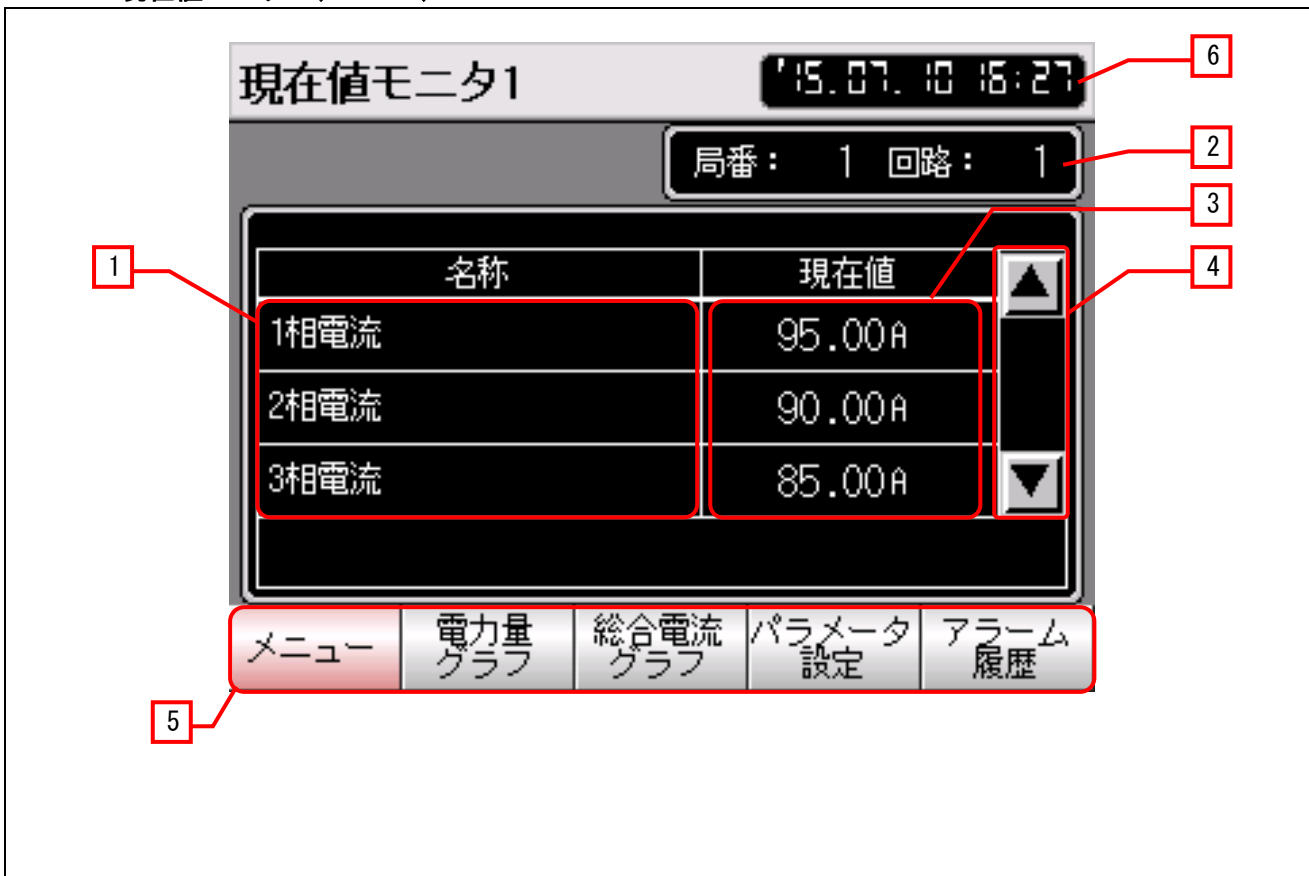
モニタ中の機種	現在値モニタ画面の切り換え先
EMU4-BD1-MB EMU4-HD1-MB EMU4-BM1-MB EMU4-HM1-MB	B-30002 : 現在値モニタ 1
EMU4-A2 EMU4-VA2	B-30009 : 現在値モニタ 1_増設
EMU4-LG1-MB	B-30015 : 現在値モニタ 1_LG
EMU4-AX4	B-30031 : 現在値モニタ 1_AX
EMU4-PX4	B-30041 : 現在値モニタ 1_PX

- 現在モニタ中の機種により、パラメータ設定画面の切り換え先が以下のように変わります。

モニタ中の機種	パラメータ設定画面の切り換え先
EMU4-BD1-MB EMU4-HD1-MB EMU4-BM1-MB EMU4-HM1-MB	B-30021 : パラメータ設定 1
EMU4-A2 EMU4-VA2	B-30023 : パラメータ設定 1_増設
EMU4-LG1-MB	B-30025 : パラメータ設定 1_LG
EMU4-AX4	B-30051 : パラメータ設定 1_AX
EMU4-PX4	B-30061 : パラメータ設定 1_PX

- 電力量グラフ画面・総合電流グラフ画面に切り換えた場合、局番および回路を「1」に変更します。
- GOT 起動時に、プロジェクトスクリプトにて局番および回路を「1」に設定しています。スクリプトの詳細については、「5.8 スクリプト一覧」を参照してください。
- 画面切り換え時には、表示中のウィンドウ画面を閉じます。
- システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.2 現在値モニタ 1 (B-30002)



概要

機種：EMU4-BD1-MB/EMU4-HD1-MB/EMU4-BM1-MB/EMU4-HM1-MB の 1 相電流、2 相電流、3 相電流の現在値をモニタします。現在値の小数点位置は各計測項目の乗率情報により変化します。

詳細

1. モニタしている計測値の名称を表示します。
2. 現在モニタ中の局番・回路を表示します。タッチすると、対象局&回路設定ウィンドウを表示します。
3. 現在モニタ中の計測ユニットの現在値を表示します。
4. 現在値モニタ画面を切り換えます。
 - ▲：機種により以下の現在値モニタ画面に切り換えます。
 - EMU4-HM1-MB 以外：現在値モニタ 6 (B-30007)
 - EMU4-HM1-MB：現在値モニタ 7 (B-30008)
 - ▼：現在値モニタ 2 (B-30003) に切り換えます。
5. 各画面に切り換えます。
6. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計&言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- ・パラメータ設定画面の切り換え先は、パラメータ設定 1 (B-30021) になります。
- ・電力量グラフ画面・総合電流グラフ画面に切り換えた場合、局番および回路を「1」に変更します。
- ・画面切り換え時には、表示中のウィンドウ画面を閉じます。
- ・システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.3 現在値モニタ 2 (B-30003)



概要

機種： EMU4-BD1-MB/EMU4-HD1-MB/EMU4-BM1-MB/EMU4-HM1-MB の 1 相電流デマンド、2 相電流デマンド、3 相電流デマンドの現在値をモニタします。現在値の小数点位置は各計測項目の乗率情報により変化します。

詳細

1. モニタしている計測値の名称を表示します。
2. 現在モニタ中の局番・回路を表示します。タッチすると、対象局&回路設定ウィンドウを表示します。
3. 現在モニタ中の計測ユニットの現在値を表示します。
4. 現在値モニタ画面を切り換えます。
▲：現在値モニタ 1 (B-30002) に切り換えます。
▼：現在値モニタ 3 (B-30004) に切り換えます。
5. 各画面に切り換えます。
6. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計&言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- ・ パラメータ設定画面の切り換え先は、パラメータ設定 1 (B-30021) になります。
- ・ 電力量グラフ画面・総合電流グラフ画面に切り換えた場合、局番および回路を「1」に変更します。
- ・ 画面切り換え時には、表示中のウィンドウ画面を閉じます。
- ・ システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.4 現在値モニタ 3 (B-30004)



概要

機種：EMU4-BD1-MB/EMU4-HD1-MB/EMU4-BM1-MB/EMU4-HM1-MB の 1-2 線間電圧、2-3 線間電圧、3-1 線間電圧の現在値をモニタします。現在値の小数点位置は各計測項目の乗率情報により変化します。

詳細

1. モニタしている計測値の名称を表示します。
2. 現在モニタ中の局番・回路を表示します。タッチすると、対象局&回路設定ウィンドウを表示します。
3. 現在モニタ中の計測ユニットの現在値を表示します。
4. 現在値モニタ画面を切り換えます。
▲：現在値モニタ 2 (B-30003) に切り換えます。
▼：現在値モニタ 4 (B-30005) に切り換えます。
5. 各画面に切り換えます。
6. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計&言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- ・ パラメータ設定画面の切り換え先は、パラメータ設定 1 (B-30021) になります。
- ・ 電力量グラフ画面・総合電流グラフ画面に切り換えた場合、局番および回路を「1」に変更します。
- ・ 画面切り換え時には、表示中のウィンドウ画面を閉じます。
- ・ システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.5 現在値モニタ 4 (B-30005)



概要

機種： EMU4-BD1-MB/EMU4-HD1-MB/EMU4-BM1-MB/EMU4-HM1-MB の電力、電力デマンド、無効電力の現在値をモニタします。現在値の小数点位置は各計測項目の乗率情報により変化します。

詳細

1. モニタしている計測値の名称を表示します。
2. 現在モニタ中の局番・回路を表示します。タッチすると、対象局&回路設定ウィンドウを表示します。
3. 現在モニタ中の計測ユニットの現在値を表示します。
4. 現在値モニタ画面を切り換えます。
▲：現在値モニタ 3 (B-30004) に切り換えます。
▼：現在値モニタ 5 (B-30006) に切り換えます。
5. 各画面に切り換えます。
6. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計&言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- ・ パラメータ設定画面の切り換え先は、パラメータ設定 1 (B-30021) になります。
- ・ 電力量グラフ画面・総合電流グラフ画面に切り換えた場合、局番および回路を「1」に変更します。
- ・ 画面切り換え時には、表示中のウィンドウ画面を閉じます。
- ・ システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.6 現在値モニタ 5 (B-30006)



概要

機種： EMU4-BD1-MB/EMU4-HD1-MB/EMU4-BM1-MB/EMU4-HM1-MB の電力量、無効電力量の現在値をモニタします。現在値の小数点位置は各計測項目の乗率情報により変化します。

詳細

1. モニタしている計測値の名称を表示します。
2. 現在モニタ中の局番・回路を表示します。タッチすると、対象局&回路設定ウィンドウを表示します。
3. 現在モニタ中の計測ユニットの現在値を表示します。
4. 現在値モニタ画面を切り換えます。
 ▲：現在値モニタ 4 (B-30005) に切り換えます。
 ▼：現在値モニタ 6 (B-30007) に切り換えます。
5. 各画面に切り換えます。
6. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計&言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- ・ パラメータ設定画面の切り換え先は、パラメータ設定 1 (B-30021) になります。
- ・ 電力量グラフ画面・総合電流グラフ画面に切り換えた場合、局番および回路を「1」に変更します。
- ・ 画面切り換え時には、表示中のウィンドウ画面を閉じます。
- ・ システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.7 現在値モニタ 6 (B-30007)



概要

機種： EMU4-BD1-MB/EMU4-HD1-MB/EMU4-BM1-MB/EMU4-HM1-MB の周波数、力率の現在値をモニタします。現在値の小数点位置は各計測項目の乗率情報により変化します。

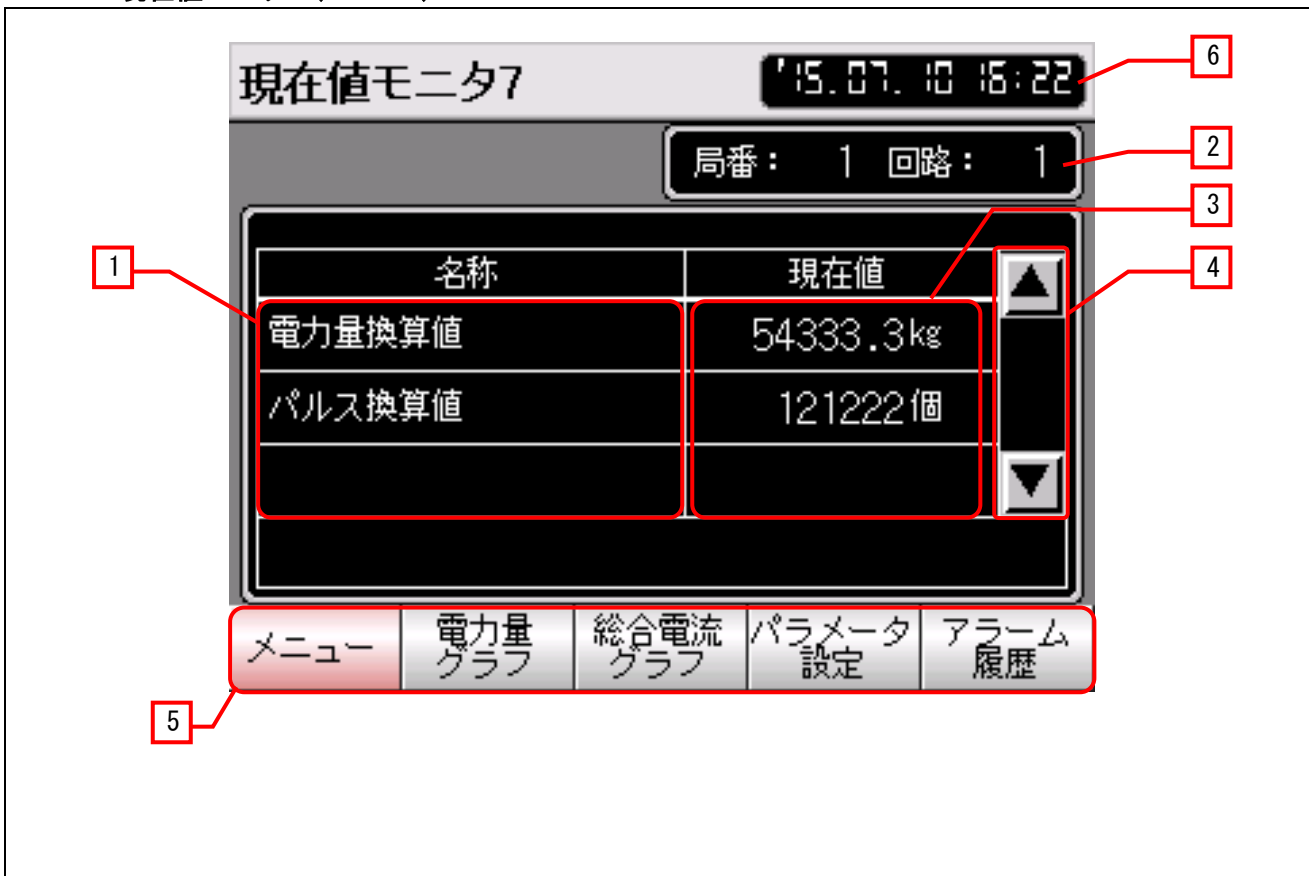
詳細

1. モニタしている計測値の名称を表示します。
2. 現在モニタ中の局番・回路を表示します。タッチすると、対象局&回路設定ウィンドウを表示します。
3. 現在モニタ中の計測ユニットの現在値を表示します。
4. 現在値モニタ画面を切り換えます。
 ▲：現在値モニタ 5 (B-30006) に切り換えます。
 ▼：機種により以下の現在値モニタ画面に切り換えます。
 EMU4-HM1-MB 以外：現在値モニタ 1 (B-30002)
 EMU4-HM1-MB：現在値モニタ 7 (B-30008) に切り換えます。
5. 各画面に切り換えます。
6. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計&言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- ・パラメータ設定画面の切り換え先は、パラメータ設定 1 (B-30021) になります。
- ・電力量グラフ画面・総合電流グラフ画面に切り換えた場合、局番および回路を「1」に変更します。
- ・画面切り換え時には、表示中のウィンドウ画面を閉じます。
- ・システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.8 現在値モニタ 7(B-30008)



概要

機種: EMU4-HM1-MB の電力量換算値、パルス換算値の現在値をモニタします。現在値の小数点位置は各計測項目の設定情報により変化します。

詳細

1. モニタしている計測値の名称を表示します。
2. 現在モニタ中の局番・回路を表示します。タッチすると、対象局&回路設定ウィンドウを表示します。
3. 現在モニタ中の計測ユニットの現在値を表示します。
4. 現在値モニタ画面を切り換えます。
 ▲: 現在値モニタ 6 (B-30007) に切り換えます。
 ▼: 現在値モニタ 1 (B-30002) に切り換えます。
5. 各画面に切り換えます。
6. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計&言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- ・ パラメータ設定画面の切り換え先は、パラメータ設定 1 (B-30021) になります。
- ・ 電力量グラフ画面・総合電流グラフ画面に切り換えた場合、局番および回路を「1」に変更します。
- ・ 画面切り換え時には、表示中のウィンドウ画面を閉じます。
- ・ システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.9 現在値モニタ 1_増設(B-30009)



概要

機種：EMU4-A2/EMU4-VA2 の 1 相電流、2 相電流、3 相電流の現在値をモニタします。現在値の小数点位置は各計測項目の乗率情報により変化します。

詳細

1. モニタしている計測値の名称を表示します。
2. 現在モニタ中の局番・回路を表示します。タッチすると、対象局&回路設定ウィンドウを表示します。
3. 現在モニタ中の計測ユニットの現在値を表示します。
4. 現在値モニタ画面を切り換えます。
▲：現在値モニタ 6_増設 (B-30014) に切り換えます。
▼：現在値モニタ 2_増設 (B-30010) に切り換えます。
5. 各画面に切り換えます。
6. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計&言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- ・ パラメータ設定画面の切り換え先は、パラメータ設定 1_増設 (B-30023) になります。
- ・ 電力量グラフ画面・総合電流グラフ画面に切り換えた場合、局番および回路を「1」に変更します。
- ・ 画面切り換え時には、表示中のウィンドウ画面を閉じます。
- ・ システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.10 現在値モニタ 2_増設(B-30010)



概要

機種： EMU4-A2/EMU4-VA2 の 1 相電流デマンド、2 相電流デマンド、3 相電流デマンドの現在値をモニタします。現在値の小数点位置は各計測項目の乗率情報により変化します。

詳細

1. モニタしている計測値の名称を表示します。
2. 現在モニタ中の局番・回路を表示します。タッチすると、対象局&回路設定ウィンドウを表示します。
3. 現在モニタ中の計測ユニットの現在値を表示します。
4. 現在値モニタ画面を切り換えます。
▲：現在値モニタ 1_増設 (B-30009) に切り換えます。
▼：現在値モニタ 3_増設 (B-30011) に切り換えます。
5. 各画面に切り換えます。
6. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計&言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- ・ パラメータ設定画面の切り換え先は、パラメータ設定 1_増設 (B-30023) になります。
- ・ 電力量グラフ画面・総合電流グラフ画面に切り換えた場合、局番および回路を「1」に変更します。
- ・ 画面切り換え時には、表示中のウィンドウ画面を閉じます。
- ・ システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.11 現在値モニタ 3_増設(B-30011)



概要
 機種： EMU4-A2/EMU4-VA2 の 1-2 線間電圧、2-3 線間電圧、3-1 線間電圧の現在値をモニタします。現在値の小数点位置は各計測項目の乗率情報により変化します。

- 詳細**
1. モニタしている計測値の名称を表示します。
 2. 現在モニタ中の局番・回路を表示します。タッチすると、対象局&回路設定ウィンドウを表示します。
 3. 現在モニタ中の計測ユニットの現在値を表示します。
 4. 現在値モニタ画面を切り換えます。
 ▲：現在値モニタ 2_増設 (B-30010) に切り換えます。
 ▼：現在値モニタ 4_増設 (B-30012) に切り換えます。
 5. 各画面に切り換えます。
 6. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計&言語設定ウィンドウを表示します。

- 備考**
- ・ パラメータ設定画面の切り換え先は、パラメータ設定 1_増設 (B-30023) になります。
 - ・ 電力量グラフ画面・総合電流グラフ画面に切り換えた場合、局番および回路を「1」に変更します。
 - ・ 画面切り換え時には、表示中のウィンドウ画面を閉じます。
 - ・ システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.12 現在値モニタ 4_増設(B-30012)



概要

機種: EMU4-A2/EMU4-VA2 の電力、電力デマンド、無効電力の現在値をモニタします。現在値の小数点位置は各計測項目の乗率情報により変化します。

詳細

1. モニタしている計測値の名称を表示します。
2. 現在モニタ中の局番・回路を表示します。タッチすると、対象局&回路設定ウィンドウを表示します。
3. 現在モニタ中の計測ユニットの現在値を表示します。
4. 現在値モニタ画面を切り換えます。
▲: 現在値モニタ 3_増設 (B-30011) に切り換えます。
▼: 現在値モニタ 5_増設 (B-30013) に切り換えます。
5. 各画面に切り換えます。
6. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計&言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- ・ パラメータ設定画面の切り換え先は、パラメータ設定 1_増設 (B-30023) になります。
- ・ 電力量グラフ画面・総合電流グラフ画面に切り換えた場合、局番および回路を「1」に変更します。
- ・ 画面切り換え時には、表示中のウィンドウ画面を閉じます。
- ・ システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.13 現在値モニタ 5_増設(B-30013)



概要

機種：EMU4-A2/EMU4-VA2 の電力量、無効電力量の現在値をモニタします。現在値の小数点位置は各計測項目の乗率情報により変化します。

詳細

1. モニタしている計測値の名称を表示します。
2. 現在モニタ中の局番・回路を表示します。タッチすると、対象局&回路設定ウィンドウを表示します。
3. 現在モニタ中の計測ユニットの現在値を表示します。
4. 現在値モニタ画面を切り換えます。
 ▲：現在値モニタ 4_増設 (B-30012) に切り換えます。
 ▼：現在値モニタ 6_増設 (B-30014) に切り換えます。
5. 各画面に切り換えます。
6. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計&言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- ・パラメータ設定画面の切り換え先は、パラメータ設定 1_増設 (B-30023) になります。
- ・電力量グラフ画面・総合電流グラフ画面に切り換えた場合、局番および回路を「1」に変更します。
- ・画面切り換え時には、表示中のウィンドウ画面を閉じます。
- ・システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.14 現在値モニタ 6_増設(B-30014)



概要

機種：EMU4-A2/EMU4-VA2 の周波数、力率の現在値をモニタします。現在値の小数点位置は各計測項目の乗率情報により変化します。

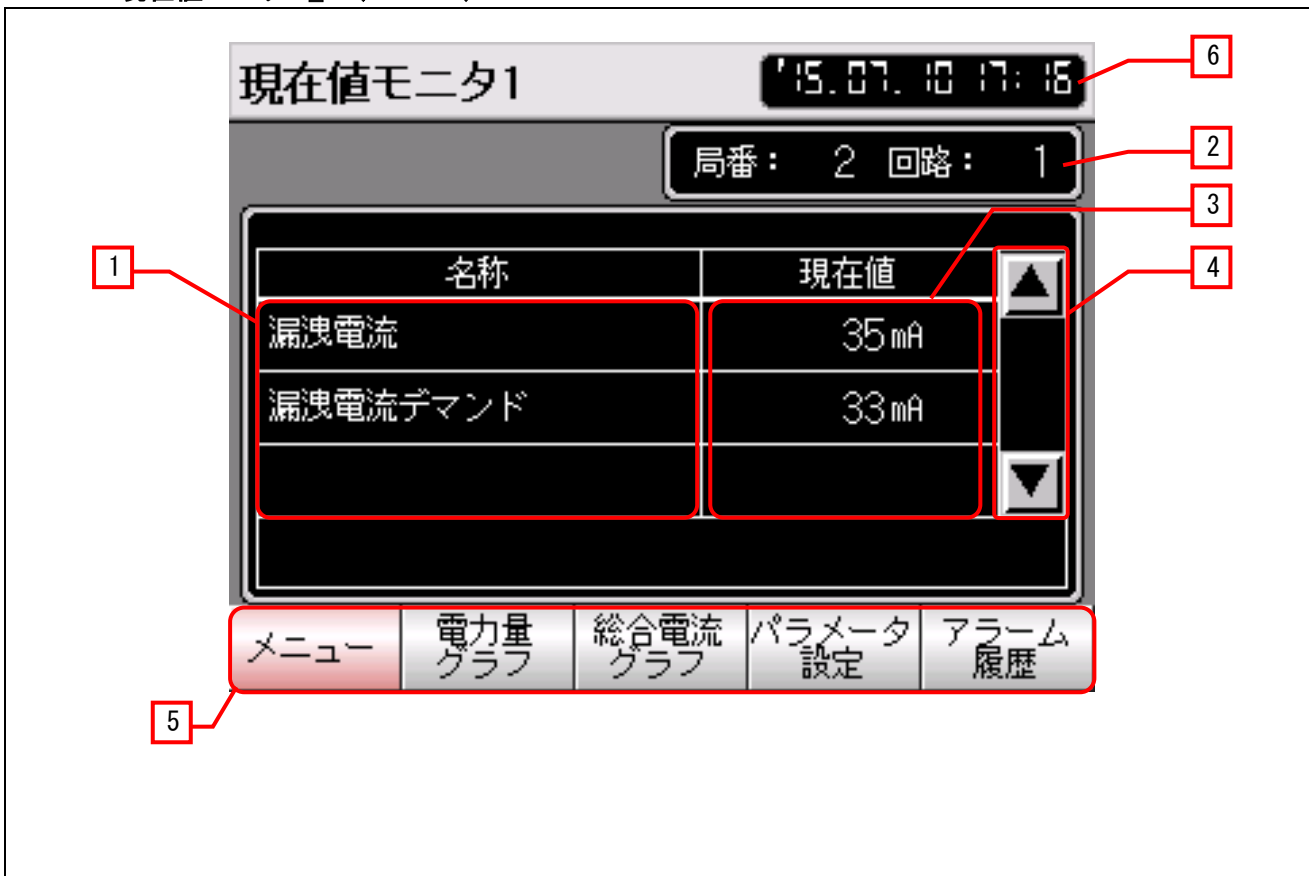
詳細

1. モニタしている計測値の名称を表示します。
2. 現在モニタ中の局番・回路を表示します。タッチすると、対象局&回路設定ウィンドウを表示します。
3. 現在モニタ中の計測ユニットの現在値を表示します。
4. 現在値モニタ画面を切り換えます。
 ▲：現在値モニタ 5_増設 (B-30013) に切り換えます。
 ▼：現在値モニタ 1_増設 (B-30009) に切り換えます。
5. 各画面に切り換えます。
6. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計&言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- ・ パラメータ設定画面の切り換え先は、パラメータ設定 1_増設 (B-30023) になります。
- ・ 電力量グラフ画面・総合電流グラフ画面に切り換えた場合、局番および回路を「1」に変更します。
- ・ 画面切り換え時には、表示中のウィンドウ画面を閉じます。
- ・ システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.15 現在値モニタ 1_LG(B-30015)



概要

機種： EMU4-LG1-MB の漏洩電流、漏洩電流デマンドをモニタします。現在値の小数点位置は各計測項目の乗率情報により変化します。

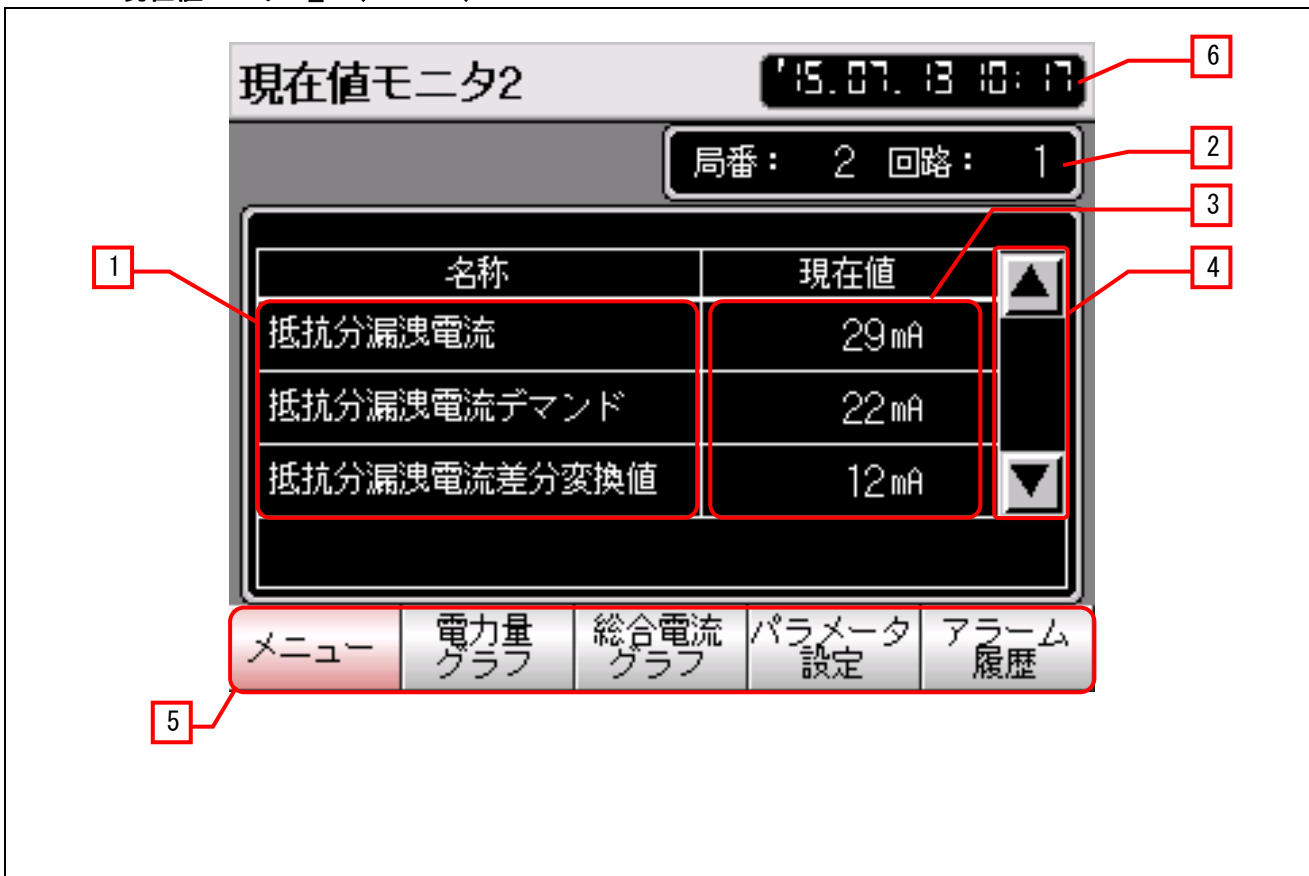
詳細

1. モニタしている計測値の名称を表示します。
2. 現在モニタ中の局番・回路を表示します。タッチすると、対象局&回路設定ウィンドウを表示します。
3. 現在モニタ中の計測ユニットの現在値を表示します。
4. 現在値モニタ画面を切り換えます。
 ▲：現在値モニタ 4_LG(B-30018)に切り換えます。
 ▼：現在値モニタ 2_LG(B-30016)に切り換えます。
5. 各画面に切り換えます。
6. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計&言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- ・ パラメータ設定画面の切り換え先は、パラメータ設定 1_LG(B-30025)になります。
- ・ 電力量グラフ画面・総合電流グラフ画面に切り換えた場合、局番および回路を「1」に変更します。
- ・ 画面切り換え時には、表示中のウィンドウ画面を閉じます。
- ・ システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.16 現在値モニタ 2_LG(B-30016)



概要

機種：EMU4-LG1-MB の抵抗分漏洩電流、抵抗分漏洩電流デマンド、抵抗分漏洩電流差分変換値をモニタします。現在値の小数点位置は各計測項目の乗率情報により変化します。

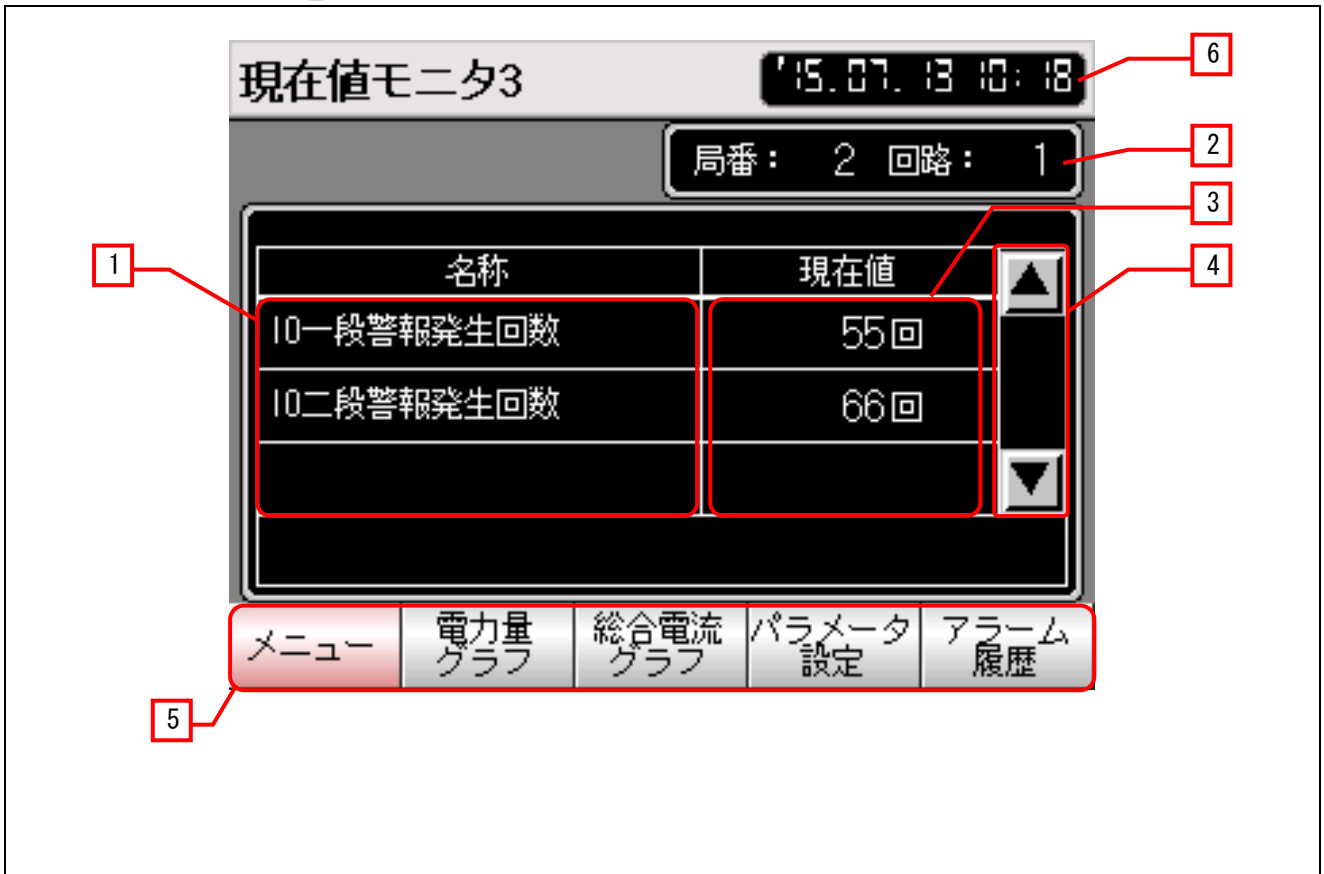
詳細

1. モニタしている計測値の名称を表示します。
2. 現在モニタ中の局番・回路を表示します。タッチすると、対象局&回路設定ウィンドウを表示します。
3. 現在モニタ中の計測ユニットの現在値を表示します。
4. 現在値モニタ画面を切り換えます。
▲：現在値モニタ 1_LG(B-30015)に切り換えます。
▼：現在値モニタ 3_LG(B-30017)に切り換えます。
5. 各画面に切り換えます。
6. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計&言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- ・ パラメータ設定画面の切り換え先は、パラメータ設定 1_LG(B-30025)になります。
- ・ 電力量グラフ画面・総合電流グラフ画面に切り換えた場合、局番および回路を「1」に変更します。
- ・ 画面切り換え時には、表示中のウィンドウ画面を閉じます。
- ・ システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.17 現在値モニタ 3_LG(B-30017)



概要

機種： EMU4-LG1-MB の I0 一段警報発生回数、I0 二段警報発生回数をモニタします。

詳細

1. モニタしている計測値の名称を表示します。
2. 現在モニタ中の局番・回路を表示します。タッチすると、対象局&回路設定ウィンドウを表示します。
3. 現在モニタ中の計測ユニットの現在値を表示します。
4. 現在値モニタ画面を切り換えます。
▲：現在値モニタ 2_LG(B-30016)に切り換えます。
▼：現在値モニタ 4_LG(B-30018)に切り換えます。
5. 各画面に切り換えます。
6. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計&言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- ・ パラメータ設定画面の切り換え先は、パラメータ設定 1_LG(B-30025)になります。
- ・ 電力量グラフ画面・総合電流グラフ画面に切り換えた場合、局番および回路を「1」に変更します。
- ・ 画面切り換え時には、表示中のウィンドウ画面を閉じます。
- ・ システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.18 現在値モニタ 4_LG(B-30018)



概要

機種： EMU4-LG1-MB の I0r 段警報発生回数、I0r 二段警報発生回数をモニタします。

詳細

1. モニタしている計測値の名称を表示します。
2. 現在モニタ中の局番・回路を表示します。タッチすると、対象局&回路設定ウィンドウを表示します。
3. 現在モニタ中の計測ユニットの現在値を表示します。
4. 現在値モニタ画面を切り換えます。
 ▲：現在値モニタ 3_LG(B-30017)に切り換えます。
 ▼：現在値モニタ 1_LG(B-30015)に切り換えます。
5. 各画面に切り換えます。
6. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計&言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- ・ パラメータ設定画面の切り換え先は、パラメータ設定 1_LG(B-30025)になります。
- ・ 電力量グラフ画面・総合電流グラフ画面に切り換えた場合、局番および回路を「1」に変更します。
- ・ 画面切り換え時には、表示中のウィンドウ画面を閉じます。
- ・ システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.19 現在値モニタ 1_AX(B-30031)



概要

機種： EMU4-AX4 のスケーリング値の現在値をモニタします。

詳細

1. モニタしている計測値の名称を表示します。
2. 現在モニタ中の局番・回路を表示します。タッチすると、対象局&回路設定ウィンドウを表示します。
3. 現在モニタ中の計測ユニットの現在値を表示します。
4. 現在値モニタ画面を切り換えます。
▲：現在値モニタ 5_AX (B-30035) に切り換えます。
▼：現在値モニタ 2_AX (B-30032) に切り換えます。
5. 各画面に切り換えます。
6. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計&言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- ・ パラメータ設定画面の切り換え先は、パラメータ設定 1_AX (B-30051) になります。
- ・ 電力量グラフ画面・総合電流グラフ画面に切り換えた場合、局番および回路を「1」に変更します。
- ・ 画面切り換え時には、表示中のウィンドウ画面を閉じます。
- ・ システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.20 現在値モニタ 2_AX(B-30032)



概要

機種： EMU4-AX4(CH1)のレベル A～D 超過回数の現在値をモニタします。

詳細

1. モニタしている計測値の名称を表示します。
2. 現在モニタ中の局番・回路を表示します。タッチすると、対象局&回路設定ウィンドウを表示します。
3. 現在モニタ中の計測ユニットの現在値を表示します。
4. 現在値モニタ画面を切り換えます。
 ▲：現在値モニタ 1_AX(B-30031)に切り換えます。
 ▼：現在値モニタ 3_AX(B-30033)に切り換えます。
5. 各画面に切り換えます。
6. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計&言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- ・ パラメータ設定画面の切り換え先は、パラメータ設定 1_AX(B-30051)になります。
- ・ 電力量グラフ画面・総合電流グラフ画面に切り換えた場合、局番および回路を「1」に変更します。
- ・ 画面切り換え時には、表示中のウィンドウ画面を閉じます。
- ・ システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.21 現在値モニタ 3_AX(B-30033)



概要

機種： EMU4-AX4 (CH2) のレベル A～D 超過回数の現在値をモニタします。

詳細

1. モニタしている計測値の名称を表示します。
2. 現在モニタ中の局番・回路を表示します。タッチすると、対象局&回路設定ウィンドウを表示します。
3. 現在モニタ中の計測ユニットの現在値を表示します。
4. 現在値モニタ画面を切り換えます。
▲：現在値モニタ 2_AX (B-30032) に切り換えます。
▼：現在値モニタ 4_AX (B-30034) に切り換えます。
5. 各画面に切り換えます。
6. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計&言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- ・ パラメータ設定画面の切り換え先は、パラメータ設定 1_AX (B-30051) になります。
- ・ 電力量グラフ画面・総合電流グラフ画面に切り換えた場合、局番および回路を「1」に変更します。
- ・ 画面切り換え時には、表示中のウィンドウ画面を閉じます。
- ・ システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.22 現在値モニタ 4_AX(B-30034)



概要

機種：EMU4-AX4(CH3)のレベルA～D 超過回数の現在値をモニタします。

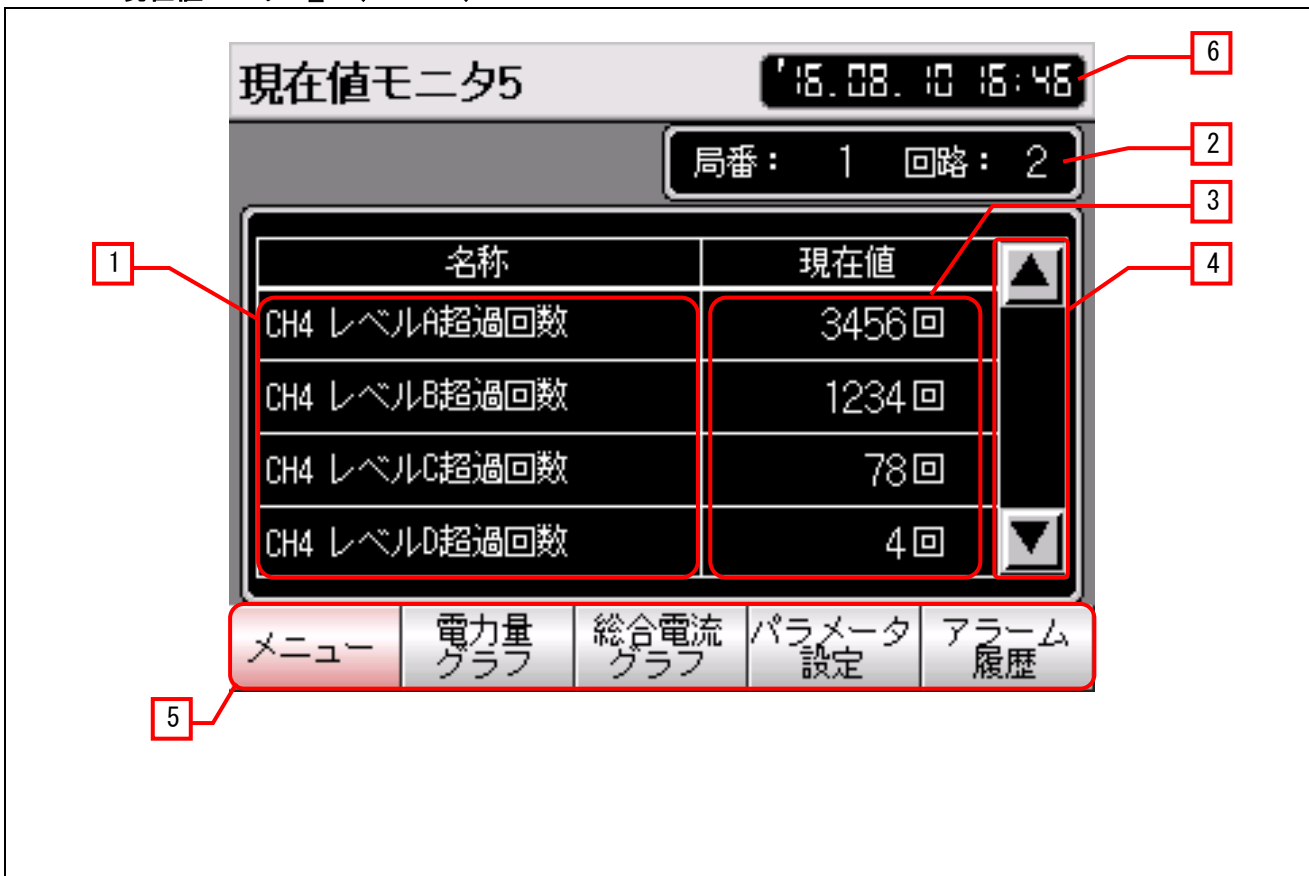
詳細

1. モニタしている計測値の名称を表示します。
2. 現在モニタ中の局番・回路を表示します。タッチすると、対象局&回路設定ウィンドウを表示します。
3. 現在モニタ中の計測ユニットの現在値を表示します。
4. 現在値モニタ画面を切り換えます。
▲：現在値モニタ 3_AX(B-30033)に切り換えます。
▼：現在値モニタ 5_AX(B-30035)に切り換えます。
5. 各画面に切り換えます。
6. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計&言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- ・ パラメータ設定画面の切り換え先は、パラメータ設定 1_AX(B-30051)になります。
- ・ 電力量グラフ画面・総合電流グラフ画面に切り換えた場合、局番および回路を「1」に変更します。
- ・ 画面切り換え時には、表示中のウィンドウ画面を閉じます。
- ・ システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.23 現在値モニタ 5_AX(B-30035)



概要

機種： EMU4-AX4 (CH4) のレベル A～D 超過回数の現在値をモニタします。

詳細

1. モニタしている計測値の名称を表示します。
2. 現在モニタ中の局番・回路を表示します。タッチすると、対象局&回路設定ウィンドウを表示します。
3. 現在モニタ中の計測ユニットの現在値を表示します。
4. 現在値モニタ画面を切り換えます。
▲：現在値モニタ 4_AX (B-30034) に切り換えます。
▼：現在値モニタ 1_AX (B-30031) に切り換えます。
5. 各画面に切り換えます。
6. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計&言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- ・ パラメータ設定画面の切り換え先は、パラメータ設定 1_AX (B-30051) になります。
- ・ 電力量グラフ画面・総合電流グラフ画面に切り換えた場合、局番および回路を「1」に変更します。
- ・ 画面切り換え時には、表示中のウィンドウ画面を閉じます。
- ・ システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.24 現在値モニタ 1_PX(B-30041)



概要

機種： EMU4-PX4 の現在値をモニタします。

詳細

1. モニタしている計測値の名称を表示します。
2. 現在モニタ中の局番・回路を表示します。タッチすると、対象局&回路設定ウィンドウを表示します。
3. 現在モニタ中の計測ユニットの現在値を表示します。
4. EMU4-PX4 用の現在値モニタ画面が他にないため画面は切り換わりません。
5. 各画面に切り換えます。
6. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計&言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- ・ パラメータ設定画面の切り換え先は、パラメータ設定 1_PX(B-30061)になります。
- ・ 電力量グラフ画面・総合電流グラフ画面に切り換えた場合、局番および回路を「1」に変更します。
- ・ 画面切り換え時には、表示中のウィンドウ画面を閉じます。
- ・ システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.25 電力量グラフ(B-30019)



概要

電力量の現在値を表示し、ロギング機能で収集した過去の電力量をヒストリカルトレンドグラフで表示します。

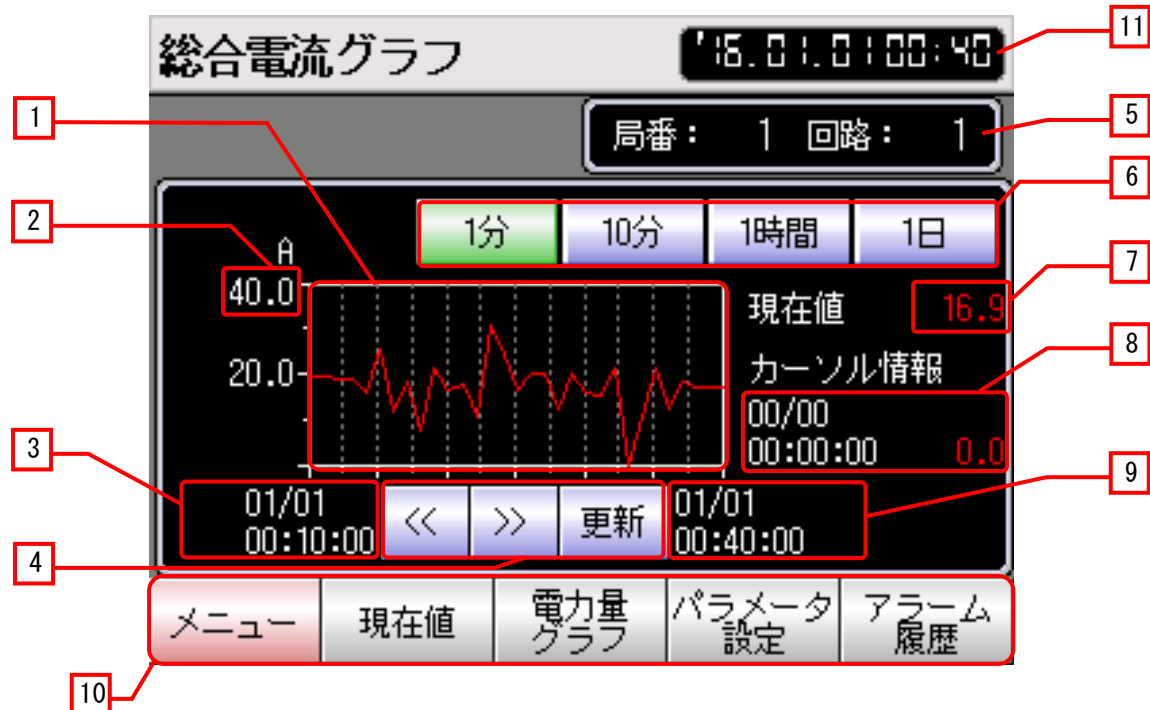
詳細

1. 電力量をヒストリカルトレンドグラフで表示します。グラフ上をタッチすると、カーソルを表示します。横軸のデータ数は31点です。
2. ヒストリカルトレンドグラフの上限値を表示します。数値をタッチすることで、上限値の入力をします。入力した上限値はレシピ機能で保存され、値を保持します。上限値の入力範囲は、計測ユニットの電力量の乗率により変化します。
3. ヒストリカルトレンドグラフの表示終了位置時刻を表示します。
4. ヒストリカルトレンドグラフを操作します。
 「<<」「>>」：グラフを左右にスクロールします。
 更新：カーソルを消去し最新のデータを表示します。
5. 現在モニタ中の局番・回路を表示します。
6. ヒストリカルトレンドグラフで表示するロギングデータを切り換えます。緑色のスイッチは、現在表示中のロギングデータです。
 「1時間」：毎00分に収集した、1時間ごとのロギングデータを表示します。
 「1日」：毎00時に収集した、1日ごとのロギングデータを表示します。
 「1ヶ月」：毎01日に収集した、1月ごとのロギングデータを表示します。
7. 電力量の現在値を表示します。小数点位置は、乗率により変化します。
8. カーソル位置の日時と、電力量を表示します。電力量の小数点位置は、乗率により変化します。
9. ヒストリカルトレンドグラフの表示開始位置時刻を表示します。
10. 各画面に切り換えます。
11. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計&言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- ・ 現在値画面の切り換え先は、現在値モニタ 1 (B-30002) になります。
- ・ パラメータ設定画面の切り換え先は、パラメータ設定 1 (B-30021) になります。
- ・ 局番 1 の回路 1 の計測ユニットのみロギング設定およびヒストリカルトレンドグラフの表示をしています。複数局・複数回路のロギング設定およびヒストリカルトレンドグラフの表示を行いたい場合は、「7 グラフ・ロギングについて」を参考にしてください。
- ・ 画面切り換え時には、表示中のウィンドウ画面を閉じます。
- ・ システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.26 総合電流グラフ (B-30020)



概要

総合電流の現在値を表示し、ロギング機能で収集した過去の総合電流をヒストリカルトレンドグラフで表示します。

詳細

1. 総合電流をヒストリカルトレンドグラフで表示します。グラフ上をタッチすると、カーソルを表示します。横軸のデータ数は31点です。
2. ヒストリカルトレンドグラフの上限値を表示します。数値をタッチすることで、上限値の入力をします。入力した上限値はレシピ機能で保存され、値を保持します。上限値の入力範囲は、計測ユニットの電流の乗率により変化します。
3. ヒストリカルトレンドグラフの表示終了位置時刻を表示します。
4. ヒストリカルトレンドグラフを操作します。
 「<<」「>>」：グラフを左右にスクロールします。
 更新：カーソルを消去し最新のデータを表示します。
5. 現在モニタ中の局番・回路を表示します。
6. ヒストリカルトレンドグラフで表示するロギングデータを切り換えます。緑色のスイッチは、現在表示中のロギングデータです。
 「1分」：毎00秒に収集した、1分ごとのロギングデータを表示します。
 「10分」：毎*0分収集した、10分ごとのロギングデータを表示します。
 「1時間」：毎00分に収集した、1時間ごとのロギングデータを表示します。
 「1日」：毎00時に収集した、1日ごとのロギングデータを表示します。
7. 総合電流の現在値を表示します。小数点位置は、乗率により変化します。
8. カーソル位置の日時と、総合電流を表示します。総合電流の小数点位置は、乗率により変化します。
9. ヒストリカルトレンドグラフの表示開始位置時刻を表示します。
10. 各画面に切り換えます。
11. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計&言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- ・ 現在値画面の切り換え先は、現在値モニタ 1 (B-30002) になります。
- ・ パラメータ設定画面の切り換え先は、パラメータ設定 1 (B-30021) になります。
- ・ 局番 1 の回路 1 の計測ユニットのみロギング設定およびヒストリカルトレンドグラフの表示をしています。複数局・複数回路のロギング設定およびヒストリカルトレンドグラフの表示を行いたい場合は、「7 グラフ・ロギングについて」を参考にしてください。
- ・ 画面切り換え時には、表示中のウィンドウ画面を閉じます。
- ・ システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.27 パラメータ設定1 (B-30021)



概要

機種: EMU4-BD1-MB/EMU4-HD1-MB/EMU4-BM1-MB/EMU4-HM1-MB の相線式、一次電圧(線間電圧)、一次電圧(相電圧)の設定をします。

詳細

1. 設定項目の名称を表示します。
2. 現在モニタ中の局番・回路を表示します。タッチすると、対象局&回路設定ウィンドウを表示します。
3. 設定項目の設定値を表示します。設定値をタッチすると、各パラメータを設定するための、ウィンドウを表示するか、もしくは数値入力するためのキーウィンドウを表示します。
4. パラメータ設定画面を切り換えます。
▲: パラメータ設定 2 (B-30022) に切り換えます。
▼: パラメータ設定 2 (B-30022) に切り換えます。
5. 各画面に切り換えます。
6. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計&言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- ・ 現在値モニタ画面の切り換え先は、現在値モニタ 1 (B-30002) になります。
- ・ 設定を変更すると、変更中に通信エラーが発生する場合があります。
- ・ 電力量グラフ画面・総合電流グラフ画面に切り換えた場合、局番および回路を「1」に変更します。
- ・ 画面切り換え時には、表示中のウィンドウ画面を閉じます。
- ・ システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.28 パラメータ設定2 (B-30022)



概要

機種: EMU4-BD1-MB/EMU4-HD1-MB/EMU4-BM1-MB/EMU4-HM1-MB のセンサ種別、一次電流、電流デマンド時限の設定をします。

詳細

1. 設定項目の名称を表示します。
2. 現在モニタ中の局番・回路を表示します。タッチすると、対象局&回路設定ウィンドウを表示します。
3. 設定項目の設定値を表示します。設定値をタッチすると、各パラメータを設定するための、ウィンドウを表示するか、もしくは数値入力するためのキーウィンドウを表示します。
4. パラメータ設定画面を切り換えます。
 ▲: パラメータ設定 1 (B-30021) に切り換えます。
 ▼: パラメータ設定 1 (B-30021) に切り換えます。
5. 各画面に切り換えます。
6. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計&言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- ・ 現在値モニタ画面の切り換え先は、現在値モニタ 1 (B-30002) になります。
- ・ 設定を変更すると、変更中に通信エラーが発生する場合があります。
- ・ 電力量グラフ画面・総合電流グラフ画面に切り換えた場合、局番および回路を「1」に変更します。
- ・ 画面切り換え時には、表示中のウィンドウ画面を閉じます。
- ・ システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.29 パラメータ設定1_増設(B-30023)



概要

機種: EMU4-A2/EMU4-VA2 の相線式、一次電圧(線間電圧)、一次電圧(相電圧)の設定をします。

詳細

1. 設定項目の名称を表示します。
2. 現在モニタ中の局番・回路を表示します。タッチすると、対象局&回路設定ウィンドウを表示します。
3. 設定項目の設定値を表示します。設定値をタッチすると、各パラメータを設定するための、ウィンドウを表示するか、もしくは数値入力するためのキーウィンドウを表示します。
4. パラメータ設定画面を切り換えます。
 ▲: パラメータ設定2_増設(B-30024)に切り換えます。
 ▼: パラメータ設定2_増設(B-30024)に切り換えます。
5. 各画面に切り換えます。
6. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計&言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- ・ 現在値モニタ画面の切り換え先は、現在値モニタ1_増設(B-30009)になります。
- ・ 設定を変更すると、変更中に通信エラーが発生する場合があります。
- ・ 電力量グラフ画面・総合電流グラフ画面に切り換えた場合、局番および回路を「1」に変更します。
- ・ 画面切り換え時には、表示中のウィンドウ画面を閉じます。
- ・ システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.30 パラメータ設定 2_増設 (B-30024)



概要

機種: EMU4-A2/EMU4-VA2 のセンサ種別、一次電流、電流デマンド時限の設定をします。

詳細

1. 設定項目の名称を表示します。
2. 現在モニタ中の局番・回路を表示します。タッチすると、対象局&回路設定ウィンドウを表示します。
3. 設定項目の設定値を表示します。設定値をタッチすると、各パラメータを設定するための、ウィンドウを表示するか、もしくは数値入力するためのキーウィンドウを表示します。
4. パラメータ設定画面を切り換えます。
 ▲ : パラメータ設定 1_増設 (B-30023) に切り換えます。
 ▼ : パラメータ設定 1_増設 (B-30023) に切り換えます。
5. 各画面に切り換えます。
6. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計&言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- ・ 現在値モニタ画面の切り換え先は、現在値モニタ 1_増設 (B-30009) になります。
- ・ 設定を変更すると、変更中に通信エラーが発生する場合があります。
- ・ 電力量グラフ画面・総合電流グラフ画面に切り換えた場合、局番および回路を「1」に変更します。
- ・ 画面切り換え時には、表示中のウィンドウ画面を閉じます。
- ・ システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.31 パラメータ設定 1_LG(B-30025)



概要
 機種: EMU4-LG-MB の相線式、漏洩電流デマンド時限、計測モードの設定をします。

- 詳細**
1. 設定項目の名称を表示します。
 2. 現在モニタ中の局番・回路を表示します。タッチすると、対象局&回路設定ウィンドウを表示します。
 3. 設定項目の設定値を表示します。設定値をタッチすると、各パラメータを設定するための、ウィンドウを表示するか、もしくは数値入力するためのキーウィンドウを表示します。
 4. パラメータ設定画面が他にないため画面は切り換わりません。
 5. 各画面に切り換えます。
 6. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計&言語設定ウィンドウを表示します。

- 備考**
- ・ 現在値モニタ画面の切り換え先は、現在値モニタ 1_LG(B-30015)になります。
 - ・ 設定を変更すると、変更中に通信エラーが発生する場合があります。
 - ・ 電力量グラフ画面・総合電流グラフ画面に切り換えた場合、局番および回路を「1」に変更します。
 - ・ 画面切り換え時には、表示中のウィンドウ画面を閉じます。
 - ・ システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.32 パラメータ設定 1_AX(B-30051)



概要

機種: EMU4-AX4 (CH1) のレベル A~D の設定をします。

詳細

1. 設定項目の名称を表示します。
2. 現在モニタ中の局番・回路を表示します。タッチすると、対象局&回路設定ウィンドウを表示します。
3. 設定項目の設定値を表示します。設定値をタッチすると、数値入力するためのキーウィンドウを表示します。
4. パラメータ設定画面を切り換えます。
▲ : パラメータ設定 4_AX (B-30054) に切り換えます。
▼ : パラメータ設定 2_AX (B-30052) に切り換えます。
5. 各画面に切り換えます。
6. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計&言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- ・ 現在値モニタ画面の切り換え先は、現在値モニタ 1_AX (B-30031) になります。
- ・ 設定を変更すると、変更中に通信エラーが発生する場合があります。
- ・ 電力量グラフ画面・総合電流グラフ画面に切り換えた場合、局番および回路を「1」に変更します。
- ・ 画面切り換え時には、表示中のウィンドウ画面を閉じます。
- ・ システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.33 パラメータ設定 2_AX(B-30052)



概要

機種: EMU4-AX4 (CH2) のレベル A~D の設定をします。

詳細

1. 設定項目の名称を表示します。
2. 現在モニタ中の局番・回路を表示します。タッチすると、対象局&回路設定ウィンドウを表示します。
3. 設定項目の設定値を表示します。設定値をタッチすると、数値入力するためのキーウィンドウを表示します。
4. パラメータ設定画面を切り換えます。
▲ : パラメータ設定 1_AX (B-30051) に切り換えます。
▼ : パラメータ設定 3_AX (B-30053) に切り換えます。
5. 各画面に切り換えます。
6. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計&言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- ・ 現在値モニタ画面の切り換え先は、現在値モニタ 1_AX (B-30031) になります。
- ・ 設定を変更すると、変更中に通信エラーが発生する場合があります。
- ・ 電力量グラフ画面・総合電流グラフ画面に切り換えた場合、局番および回路を「1」に変更します。
- ・ 画面切り換え時には、表示中のウィンドウ画面を閉じます。
- ・ システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.34 パラメータ設定 3_AX(B-30053)



概要

機種: EMU4-AX4 (CH3) のレベル A~D の設定をします。

詳細

1. 設定項目の名称を表示します。
2. 現在モニタ中の局番・回路を表示します。タッチすると、対象局&回路設定ウィンドウを表示します。
3. 設定項目の設定値を表示します。設定値をタッチすると、数値入力するためのキーウィンドウを表示します。
4. パラメータ設定画面を切り換えます。
 ▲ : パラメータ設定 2_AX (B-30052) に切り換えます。
 ▼ : パラメータ設定 4_AX (B-30054) に切り換えます。
5. 各画面に切り換えます。
6. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計&言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- ・ 現在値モニタ画面の切り換え先は、現在値モニタ 1_AX (B-30031) になります。
- ・ 設定を変更すると、変更中に通信エラーが発生する場合があります。
- ・ 電力量グラフ画面・総合電流グラフ画面に切り換えた場合、局番および回路を「1」に変更します。
- ・ 画面切り換え時には、表示中のウィンドウ画面を閉じます。
- ・ システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.35 パラメータ設定 4_AX(B-30054)



概要

機種: EMU4-AX4 (CH4) のレベル A~D の設定をします。

詳細

1. 設定項目の名称を表示します。
2. 現在モニタ中の局番・回路を表示します。タッチすると、対象局&回路設定ウィンドウを表示します。
3. 設定項目の設定値を表示します。設定値をタッチすると、数値入力するためのキーウィンドウを表示します。
4. パラメータ設定画面を切り換えます。
▲ : パラメータ設定 3_AX (B-30053) に切り換えます。
▼ : パラメータ設定 1_AX (B-30051) に切り換えます。
5. 各画面に切り換えます。
6. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計&言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- ・ 現在値モニタ画面の切り換え先は、現在値モニタ 1_AX (B-30031) になります。
- ・ 設定を変更すると、変更中に通信エラーが発生する場合があります。
- ・ 電力量グラフ画面・総合電流グラフ画面に切り換えた場合、局番および回路を「1」に変更します。
- ・ 画面切り換え時には、表示中のウィンドウ画面を閉じます。
- ・ システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5. 3. 36 パラメータ設定 1_PX(B-30061)



概要

機種: EMU4-PX4 (CH1~4) のパルス換算率の設定をします。

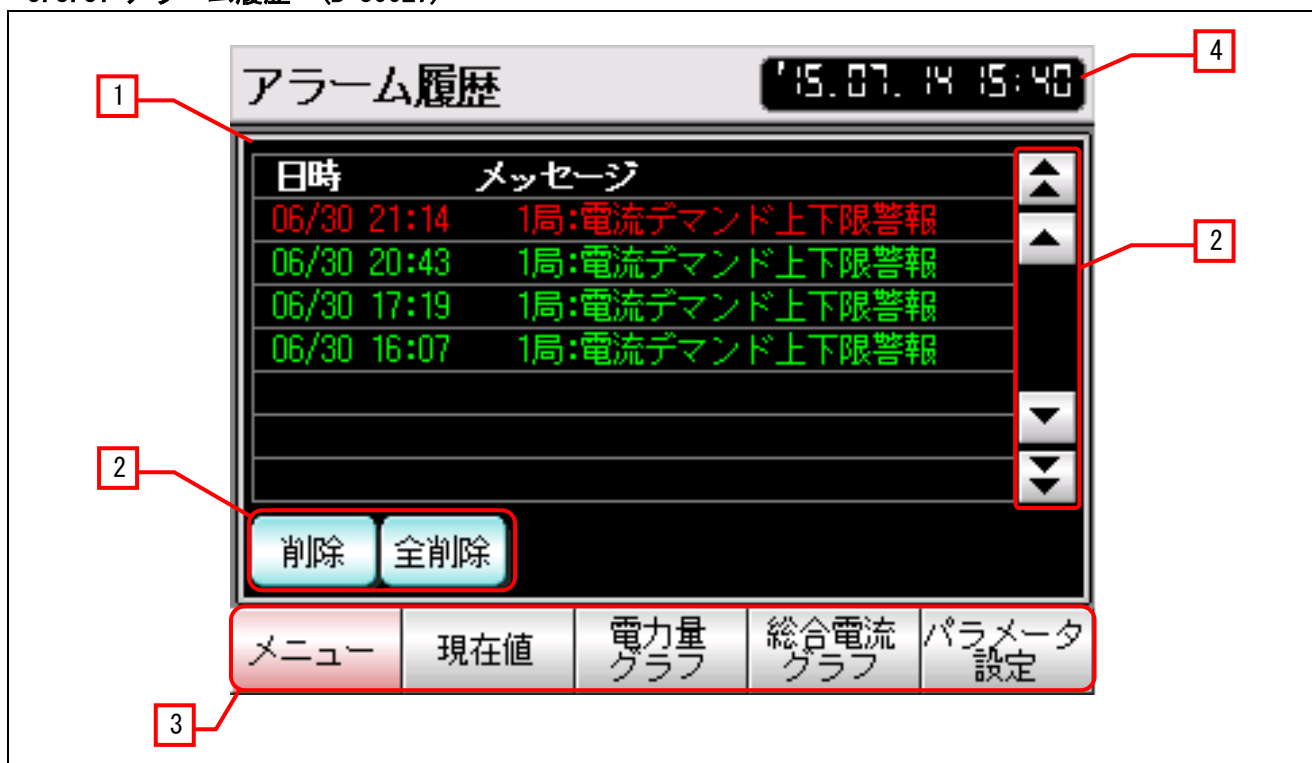
詳細

1. 設定項目の名称を表示します。
2. 現在モニタ中の局番・回路を表示します。タッチすると、対象局&回路設定ウィンドウを表示します。
3. 設定項目の設定値を表示します。設定値をタッチすると、数値入力するためのキーウィンドウを表示します。
4. パラメータ設定画面が他にないため画面は切り換わりません。
5. 各画面に切り換えます。
6. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計&言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- ・ 現在値モニタ画面の切り換え先は、現在値モニタ 1_PX(B-30041)になります。
- ・ 設定を変更すると、変更中に通信エラーが発生する場合があります。
- ・ 電力量グラフ画面・総合電流グラフ画面に切り換えた場合、局番および回路を「1」に変更します。
- ・ 画面切り換え時には、表示中のウィンドウ画面を閉じます。
- ・ システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。



5.3.37 アラーム履歴 (B-30027)



概要

計測ユニットの警報情報を表示します。

詳細

1. アラーム表示(ユーザ)でアラームを表示します。タッチでカーソルを表示/非表示します。
2. アラームを操作します。
 - 削除 : 選択された復旧済みアラームを削除します。
 - 全削除 : 復旧済みアラームをすべて削除します。
 -  : 上下にページスクロールします。
 -  : 上下に1行ずつスクロールします。
3. 各画面に切り換えます。
4. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計&言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- 現在モニタ中の機種により、現在値モニタ画面の切り換え先が以下のように変わります。

モニタ中の機種	現在値モニタ画面の切り換え先
EMU4-BD1-MB EMU4-HD1-MB EMU4-BM1-MB EMU4-HM1-MB	B-30002 : 現在値モニタ 1
EMU4-A2 EMU4-VA2	B-30009 : 現在値モニタ 1_増設
EMU4-LG1-MB	B-30015 : 現在値モニタ 1_LG
EMU4-AX4	B-30031 : 現在値モニタ 1_AX
EMU4-PX4	B-30041 : 現在値モニタ 1_PX

- 現在モニタ中の機種により、パラメータ設定画面の切り換え先が以下のように変わります。

モニタ中の機種	パラメータ設定画面の切り換え先
EMU4-BD1-MB EMU4-HD1-MB EMU4-BM1-MB EMU4-HM1-MB	B-30021 : パラメータ設定 1
EMU4-A2 EMU4-VA2	B-30023 : パラメータ設定 1_増設
EMU4-LG1-MB	B-30025 : パラメータ設定 1_LG
EMU4-AX4	B-30051 : パラメータ設定 1_AX
EMU4-PX4	B-30061 : パラメータ設定 1_PX

- 電力量グラフ画面・総合電流グラフ画面に切り換えた場合、局番および回路を「1」に変更します。
- 画面切り換え時には、表示中のウィンドウ画面を閉じます。
- システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.38 アラームリセット (W-30001)



概要

システムアラームをリセットします。

詳細

1. システムアラームをリセットし、1秒後にウィンドウ画面を閉じます。
2. ウィンドウ画面を閉じます。

備考

5. 3. 39 時計&言語設定 (W-30002)



概要

GOT の時計データの変更と、表示する言語を選択します。

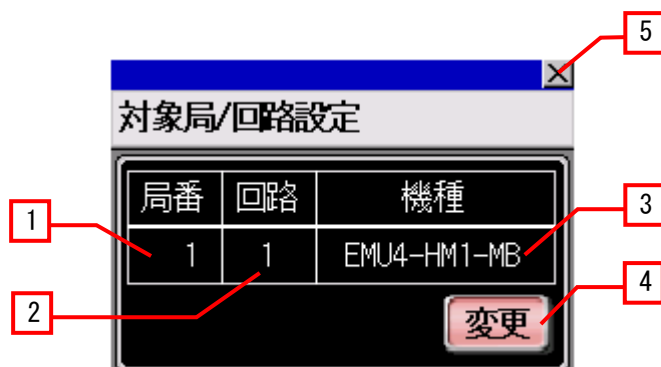
詳細

1. 変更したい日時を \pm スイッチで設定します。 \pm スイッチは、長押しすると連続で増減します。RST スイッチは、秒をリセットします。
2. 変更する日時を表示します。
3. 設定した日時を GOT の時計データに反映し、1秒後にウィンドウ画面を閉じます。
4. 言語を切り換え、ウィンドウ画面を閉じます。
5. ウィンドウ画面を閉じます。

備考

- ・ 表示言語にあわせてシステム言語も切り換える設定をしています。
- ・ 変更する日時の初期値は、ウィンドウ画面を表示した時の日時です。
- ・ 変更する日時の年・月・日・時・分・秒の数値表示にオブジェクトスクリプトを設定しています。スクリプトの詳細については、「5.6 スクリプト一覧」を参照してください。

5.3.40 対象局&回路設定 (W-30010)



概要

通信先の計測ユニットの局番および回路を変更します。

詳細

1. モニタ対象計測ユニットの局番を表示します。局番(数値)をタッチすることで、局番の入力をします。
2. モニタ対象計測ユニットの回路を表示します。モニタ対象計測ユニットの回路 1 が EMU4-BM1-MB、EMU4-HM1-MB、EMU4-LG1-MB の場合は回路(数値)をタッチすることで、回路の入力をします。
3. モニタ対象計測ユニットの機種名を表示します。
4. 設定した局番・回路を反映し、1秒後にウィンドウ画面を閉じます。
5. ウィンドウ画面を閉じます。

備考

- ・ 局番もしくは回路を変更した際に対象の計測ユニットが無い場合は、通信エラーが発生し、機種名は空白になります。
- ・ 現在値モニタ画面・パラメータ設定画面にて局番・回路を変更する際に、通信エラーが発生する場合があります。
- ・ 局番・回路変更後、機種名が反映される前に変更を行うと正しい画面推移がされません。機種名が反映されてから変更を行ってください。
- ・ 現在モニタ画面にて局番・回路を変更した場合は、モニタ対象計測ユニットの現在値モニタ画面に変わります。
- ・ パラメータ設定画面にて局番・回路を変更した場合は、モニタ対象計測ユニットのパラメータ設定画面に変わります。

5.3.41 相線式(W-30011)



概要

相線式を設定します。

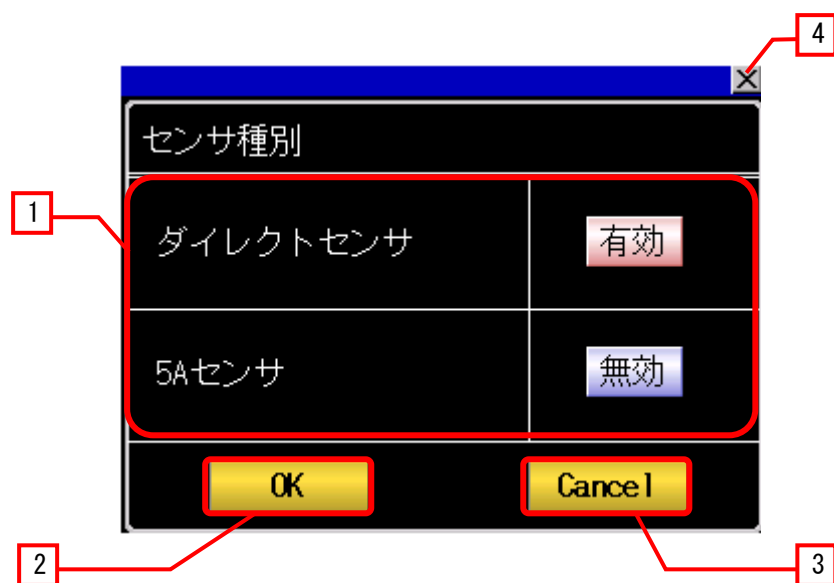
詳細

1. 設定する相線式を選択します。
2. 選択した設定を計測ユニットに書込みます。
3. 設定した値を破棄し、ウィンドウを閉じます。
4. ウィンドウ画面を閉じます。

備考

- ・ 設定を変更すると、変更中に通信エラーが発生する場合があります。

5.3.42 センサ種別 (W-30012)



概要

センサ種別を設定します。

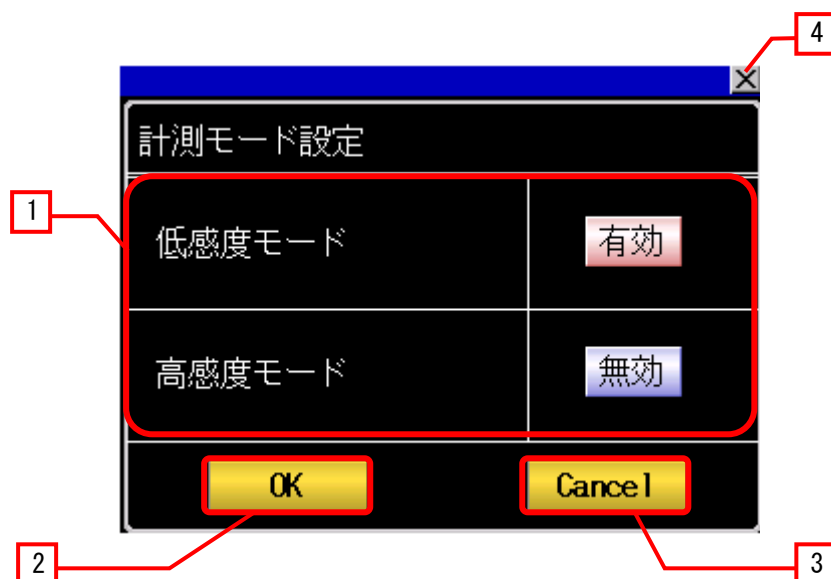
詳細

1. 設定するセンサ種別を選択します。
2. 選択した設定を計測ユニットに書込みます。
3. 設定した値を破棄し、ウィンドウを閉じます。
4. ウィンドウ画面を閉じます。

備考

- ・ 設定を変更すると、変更中に通信エラーが発生する場合があります。

5. 3. 43 計測モード設定 (W-30013)



概要

計測モードを設定します。

詳細

1. 設定する計測モードを選択します。
2. 選択した設定を計測ユニットに書込みます。
3. 設定した値を破棄し、ウィンドウを閉じます。
4. ウィンドウ画面を閉じます。

備考

- ・ 設定を変更すると、変更中に通信エラーが発生する場合があります。

5.4 使用デバイス一覧

画面上のスイッチやランプなどに設定されている一部のデバイスは、スクリプトなどの共通設定にも設定されている場合があります。これらのデバイスを一括で変更する場合には[一括変更]の使用を推奨します。[一括変更]の詳細については、「GT Designer3 Version1 画面設計マニュアル(共通編)」を参照してください。

5.4.1 接続機器のデバイス

タイプ	デバイス番号	用途
ビット	1-1 400525. b0	パルスカウント値上限警報
	1-1 400525. b2	電流デマンド上下限警報
	1-1 400525. b3	電力デマンド上下限警報
	1-1 400525. b6	電流不平衡率上限警報
	1-1 400525. b7	電圧不平衡率上限警報
	1-1 400525. b8	電圧上下限警報
	1-1 400525. b9	漏洩電流一段警報
	1-1 400525. b10	漏洩電流二段警報
	1-1 400525. b11	抵抗分漏洩電流一段警報
	1-1 400525. b12	抵抗分漏洩電流二段警報
	1-1 400525. b13	力率上下限警報
	1-248 400513. b2	相線式 3P4W 判別用
	ワード	1-1 400755
1-1 400758		電力量 乗率
1-1 400764		機種コード
1-1 400773		電流現在値(平均)
1-1 401305		受電側積算電力量
1-248 400513		相線式
1-248 400514		一次電圧(線間電圧)
1-248 400516		一次電圧(相電圧)
1-248 400520		一次電流
1-248 400523		電流デマンド時限
1-248 400526		漏洩電流デマンド時限
1-248 400532		5A入力切替(センサ種別)
1-248 400738		パルス換算値単位
1-248 400739		パルス換算値
1-248 400741		電力量換算単位
1-248 400755		電流 乗率
1-248 400756		電圧 乗率
1-248 400757		電力 乗率
1-248 400758		電力量 乗率
1-248 400764		機種コード
1-248 400769		1相電流現在値
1-248 400770		2相電流現在値
1-248 400771		3相電流現在値
1-248 400773		電流現在値(平均)
1-248 400774		1相電流デマンド現在値
1-248 400775		2相電流デマンド現在値
1-248 400776		3相電流デマンド現在値
1-248 400779		1-2線間電圧現在値
1-248 400780		2-3線間電圧現在値
1-248 400781		3-1線間電圧現在値
1-248 400790		総合力率現在値
1-248 400791		周波数現在値
1-248 400795		総合電力現在値
1-248 400799	総合電力デマンド現在値	

タイプ	デバイス番号	用途
ワード	1-248 400803	総合無効電力現在値
	1-248 400810	漏洩電流現在値
	1-248 400811	漏洩電流デマンド現在値
	1-248 400933	抵抗分漏洩電流現在値
	1-248 400934	抵抗分漏洩電流デマンド現在値
	1-248 400935	抵抗分漏洩電流差分変換値
	1-248 400939	I0 一段警報発生回数
	1-248 400941	I0 二段警報発生回数
	1-248 400943	I0r 一段警報発生回数
	1-248 400945	I0r 二段警報発生回数
	1-248 401057	計測モード設定
	1-248 401305	受電側積算電力量
	1-248 401309	受電側無効電力量(遅れ)
	1-248 401477	電力量換算値
	1-248 401483	パルス換算値
	1-248 432772	回路2 電流 乗率
	1-248 432773	回路2 電圧 乗率
	1-248 432774	回路2 電力 乗率
	1-248 432775	回路2 電力量 乗率
	1-248 432781	回路2 相線式
	1-248 432782	回路2 一次電圧(線間電圧)
	1-248 432784	回路2 一次電圧(相電圧)
	1-248 432788	回路2 5A入力切替(センサ種別)
	1-248 432791	回路2 一次電流
	1-248 432798	回路2 電流デマンド時限
	1-248 432811	回路2 パルス換算値単位(CH1)
	1-248 432812	回路2 パルス換算率(CH1)
	1-248 432861	回路2 スケーリング下限値(CH1)
	1-248 432862	回路2 スケーリング上限値(CH1)
	1-248 432863	回路2 スケーリング値単位(CH1)
	1-248 432867	回路2 スケーリング下限値(CH2)
	1-248 432868	回路2 スケーリング上限値(CH2)
	1-248 432869	回路2 スケーリング値単位(CH2)
	1-248 432873	回路2 スケーリング下限値(CH3)
	1-248 432874	回路2 スケーリング上限値(CH3)
	1-248 432875	回路2 スケーリング値単位(CH3)
	1-248 432879	回路2 スケーリング下限値(CH4)
	1-248 432880	回路2 スケーリング上限値(CH4)
	1-248 432881	回路2 スケーリング値単位(CH4)
	1-248 432898	回路2 レベルA 設定(CH1)
	1-248 432899	回路2 レベルB 設定(CH1)
	1-248 432900	回路2 レベルC 設定(CH1)
	1-248 432901	回路2 レベルD 設定(CH1)
	1-248 432902	回路2 レベルA 設定(CH2)
	1-248 432903	回路2 レベルB 設定(CH2)
	1-248 432904	回路2 レベルC 設定(CH2)
	1-248 432905	回路2 レベルD 設定(CH2)
1-248 432906	回路2 レベルA 設定(CH3)	
1-248 432907	回路2 レベルB 設定(CH3)	
1-248 432908	回路2 レベルC 設定(CH3)	
1-248 432909	回路2 レベルD 設定(CH3)	
1-248 432910	回路2 レベルA 設定(CH4)	
1-248 432911	回路2 レベルB 設定(CH4)	

タイプ	デバイス番号	用途
ワード	1-248 432912	回路2 レベルC 設定(CH4)
	1-248 432913	回路2 レベルD 設定(CH4)
	1-248 432914	回路2 レベル超過回数モニタ乗率(CH1)
	1-248 432915	回路2 レベル超過回数モニタ乗率(CH2)
	1-248 432916	回路2 レベル超過回数モニタ乗率(CH3)
	1-248 432917	回路2 レベル超過回数モニタ乗率(CH4)
	1-248 432929	回路2 パルス換算値単位(CH2)
	1-248 432930	回路2 パルス換算率(CH2)
	1-248 432932	回路2 パルス換算値単位(CH3)
	1-248 432933	回路2 パルス換算率(CH3)
	1-248 432935	回路2 パルス換算値単位(CH4)
	1-248 432936	回路2 パルス換算率(CH4)
	1-248 433025	回路2 1相電流現在値
	1-248 433026	回路2 2相電流現在値
	1-248 433027	回路2 3相電流現在値
	1-248 433030	回路2 1相電流デマンド現在値
	1-248 433031	回路2 2相電流デマンド現在値
	1-248 433032	回路2 3相電流デマンド現在値
	1-248 433035	回路2 1-2線間電圧現在値
	1-248 433036	回路2 2-3線間電圧現在値
	1-248 433037	回路2 3-1線間電圧現在値
	1-248 433046	回路2 総合力率現在値
	1-248 433047	回路2 周波数現在値
	1-248 433051	回路2 総合電力現在値
	1-248 433055	回路2 総合電力デマンド現在値
	1-248 433059	回路2 総合無効電力現在値
	1-248 433176	回路2 スケーリング値(CH1)
	1-248 433177	回路2 スケーリング値(CH2)
	1-248 433178	回路2 スケーリング値(CH3)
	1-248 433179	回路2 スケーリング値(CH4)
	1-248 433305	回路2 受電側積算電力量
	1-248 433309	回路2 受電側無効電力量(遅れ)
	1-248 433373	回路2 パルス換算値(CH1)
	1-248 433377	回路2 パルス換算値(CH2)
	1-248 433381	回路2 パルス換算値(CH3)
	1-248 433385	回路2 パルス換算値(CH4)
	1-248 433389	回路2 レベルA 超過回数(CH1)
	1-248 433391	回路2 レベルB 超過回数(CH1)
	1-248 433393	回路2 レベルC 超過回数(CH1)
	1-248 433395	回路2 レベルD 超過回数(CH1)
	1-248 433397	回路2 レベルA 超過回数(CH2)
	1-248 433399	回路2 レベルB 超過回数(CH2)
	1-248 433401	回路2 レベルC 超過回数(CH2)
	1-248 433403	回路2 レベルD 超過回数(CH2)
	1-248 433405	回路2 レベルA 超過回数(CH3)
	1-248 433407	回路2 レベルB 超過回数(CH3)
	1-248 433409	回路2 レベルC 超過回数(CH3)
1-248 433411	回路2 レベルD 超過回数(CH3)	
1-248 433413	回路2 レベルA 超過回数(CH4)	
1-248 433415	回路2 レベルB 超過回数(CH4)	
1-248 433417	回路2 レベルC 超過回数(CH4)	
1-248 433419	回路2 レベルD 超過回数(CH4)	
1-249 400764	機種コード	

タイプ	デバイス番号	用途
ワード	1-249 432769	回路 2 機種コード

* 回路 3 以降のデバイス番号は、回路 2 のデバイス番号に「+ 1792 × (回路番号 - 2)」したデバイス番号になります。サンプルでは、回路 2 のデバイス番号にオフセットを設定して回路 3 以降の計測項目を表示しています。

5.4.2 GOT の内部デバイス

タイプ	デバイス番号	用途	
ビット	GB40	スクリプトトリガ(常時 ON)	
	GB61000	ロギング ID : 30001 トリガデバイス	
	GB61001	ロギング ID : 30001 ロギング処理中通知デバイス	
	GB61002	ロギング ID : 30001 ファイル終端トリガ	
	GB61003	ロギング ID : 30001 ファイル終端通知デバイス	
	GB61004	ロギング ID : 30002 トリガデバイス	
	GB61005	ロギング ID : 30002 ロギング処理中通知デバイス	
	GB61006	ロギング ID : 30002 ファイル終端トリガ	
	GB61007	ロギング ID : 30002 ファイル終端通知デバイス	
	GB61008	ロギング ID : 30003 トリガデバイス	
	GB61009	ロギング ID : 30003 ロギング処理中通知デバイス	
	GB61010	ロギング ID : 30003 ファイル終端トリガ	
	GB61011	ロギング ID : 30003 ファイル終端通知デバイス	
	GB61012	ロギング ID : 30004 トリガデバイス	
	GB61013	ロギング ID : 30004 ロギング処理中通知デバイス	
	GB61014	ロギング ID : 30005 トリガデバイス	
	GB61015	ロギング ID : 30005 ロギング処理中通知デバイス	
	GB61016	ロギング ID : 30006 トリガデバイス	
	GB61017	ロギング ID : 30006 ロギング処理中通知デバイス	
	GB61018	ロギング ID : 30007 トリガデバイス	
	GB61019	ロギング ID : 30007 ロギング処理中通知デバイス	
	GB61020	オブジェクトスクリプトトリガ	
	GB61021	レシピ 1 書き込みトリガデバイス	
	GB61022	レシピ 1 読み出しトリガデバイス	
	GB61023	スクリプト No. 30002 トリガデバイス	
	GB61024	スクリプト No. 30004 トリガデバイス	
	GD60031. b13	GOT エラーリセット信号	
	GS512. b0	時刻変更信号	
	ワード	GD10	局番間接指定
		GD11	局番間接指定 局番/回路変更用
GD60000		ベース画面切り換え	
GD60001		オーバーラップウィンドウ 1 画面切り換え	
GD60002		オーバーラップウィンドウ 2 画面切り換え	
GD60018		ダイアログウィンドウ画面切り換え	
GD60021		言語切り換え	
GD60022		システム言語切り換え	
GD60031、GD60041		システム情報	
GD61000		モニタ回路デバイス	
GD61001		モニタ回路オフセットデバイス	
GD61002		モニタ対象機種コード	
GD61004		変更後モニタ回路デバイス	
GD61005		変更後モニタ回路オフセットデバイス	
GD61006		変更後モニタ対象機種コード	
GD61007		変更後モニタ対象基本ユニット機種コード	
GD61008		変更後モニタ回路機種コード用オフセットデバイス	
GD61010		電力量グラフ ロギング ID デバイス	

タイプ	デバイス番号	用途
ワード	GD61011	電力量グラフ グラフオフセットデバイス
	GD61012	電力量グラフ カーソル位置デバイス値
	GD61014	電力量グラフ 上限値デバイス
	GD61016～GD61019	電力量グラフ カーソル位置時刻
	GD61020～GD61023	電力量グラフ 表示開始位置時刻
	GD61024～GD61027	電力量グラフ 表示終了位置時刻
	GD61028、GD61029	電力量グラフ 上限値設定デバイス
	GD61030、GD61031	電力量グラフ 上限値入力範囲(上限)デバイス
	GD61032、GD61033	電力量グラフ 上限値入力範囲(下限)デバイス
	GD61034	総合電流グラフ ロギング ID デバイス
	GD61035	総合電流グラフ グラフオフセットデバイス
	GD61036	総合電流グラフ カーソル位置デバイス値
	GD61037	総合電流グラフ 上限値デバイス
	GD61038～GD61041	総合電流グラフ カーソル位置時刻
	GD61042～GD61045	総合電流グラフ 表示開始位置時刻
	GD61046～GD61049	総合電流グラフ 表示終了位置時刻
	GD61050、GD61051	総合電流グラフ 上限値設定 デバイス
	GD61052、GD61053	総合電流グラフ 上限値入力範囲(上限)デバイス
	GD61054、GD61055	総合電流グラフ 上限値入力範囲(下限)デバイス
	GD61056	拡張レシピ共通設定 外部制御デバイス
	GD61057	拡張レシピ共通設定 レシピ No. 格納デバイス
	GD61058	拡張レシピ共通設定 レコード No. 格納デバイス
	GD61059	拡張レシピ共通設定 外部通知デバイス
	GD61060	拡張レシピ共通設定 レシピ No. 通知デバイス
	GD61061	拡張レシピ共通設定 レコード No. 通知デバイス
	GD61062	拡張レシピ No. 30001 レコード No.
	GD61063	設定用デバイス
	GD61065	レベル A～D 入力範囲(下限)デバイス
	GD61066	レベル A～D 入力範囲(上限)デバイス
	GD62200	アラーム表示(ユーザ) コメント番号
	GD62201～GD62204	アラーム表示(ユーザ) 発生日時
	GD62205～GD62208	アラーム表示(ユーザ) 復旧日時
	GD63990～GD63995	時計のデジスイッチ
	GS513～GS516	変更時刻
	GS573	保持レジスタ読み出し最大数指定
	GS650～GS652	現在時刻
	TMP800～TMP808	電力換算値 オブジェクトスクリプト演算用
	TMP809、TMP810	パルス換算値 1 オブジェクトスクリプト演算用
	TMP811、TMP812	パルス換算値 2 オブジェクトスクリプト演算用
	TMP813、TMP814	パルス換算値 3 オブジェクトスクリプト演算用
	TMP815、TMP816	パルス換算値 4 オブジェクトスクリプト演算用
	TMP0～TMP28、 TMP100～TMP105、 TMP200～TMP206、 TMP211～TMP213、 TMP220～TMP223、 TMP1000、TMP1001、 TMP1010、TMP1020	時計設定画面 オブジェクトスクリプト演算用

5.5 コメント一覧

コメント グループ No.	コメント No.	使用箇所
254	No. 1～20	B-30011(ユーザアラーム監視 ID 30001)
	No. 1	B-30019～B-30025、B-30027、B-30051～B-30054、B-30061
255	No. 2	B-30002～B-30018、B-30020～B-30025、B-30027、B-30031～B-30035、 B-30041、B-30051～B-30054、B-30061
	No. 3	B-30002～B-30019、B-30021～B-30025、B-30027、B-30031～B-30035、 B-30041、B-30051～B-30054、B-30061
	No. 4	B-30002～B-30020、B-30027、B-30031～B-30035、B-30041
	No. 5	B-30001
	No. 6	B-30002～B-30025、B-30031～B-30035、B-30041、B-30051～B-30054、 B-30061
	No. 7	B-30001～B-30025、B-30027、B-30031～B-30035、B-30041、B-30051～ B-30054、B-30061
	No. 8、9	B-30001
	No. 10、11	B-30001～B-30025、B-30031～B-30035、B-30041、B-30051～B-30054、 B-30061
	No. 18	B-30002～B-30018、B-30021～B-30025、B-30031～B-30035、B-30041、 B-30051～B-30054、B-30061
	No. 19	B-30002～B-30018、B-30031～B-30035、B-30041
	No. 20～22	B-30002、B-30009
	No. 23～25	B-30003、B-30010
	No. 26～28	B-30004、B-30011
	No. 29～31	B-30005、B-30012
	No. 32、33	B-30006、B-30013
	No. 34、35	B-30007、B-30014
	No. 36	B-30008
	No. 37	B-30008、B-30041
	No. 38、39	B-30015
	No. 40～42	B-30016
	No. 43、44	B-30017
	No. 45、46	B-30018
	No. 47	B-30017、B-30018、B-30031～B-30035
	No. 48	B-30002、B-30009、B-30015、B-30031、B-30041
	No. 49	B-30003、B-30010、B-30016、B-30032
	No. 50	B-30004、B-30011、B-30017、B-30033
	No. 51	B-30005、B-30012、B-30018、B-30034
	No. 52	B-30006、B-30013
	No. 53	B-30007、B-30014
	No. 54	B-30008
No. 60	B-30019	
No. 61	B-30020	
No. 62～64	B-30019、B-30020	
No. 65、66	B-30020	
No. 67、68	B-30019、B-30020	
No. 69	B-30019	
No. 80	B-30021、B-30023、B-30025、W-30011	
No. 81、82	B-30021、B-30023	
No. 83	B-30022、B-30024、W-30012	
No. 84、85	B-30022、B-30024	
No. 86	B-30025	
No. 87	B-30025、W-30013	

コメント グループ No.	コメント No.	使用箇所
255	No. 90	B-30021～B-30025、B-30051～B-30054、B-30061
	No. 91	B-30021、B-30023、B-30025、B-30051、B-30061
	No. 92	B-30022、B-30024、B-30052
	No. 93	B-30001
	No. 94	B-30001、B-30027
	No. 95、96	B-30027
	No. 98～101	W-30010
	No. 102～109	W-30002
	No. 110	W-30002、W-30010
	No. 112、113	W-30001
	No. 115～132	B-30008、B-30041
	No. 140～151	W-30010
	No. 215、216	W-30011～W-30013
	No. 217	B-30021～B-30023、B-30025
	No. 300、301	W-30011～W-30013
	No. 303～306	B-30021、B-30023、B-30025、W-30011
	No. 307	B-30021、B-30023、W-30011
	No. 308	B-30023、W-30011
	No. 309	B-30021、W-30011
	No. 310、311	B-30022、B-30024、W-30012
	No. 312、313	B-30025、W-30013
	No. 321	B-30053
	No. 322	B-30054
	No. 401	B-30031
	No. 402～405	B-30051～B-30054
	No. 406～409	B-30032～B-30035
	No. 421～437	B-30031、B-30051～B-30054
No. 461	B-30061	

5.6 レシピー一覧

5.6.1 共通設定

外部制御情報

項目	デバイス
外部制御デバイス	GD61056
レシピ No. 格納デバイス	GD61057
レコード No. 格納デバイス	GD61058

外部通知情報

項目	デバイス
外部通知デバイス	GD61059
レシピ No. 通知デバイス	GD61060
レコード No. 通知デバイス	GD61061

5.6.2 個別設定

レシピ No. 30001 レシピ 1

項目	設定	
レシピファイル	使用する	
	ドライブ名	A: 標準 SD カード
	フォルダ名	Project1
	ファイル名	ARP00001.G1P
トリガデバイス	書き込みトリガデバイス 1	GB61021
	読み出しトリガデバイス 1	GB61022
	レコード No. デバイス	GD61062
ブロック数	2	
レコード数	1	
ブロック 1	デバイス	GD61014
	デバイス形式	符号付き BIN32
	点数	1
ブロック 2	デバイス	GD61037
	デバイス形式	符号なし BIN16
	点数	1

5.7 ログ一覧

ロギング ID : 30001 ロギング 1

項目	設定	
ロギング方式	ファイル保存モード	
	保存ファイル数	62
	1 ファイル内ログ件数	24
	ファイル終端トリガ	GB61002
ロギングトリガ	ファイル終端通知デバイス	GB61003
	トリガ種別	立上り
	デバイス	GB61000
ロギング処理中通知デバイス	GB61001	
ブロック数	1	
ブロック 1	デバイス	1-1 401305
	デバイス形式	符号付き BIN32
	点数	1
保存先	ドライブ名	A: 標準 SD カード
	フォルダ名	Project1¥LOG30001
	ファイル名	LOG30001
	ファイル名に日付情報を付加する	付加する
追加ファイル出力	追加でファイルを出力する	CSV
	保存先	ロギングファイルと同じ

ロギング ID : 30002 ロギング 2

項目	設定	
ロギング方式	ファイル保存モード	
	保存ファイル数	24
	1 ファイル内ログ件数	31
	ファイル終端トリガ	GB61006
ロギングトリガ	ファイル終端通知デバイス	GB61007
	トリガ種別	立上り
	デバイス	GB61004
ロギング処理中通知デバイス	GB61005	
ブロック数	1	
ブロック 1	デバイス	1-1 401305
	デバイス形式	符号付き BIN32
	点数	1
保存先	ドライブ名	A: 標準 SD カード
	フォルダ名	Project1¥LOG30002
	ファイル名	LOG30002
	ファイル名に日付情報を付加する	付加する
追加ファイル出力	追加でファイルを出力する	CSV
	保存先	ロギングファイルと同じ

ロギング ID : 30003 ロギング 3

項目	設定	
ロギング方式	ファイル保存モード	
	保存ファイル数	3
	1 ファイル内ログ件数	12
	ファイル終端トリガ	GB61010
ロギングトリガ	ファイル終端通知デバイス	GB61011
	トリガ種別	立上り
	デバイス	GB61008
ロギング処理中通知デバイス	GB61009	
ブロック数	1	
ブロック 1	デバイス	1-1 401305
	デバイス形式	符号付き BIN32
	点数	1
保存先	ドライブ名	A: 標準 SD カード
	フォルダ名	Project1¥LOG30003
	ファイル名	LOG30003
	ファイル名に日付情報を付加する	付加する
追加ファイル出力	追加でファイルを出力する	CSV
	保存先	ロギングファイルと同じ

ロギング ID : 30004 ロギング 4

項目	設定	
ロギング方式	ファイル保存モード	
	保存ファイル数	1
	1 ファイル内ログ件数	31
ロギングトリガ	トリガ種別	立上り
	デバイス	GB61012
ロギング処理中通知デバイス	GB61013	
ブロック数	1	
ブロック 1	デバイス	1-1 400773
	デバイス形式	符号付き BIN16
	点数	1
保存先	ドライブ名	A: 標準 SD カード
	フォルダ名	Project1¥LOG30004
	ファイル名	LOG30004

ロギング ID : 30005 ロギング 5

項目	設定	
ロギング方式	ファイル保存モード	
	保存ファイル数	1
	1 ファイル内ログ件数	31
ロギングトリガ	トリガ種別	立上り
	デバイス	GB61014
ロギング処理中通知デバイス	GB61015	
ブロック数	1	
ブロック 1	デバイス	1-1 400773
	デバイス形式	符号付き BIN16
	点数	1
保存先	ドライブ名	A: 標準 SD カード
	フォルダ名	Project1¥LOG30005
	ファイル名	LOG30005

ロギング ID : 30006 ロギング 6

項目	設定	
ロギング方式	ファイル保存モード	
	保存ファイル数	1
	1 ファイル内ログ件数	31
ロギングトリガ	トリガ種別	立上り
	デバイス	GB61016
ロギング処理中通知デバイス	GB61017	
ブロック数	1	
ブロック 1	デバイス	1-1 400773
	デバイス形式	符号付き BIN16
	点数	1
保存先	ドライブ名	A: 標準 SD カード
	フォルダ名	Project1¥LOG30006
	ファイル名	LOG30006

ロギング ID : 30007 ロギング 7

項目	設定	
ロギング方式	ファイル保存モード	
	保存ファイル数	1
	1 ファイル内ログ件数	31
ロギングトリガ	トリガ種別	立上り
	デバイス	GB61018
ロギング処理中通知デバイス	GB61019	
ブロック数	1	
ブロック 1	デバイス	1-1 400773
	デバイス形式	符号付き BIN16
	点数	1
保存先	ドライブ名	A: 標準 SD カード
	フォルダ名	Project1¥LOG30007
	ファイル名	LOG30007

5.8 スクリプト一覧

項目	設定
プロジェクトスクリプト	有り
画面スクリプト	有り : B-30001、B-30051~30054、W-30010
オブジェクトスクリプト	有り : B-30002~30006、B-30008~B-30013、B-30021、B-30015、B-30016、B-30019、B-30020、B-30023、B-30024、W-30002、W-30011、W-30012

5.8.1 プロジェクトスクリプト

スクリプト No.	30001	スクリプト名	Script30001
コメント	画面起動時の処理		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	立上り GB40
<p>//画面起動時に実行する処理です。</p> <p>[w:GD10] = 1; //モニタ局番に 1 を設定 [w:GD61000] = 1; //モニタ回路に 1 を設定 [w:GD61004] = 1; //モニタ回路に 1 を設定</p> <p>//グラフの初期 [w:GD61010] = 30001; //電力量グラフを 1 時間に設定 [w:GD61034] = 30004; //電流グラフを 1 分間に設定</p> <p>//拡張レンジからグラフ上限値を設定 [w:GD61062] = 1; //レコード No. 1 設定 set([b:GB61021]); //書き込みしトリガ ON</p>			
スクリプト No.	30002	スクリプト名	Script30002
コメント	ログゲトリガ		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	ON中 GB61023
<p>//ロギングトリガを ON する。</p> <p>//GOT 時計が 00 秒にロギングトリガを ON する。 if(([w:GS652] & 0x00FF) == 0) { set([b:GB61012]); //総合電流 1 分間ロギングトリガを ON</p> <p>//*0 分 00 秒 if(([w:GS652] & 0x0F00) == 0x0000) { set([b:GB61014]); //総合電流 10 分ロギングトリガを ON }</p> <p>//00 分 00 秒 if(([w:GS652] & 0xFF00) == 0x0000) { set([b:GB61000]); //電力量 1 時間ロギングトリガを ON set([b:GB61016]); //総合電流 1 時間ロギングトリガを ON</p> <p>//00 時 00 分 00 秒 if(([w:GS651] & 0x00FF) == 0x0000) { set([b:GB61004]); //電力量 1 日ロギングトリガを ON set([b:GB61018]); //総合電流 1 日ロギングトリガを ON</p>			

```

//01日00時00分00秒にロギングトリガをONする。
if(([w:GS651] & 0xFF00) == 0x0100)
{
    set([b:GB61008]); //電力量1月ロギングトリガをON
}
}
}
else
{
//00秒以外かつロギング通知デバイスがONの場合にロギングトリガをOFF

if([b:GB61013])
{
    rst([b:GB61012]); //総合電流1分間ロギングトリガをOFF
}
if([b:GB61015])
{
    rst([b:GB61014]); //総合電流10分ロギングトリガをOFF
}
if([b:GB61017])
{
    rst([b:GB61016]); //総合電流1時間ロギングトリガをOFF
}
if([b:GB61019])
{
    rst([b:GB61018]); //総合電流1日ロギングトリガをOFF
}

if([b:GB61001])
{
    rst([b:GB61000]); //電力量1時間ロギングトリガをOFF
//00時の場合、ファイル終端トリガをONしファイルを保存する。
if(([w:GS651] & 0x00FF) == 0x0000)
{
    set([b:GB61002]); //電力量1時間ロギングファイル終端トリガON
}
}
//ファイル終端通知デバイスがONしたら、ファイル終端トリガをOFFする。
if([b:GB61003])
{
    rst([b:GB61002]); //電力量1時間ロギングファイル終端トリガOFF
}

if([b:GB61005])
{
    rst([b:GB61004]); //電力量1日ロギングトリガをOFF
//01日の場合、ファイル終端トリガをONしファイルを保存する。
if(([w:GS651] & 0xFF00) == 0x0100)
{
    set([b:GB61006]); //電力量1日ロギングファイル終端トリガON
}
}
//ファイル終端通知デバイスがONしたら、ファイル終端トリガをOFFする。
if([b:GB61007])
{

```



```

rst([b:GB61006]); //電力量 1 時間ロギングファイル終端トリガ OFF
}

if([b:GB61009])
{
rst([b:GB61008]); //電力量 1 月ロギングトリガを OFF
//01 月の場合, ファイル終端トリガを ON しファイルを保存する。
if(([w:GS650] & 0x00FF) == 0x0001)
{
set([b:GB61010]); //電力量 1 月ロギングファイル終端トリガ ON
}
}
//ファイル終端通知デバイスが ON したら, ファイル終端トリガを OFF する。
if([b:GB61011])
{
rst([b:GB61010]); //電力量 1 時間ロギングファイル終端トリガ OFF
}
}

```

スクリプト No.	30005	スクリプト名	Script30005
コメント	レシピ書き込みトリガ OFF		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	ON 中周期/2 秒 GB61021
rst([b:GB61021]); //レシピ書き込みトリガ OFF			
set([b:GB61023]); //2 秒後にロギングを開始する			

5.8.2 画面スクリプト

ベース画面 30001

スクリプト No.	30006	スクリプト名	Script30006
コメント	初期機種コード取得		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	常時
<pre> //局番&回路設定が共に 1 の場合 (初期) if(([w:GD10] == 1) && ([w:GD61000] == 1)) { //機種コードを取得する。 [w:GD61002] = [1-248:w:400764]; } </pre>			

ベース画面 30051

スクリプト No.	30008	スクリプト名	Script30008
コメント	スケージング上下限值取得 (CH1 用)		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	常時
<pre> //EMU4-AX4 のパラメータ設定画面で、 //レベル A~D の入力範囲としてスケージング上下限值を取得する //スケージング下限値 (CH1) [w:GD61065] = [1-248:s16:432861[w:GD61001]]; //スケージング上限値 (CH1) [w:GD61066] = [1-248:s16:432862[w:GD61001]]; </pre>			

ベース画面 30052

スクリプト No.	30009	スクリプト名	Script30009
コメント	スケージング上下限值取得 (CH2 用)		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	常時
<pre> //EMU4-AX4 のパラメータ設定画面で、 //レベル A~D の入力範囲としてスケージング上下限值を取得する </pre>			

```
//スケールリング下限値 (CH2)
[w:GD61065] = [1-248:s16:432867[w:GD61001]];
//スケールリング上限値 (CH2)
[w:GD61066] = [1-248:s16:432868[w:GD61001]];
```

ベース画面 30053

スクリプト No.	30010	スクリプト名	Script30010
コメント	スケールリング上下限值取得 (CH3 用)		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	常時
<pre>//EMU4-AX4 のパラメータ設定画面で、 //レベル A~D の入力範囲としてスケールリング上下限值を取得する //スケールリング下限値 (CH3) [w:GD61065] = [1-248:s16:432873[w:GD61001]]; //スケールリング上限値 (CH3) [w:GD61066] = [1-248:s16:432874[w:GD61001]];</pre>			

ベース画面 30054

スクリプト No.	30011	スクリプト名	Script30011
コメント	スケールリング上下限值取得 (CH4 用)		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	常時
<pre>//EMU4-AX4 のパラメータ設定画面で、 //レベル A~D の入力範囲としてスケールリング上下限值を取得する //スケールリング下限値 (CH4) [w:GD61065] = [1-248:s16:432879[w:GD61001]]; //スケールリング上限値 (CH4) [w:GD61066] = [1-248:s16:432880[w:GD61001]];</pre>			

ウィンドウ画面 30010

スクリプト No.	30003	スクリプト名	Script30003
コメント	対象局回路設定処理		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	常時
<pre>//回路設定値により回路オフセットデバイスを変更する。 switch([s16:GD61004]) { case 1: [s16:GD61005] = 0; [s16:GD61008] = -32005; break; case 2: [s16:GD61005] = 0; [s16:GD61008] = 0; break; case 3: [s16:GD61005] = 1792; [s16:GD61008] = 1792; break; case 4: [s16:GD61005] = 1792 * 2; [s16:GD61008] = 1792 * 2; break; case 5: [s16:GD61005] = 1792 * 3; [s16:GD61008] = 1792 * 3; break;</pre>			

```

case 6: [s16:GD61005] = 1792 * 4;
        [s16:GD61008] = 1792 * 4;
        break;

```

```

case 7: [s16:GD61005] = 1792 * 5;
        [s16:GD61008] = 1792 * 5;
        break;

```

```

default:

```

```

}

```

```

//機種コード取得スクリプトトリガ

```

```

set([b:GB61024]);

```

スクリプト No.	30004	スクリプト名	Script30004
コメント	機種コード取得		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	ON 中周期/1 秒 GB61024

```

[s16:GD61006] = -1;

```

```

//対象局番の基本ユニットの機種コードを取得

```

```

[s16:GD61007] = [1-249:s16:400764];

```

```

//基本ユニットの機種コードが 3, 4, 7 以外は

```

```

if(!((([s16:GD61007] == 3) || ([s16:GD61007] == 4) || ([s16:GD61007] == 7)))

```

```

{

```

```

    [s16:GD61004] = 1; //回路設定値を 1 に設定 (増設ユニットが無い機種のため)

```

```

}

```

```

//設定回路の機種コードを取得

```

```

[s16:GD61006] = [1-249:s16:432769[s16:GD61008]];

```

```

//スクリプトトリガ OFF

```

```

rst([b:GB61024]);

```

スクリプト No.	30007	スクリプト名	Script30007
コメント	対象局&回路変更		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	画面を閉じる時

```

if([b:GB61020])

```

```

{

```

```

    [w:GD10] = [w:GD11]; //変更後局番を反映

```

```

    [w:GD61000] = [w:GD61004]; //変更後回路を反映

```

```

    [w:GD61001] = [w:GD61005]; //変更後オフセットを反映

```

```

    [w:GD61002] = [w:GD61006]; //変更後機種コードを反映

```

```

//取得した機種コードおよびベース画面により切り換える画面を変更する

```

```

switch([s16:GD61006])

```

```

{

```

```

    //機種コードが 5, 6 (EMU4-A2/VA2) の場合

```

```

    case 5:

```

```

    case 6:

```

```

        //基本ユニットの現在値モニタ画面を表示中の場合

```

```

        if((([s16:GD60000] >= 30002) && ([s16:GD60000] <= 30007))

```

```

        {

```

```

            //EMU4-A2/VA2 の画面に変更

```

```

            [s16:GD60000] = [s16:GD60000] + 7;

```

```

        }

```

```

        else

```

```

        {

```

```

            //その他の機種の現在値モニタ画面を表示中の場合

```

```

            if((([s16:GD60000] == 30008) ||

```

```

                ([s16:GD60000] >= 30015) && ([s16:GD60000] <= 30018)) ||

```

```

        (([s16:GD60000] >= 30031) && ([s16:GD60000] <= 30035)) ||
        ([s16:GD60000] == 30041))
    {
        //EMU4-A2/VA2 の画面に変更
        [s16:GD60000] = 30009;
    }
    else
    {
        //基本ユニットのパラメータ設定画面を表示中の場合
        if((([s16:GD60000] >= 30021) && ([s16:GD60000] <= 30022))
        {
            //EMU4-A2/VA2 の画面に変更
            [s16:GD60000] = [s16:GD60000] + 2;
        }
        else
        {
            //その他の機種のパラメータ設定画面を表示中の場合
            if((([s16:GD60000] == 30025) ||
                (([s16:GD60000] >= 30051) && ([s16:GD60000] <= 30054)) ||
                ([s16:GD60000] == 30061))
            {
                //EMU4-A2/VA2 の画面に変更
                [s16:GD60000] = 30023;
            }
        }
    }
}
break;

```

//機種コードが 1, 2, 11 (EMU4-*D1-MB), 3 (EMU4-BM1-MB), 530~535 (ME96SS*-MB) の場合

```

case 1:
case 2:
case 3:
case 11:
case 530:
case 531:
case 532:
case 533:
case 534:
case 535:
    //EMU4-A2/VA2 の現在値モニタ画面を表示中の場合
    if((([s16:GD60000] >= 30009) && ([s16:GD60000] <= 30014))
    {
        //対象機種の画面に変更
        [s16:GD60000] = [s16:GD60000] - 7;
    }
    else
    {
        //その他の機種の現在値モニタ画面を表示中の場合
        if((([s16:GD60000] == 30008) ||
            (([s16:GD60000] >= 30015) && ([s16:GD60000] <= 30018)) ||
            (([s16:GD60000] >= 30031) && ([s16:GD60000] <= 30035)) ||
            ([s16:GD60000] == 30041))
        {
            //対象機種の画面に変更
            [s16:GD60000] = 30002;
        }
    }
}

```

```

}
else
{
//EMU4-A2/VA2 のパラメータ設定画面を表示中の場合
if(([s16:GD60000] >= 30023) && ([s16:GD60000] <= 30024))
{
//対象機種画面に変更
[s16:GD60000] = [s16:GD60000] - 2;
}
else
{
//その他の機種のパラメータ設定画面を表示中の場合
if(([s16:GD60000] == 30025) ||
([s16:GD60000] >= 30051) && ([s16:GD60000] <= 30054)) ||
([s16:GD60000] == 30061))
{
//対象機種画面に変更
[s16:GD60000] = 30021;
}
}
}
}
break;

//機種コードが4(EMU4-HM1-MB)の場合
case 4:
//EMU4-A2/VA2 の現在値モニタ画面を表示中の場合
if(([s16:GD60000] >= 30009) && ([s16:GD60000] <= 30014))
{
//EMU4-HM1-MB の画面に変更
[s16:GD60000] = [s16:GD60000] - 7;
}
else
{
//その他の機種 の現在値モニタ画面を表示中の場合
if(((([s16:GD60000] >= 30015) && ([s16:GD60000] <= 30018)) ||
([s16:GD60000] >= 30031) && ([s16:GD60000] <= 30035)) ||
([s16:GD60000] == 30041))
{
//EMU4-HM1-MB の画面に変更
[s16:GD60000] = 30002;
}
else
{
//EMU4-A2/VA2 のパラメータ設定画面を表示中の場合
if(([s16:GD60000] >= 30023) && ([s16:GD60000] <= 30024))
{
//EMU4-HM1-MB の画面に変更
[s16:GD60000] = [s16:GD60000] - 2;
}
else
{
//その他の機種のパラメータ設定画面を表示中の場合
if(([s16:GD60000] == 30025) ||
([s16:GD60000] >= 30051) && ([s16:GD60000] <= 30054)) ||
([s16:GD60000] == 30061))

```

```

        {
            //EMU4-HM1-MB の画面に変更
            [s16:GD60000] = 30021;
        }
    }
}
break:

//機種コードが 7 (EMU4-LG1-MB) の場合
case 7:
    //他の機種の現在値モニタ画面を表示中の場合
    if((([s16:GD60000] >= 30002) && ([s16:GD60000] <= 30014)) ||
        ([s16:GD60000] >= 30031) && ([s16:GD60000] <= 30035)) ||
        ([s16:GD60000] == 30041))
    {
        //EMU4-LG1-MB の画面に変更する
        [s16:GD60000] = 30015;
    }
    else
    {
        //他の機種のパラメータ設定画面を表示中の場合
        if((([s16:GD60000] >= 30021) && ([s16:GD60000] <= 30024)) ||
            ([s16:GD60000] >= 30051) && ([s16:GD60000] <= 30054)) ||
            ([s16:GD60000] == 30061))
        {
            //EMU4-LG1-MB の画面に変更する
            [s16:GD60000] = 30025;
        }
    }
    break:

//機種コードが 9 (EMU4-AX4) の場合
case 9:
    //他の機種の現在値モニタ画面を表示中の場合
    if((([s16:GD60000] >= 30002) && ([s16:GD60000] <= 30018)) ||
        ([s16:GD60000] == 30041))
    {
        //EMU4-AX4 の画面に変更する
        [s16:GD60000] = 30031;
    }
    else
    {
        //他の機種のパラメータ設定画面を表示中の場合
        if((([s16:GD60000] >= 30021) && ([s16:GD60000] <= 30025)) ||
            ([s16:GD60000] == 30061))
        {
            //EMU4-AX4 の画面に変更する
            [s16:GD60000] = 30051;
        }
    }
    break:

//機種コードが 10 (EMU4-PX4) の場合
case 10:
    //他の機種の現在値モニタ画面を表示中の場合

```

```

if((([s16:GD60000] >= 30002) && ([s16:GD60000] <= 30018)) ||
  (([s16:GD60000] >= 30031) && ([s16:GD60000] <= 30035)))
{
  //EMU4-PX4 の画面に変更する
  [s16:GD60000] = 30041;
}
else
{
  //他の機種のパラメータ設定画面を表示中の場合
  if((([s16:GD60000] >= 30021) && ([s16:GD60000] <= 30025)) ||
    (([s16:GD60000] >= 30051) && ([s16:GD60000] <= 30054)))
  {
    //EMU4-PX4 の画面に変更する
    [s16:GD60000] = 30061;
  }
}
break;

//その他機種の場合は何も処理をおこなわない。
default:
}
}
//スクリプトトリガデバイスを OFF する
rst([b:GB61020]);
rst([b:GB61024]);

```

5.8.3 オブジェクトスクリプト

ベース画面 30002

オブジェクト(名称)	数値表示(1相電流_数値)、数値表示(2相電流_数値)、数値表示(3相電流_数値)		
スクリプトユーザ ID	1		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	常時
<pre> //小数点の位置を算出しています。 switch([1-248:s16:400755]) { case -3: my.decimal_point = 3; break; case -2: my.decimal_point = 2; break; case -1: my.decimal_point = 1; break; case 0: my.decimal_point = 0; break; case 1: my.decimal_point = 0; \$V = \$\$ *10; break; } redraw_object(); </pre>			

ベース画面 30003

オブジェクト(名称)	数値表示(1相電流デマンド_数値)、数値表示(2相電流デマンド_数値)、 数値表示(3相電流デマンド_数値)		
スクリプトユーザ ID	1		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	常時
<pre>//小数点の位置を算出しています。 switch([1-248:s16:400755]) { case -3: my.decimal_point = 3; break; case -2: my.decimal_point = 2; break; case -1: my.decimal_point = 1; break; case 0: my.decimal_point = 0; break; case 1: my.decimal_point = 0; \$V = \$\$ *10; break; } redraw_object();</pre>			

ベース画面 30004

オブジェクト(名称)	数値表示(1-2線間電圧_数値_数値)、数値表示(2-3線間電圧_数値_数値)、 数値表示(3-1線間電圧_数値_数値)、		
スクリプトユーザ ID	1		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	常時
<pre>//小数点の位置を算出しています。 switch([1-248:s16:400756]) { case -3: my.decimal_point = 3; break; case -2: my.decimal_point = 2; break; case -1: my.decimal_point = 1; break; case 0: my.decimal_point = 0; break; case 1: my.decimal_point = 0; \$V = \$\$ *10; break; } redraw_object();</pre>			

ベース画面 30005

オブジェクト(名称)	数値表示(電力_数値)、数値表示(電力デマンド_数値)、数値表示(無効電力_数値)		
スクリプトユーザ ID	1		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	常時
<pre>//小数点の位置を算出しています。 switch([1-248:s16:400757]) { case -4: my.decimal_point = 4; break; case -3: my.decimal_point = 3; break; case -2: my.decimal_point = 2; break; case -1: my.decimal_point = 1; break; case 0: my.decimal_point = 0; break; case 1: my.decimal_point = 0; \$V = \$\$ *10; break; case 2: my.decimal_point = 0; \$V = \$\$ *100; break; } redraw_object();</pre>			

ベース画面 30006

オブジェクト(名称)	数値表示(電力量_数値)、数値表示(無効電力量_数値)		
スクリプトユーザ ID	1		
データ形式	符号付き BIN32	トリガ種別	常時
<pre>//小数点の位置を算出しています。 switch([1-248:s16:400758]) { case -3: my.decimal_point = 3; break; case -2: my.decimal_point = 2; break; case -1: my.decimal_point = 1; break; case 0: my.decimal_point = 0; break; case 1: my.decimal_point = 0; \$V = \$\$ * 10; break; case 2: my.decimal_point = 0; \$V = \$\$ * 100;</pre>			

```

        break;
    case 3:  my.decimal_point = 0;
            $V = $$ * 1000;
            break;
}

redraw_object();

```

ベース画面 30008

オブジェクト(名称)	数値表示(電力量換算値_数値)		
スクリプトユーザ ID	1		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	常時
<pre> //全負荷電力を計算する。 //全負荷電力=α × 一次電圧 × 一次電流 / 1000 //αは相線式により決まる定数 //各設定値をテンポラリワークに格納 [flt:TMP800] = [1-248:s32:400514]; //一次電圧(線間電圧) [flt:TMP802] = [1-248:s32:400516]; //一次電圧(相間電圧) [flt:TMP804] = [1-248:s32:400520]; //一次電流 [s16:TMP806] = [1-248:s16:400513]; //相線式 //全負荷電力を求める switch([s16:TMP806]) { //相線式=1P2Wの場合$\alpha=1$ case 1: [flt:TMP807] = [flt:TMP800] * [flt:TMP804] / 10000; break; //相線式=1P3Wの場合$\alpha=2$ case 2: case 5: [flt:TMP807] = 2 * [flt:TMP800] * [flt:TMP804] / 10000; break; //相線式=3P3Wの場合$\alpha=1.732$ case 3: case 6: [flt:TMP807] = 1.732 * [flt:TMP800] * [flt:TMP804] / 10000; break; //相線式=3P4Wの場合$\alpha=3$ 一次電圧(相間電圧) case 4: [flt:TMP807] = 3 * [flt:TMP802] * [flt:TMP804] / 100000; break; } //全負荷電力より電力換算値の小数点位置を算出 if([flt:TMP807] < 12) { //12kW未満の場合:小数2桁 my.decimal_point = 2; } else { if([flt:TMP807] < 120) { //12kW以上120kW未満の場合:小数1桁 my.decimal_point = 1; } else </pre>			

```

{
  if([flt:TMP807] < 1200)
  {
    //120kW 以上 1200kW 未満の場合 : 整数
    my.decimal_point = 0;
  }
  else
  {
    if([flt:TMP807] < 12000)
    {
      //1200kW 以上 12000kW 未満の場合 : ×10
      my.decimal_point = 0;
      $V = $$ * 10;
    }
    else
    {
      if([flt:TMP807] < 120000)
      {
        //12000kW 以上 120000kW 未満の場合 : ×100
        my.decimal_point = 0;
        $V = $$ * 100;
      }
      else
      {
        if([flt:TMP807] < 1200000)
        {
          //120000kW 以上 1200000kW 未満の場合 : ×1000
          my.decimal_point = 0;
          $V = $$ * 1000;
        }
        else
        {
          //1200000kW 以上の場合 : ×10000
          my.decimal_point = 0;
          $V = $$ * 10000;
        }
      }
    }
  }
}

```

redraw_object();

オブジェクト(名称)	数値表示(パルス換算値_数値)		
スクリプトユーザ ID	1		
データ形式	符号付き BIN32	トリガ種別	常時

```

//パルス換算率よりパルス換算値の小数点位置を算出
[s32:TMP809] = [1-248:s32:400739]; //パルス換算率をテンポラリワークに格納
if([s32:TMP809] < 10)
{
  //0.01 未満の場合 : 小数 3 桁
  my.decimal_point = 3;
}
else
{
  if([s32:TMP809] < 100)

```

```

{
  //0.01 以上 0.1 未満の場合 : 小数 2 桁
  my.decimal_point = 2;
}
else
{
  if([s32:TMP809] < 1000)
  {
    //0.1 以上 1 未満の場合 : 小数 1 桁
    my.decimal_point = 1;
  }
  else
  {
    if([s32:TMP809] < 10000)
    {
      //1 以上 10 未満の場合 : 整数
      my.decimal_point = 0;
    }
    else
    {
      if([s32:TMP809] < 100000)
      {
        //10 以上 100 未満の場合 : ×10
        my.decimal_point = 0;
        $V = $$ * 10;
      }
      else
      {
        if([s32:TMP809] < 1000000)
        {
          //100 以上 1000 未満の場合 : ×100
          my.decimal_point = 0;
          $V = $$ * 100;
        }
        else
        {
          //1000 以上の場合 : ×1000
          my.decimal_point = 0;
          $V = $$ * 1000;
        }
      }
    }
  }
}
}
}
}

redraw_object();

```

ベース画面 30009

オブジェクト(名称)	数値表示(1相電流_数値)、数値表示(2相電流_数値)、数値表示(3相電流_数値)		
スクリプトユーザ ID	1		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	常時
<pre> //小数点の位置を算出しています。 switch([1-248:s16:432772[s16:GD61001]]) { case -3: my.decimal_point = 3; </pre>			

```

        break;

    case -2: my.decimal_point = 2;
        break;

    case -1: my.decimal_point = 1;
        break;

    case 0:  my.decimal_point = 0;
        break;

    case 1:  my.decimal_point = 0;
        $V = $$ *10;
        break;
}

redraw_object();

```

ベース画面 30010

オブジェクト(名称)	数値表示(1相電流デマンド_数値)、数値表示(2相電流デマンド_数値)、 数値表示(3相電流デマンド_数値)		
スクリプトユーザ ID	1		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	常時
<pre> //小数点の位置を算出しています。 switch([1-248:s16:432772[s16:GD61001]]) { case -3: my.decimal_point = 3; break; case -2: my.decimal_point = 2; break; case -1: my.decimal_point = 1; break; case 0: my.decimal_point = 0; break; case 1: my.decimal_point = 0; \$V = \$\$ *10; break; } redraw_object(); </pre>			

ベース画面 30011

オブジェクト(名称)	数値表示(1-2線間電圧_数値_数値)、数値表示(2-3線間電圧_数値_数値)、 数値表示(3-1線間電圧_数値_数値)、		
スクリプトユーザ ID	1		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	常時
<pre> //小数点の位置を算出しています。 switch([1-248:s16:432773[s16:GD61001]]) { case -3: my.decimal_point = 3; break; } </pre>			

```

case -2: my.decimal_point = 2;
        break;

case -1: my.decimal_point = 1;
        break;

case 0:  my.decimal_point = 0;
        break;

case 1:  my.decimal_point = 0;
        $V = $$ *10;
        break;
}

redraw_object();

```

ベース画面 30012

オブジェクト(名称)	数値表示(電力_数値)、数値表示(電力デマンド_数値)、数値表示(無効電力_数値)		
スクリプトユーザ ID	1		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	常時
<pre> //小数点の位置を算出しています。 switch([1-248:s16:432774[s16:GD61001]]) { case -4: my.decimal_point = 4; break; case -3: my.decimal_point = 3; break; case -2: my.decimal_point = 2; break; case -1: my.decimal_point = 1; break; case 0: my.decimal_point = 0; break; case 1: my.decimal_point = 0; \$V = \$\$ *10; break; case 2: my.decimal_point = 0; \$V = \$\$ *100; break; } redraw_object(); </pre>			

ベース画面 30013

オブジェクト(名称)	数値表示(電力量_数値)、数値表示(無効電力量_数値)		
スクリプトユーザ ID	1		
データ形式	符号なし BIN32	トリガ種別	常時
<pre> //小数点の位置を算出しています。 switch([1-248:s16:432775[s16:GD61001]]) { </pre>			

```

case -3: my.decimal_point = 3;
        break;

case -2: my.decimal_point = 2;
        break;

case -1: my.decimal_point = 1;
        break;

case 0:  my.decimal_point = 0;
        break;

case 1:  my.decimal_point = 0;
        $V = $$ * 10;
        break;

case 2:  my.decimal_point = 0;
        $V = $$ * 100;
        break;

case 3:  my.decimal_point = 0;
        $V = $$ * 1000;
        break;
}

redraw_object();

```

ベース画面 30015

オブジェクト(名称)	数値表示(漏洩電流_数値)、数値表示(漏洩電流デマンド_数値)		
スクリプトユーザ ID	1		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	常時
<pre> //小数点の位置を算出しています。 switch([1-248:s16:400755]) { case -3: my.decimal_point = 3; break; case -2: my.decimal_point = 2; break; case -1: my.decimal_point = 1; break; case 0: my.decimal_point = 0; break; } redraw_object(); </pre>			

ベース画面 30016

オブジェクト(名称)	数値表示(抵抗分漏洩電流_数値)、数値表示(抵抗分漏洩電流デマンド_数値)、 数値表示(抵抗分漏洩電流差分変換値_数値)		
スクリプトユーザ ID	1		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	常時
<pre> //小数点の位置を算出しています。 switch([1-248:s16:400755]) { case -3: my.decimal_point = 3; break; } </pre>			

```

case -2: my.decimal_point = 2;
        break;

case -1: my.decimal_point = 1;
        break;

case 0:  my.decimal_point = 0;
        break;
}

redraw_object();

```

ベース画面 30019

オブジェクト(名称)	数値入力(ヒストリカルグラフ上限) (入力オブジェクトスクリプト)		
スクリプトユーザ ID	1		
データ形式	実数	トリガ種別	入力確定時
<pre> //電力量乗率によりグラフ上限を設定する switch([1-248:s16:400758]) { case -2: [u32:GD61014] = \$W * 100; break; case -1: [u32:GD61014] = \$W * 10; break; case 0: [u32:GD61014] = \$W; break; case 1: [u32:GD61014] = \$W / 10; break; case 2: [u32:GD61014] = \$W / 100; break; case 3: [u32:GD61014] = \$W / 1000; break; } </pre>			
オブジェクト(名称)	数値入力(ヒストリカルグラフ上限) (表示オブジェクトスクリプト)		
スクリプトユーザ ID	1		
データ形式	実数	トリガ種別	常時
<pre> //電力量の乗率により //グラフ上限値入力範囲 //グラフ上限表示値の切捨て //グラフ上限表示値の小数点位置を算出 switch([1-1:s16:400758]) { case -3: [flt:GD61030] = 1000; [flt:GD61032] = 0.001; [flt:GD61028] = [u32:GD61014] / 1000; my.decimal_point = 3; break; case -2: [flt:GD61030] = 10000; [flt:GD61032] = 0.01; [flt:GD61028] = [u32:GD61014] / 100; </pre>			


```

        my.decimal_point = 2;
        break;

    case -1: [flt:GD61030] = 100000;
            [flt:GD61032] = 0.1;
            [flt:GD61028] = [u32:GD61014] / 10;
            my.decimal_point = 1;
            break;

    case 0:  [flt:GD61030] = 1000000;
            [flt:GD61032] = 1;
            [flt:GD61028] = [u32:GD61014] * 1;
            my.decimal_point = 0;
            break;

    case 1:  [flt:GD61030] = 10000000;
            [flt:GD61032] = 10;
            [flt:GD61028] = [u32:GD61014] * 10;
            my.decimal_point = 0;
            break;

    case 2:  [flt:GD61030] = 100000000;
            [flt:GD61032] = 100;
            [flt:GD61028] = [u32:GD61014] * 100;
            my.decimal_point = 0;
            break;

    case 3:  [flt:GD61030] = 1000000000;
            [flt:GD61032] = 1000;
            [flt:GD61028] = [u32:GD61014] * 1000;
            my.decimal_point = 0;
            break;
}

```

```
redraw_object();
```

オブジェクト(名称)	数値表示(ヒストリカルグラフ中間)		
スクリプトユーザ ID	1		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	常時

```

$V = $$ /2;
//電力量の乗率により小数点の位置を算出
switch([1-1:s16:400758])
{
    case -3: my.decimal_point = 3;
            break;

    case -2: my.decimal_point = 2;
            break;

    case -1: my.decimal_point = 1;
            break;

    case 0:
    case 1:
    case 2:
    case 3:
            my.decimal_point = 0;
}

```

<pre> break; } redraw_object(); </pre>			
オブジェクト(名称)	数値表示(現在値_No.1)		
スクリプトユーザ ID	1		
データ形式	符号なし BIN32	トリガ種別	常時
<pre> //小数点の位置を算出しています。 switch([1-1:s16:400758]) { case -3: my.decimal_point = 3; break; case -2: my.decimal_point = 2; break; case -1: my.decimal_point = 1; break; case 0: my.decimal_point = 0; break; case 1: my.decimal_point = 0; \$V = \$\$ * 10; break; case 2: my.decimal_point = 0; \$V = \$\$ * 100; break; case 3: my.decimal_point = 0; \$V = \$\$ * 1000; break; } redraw_object(); </pre>			
オブジェクト(名称)	数値表示(カーソル情報_No.1)		
スクリプトユーザ ID	1		
データ形式	符号付き BIN32	トリガ種別	常時
<pre> //小数点の位置を算出しています。 switch([1-1:s16:400758]) { case -3: my.decimal_point = 3; break; case -2: my.decimal_point = 2; break; case -1: my.decimal_point = 1; break; case 0: my.decimal_point = 0; break; case 1: my.decimal_point = 0; \$V = \$\$ * 10; break; case 2: my.decimal_point = 0; \$V = \$\$ * 100; break; } </pre>			

```

case 3:  my.decimal_point = 0;
        $V = $$ * 1000;
        break;
}

redraw_object();

```

ベース画面 30020

オブジェクト(名称)	数値入力(ヒストリカルグラフ上限) (入力オブジェクトスクリプト)		
スクリプトユーザ ID	1		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	入力確定時
<pre> //電流乗率によりグラフ上限を設定する switch([1-248:s16:400755]) { case -3: [u16:GD61037] = \$W * 1000; break; case -2: [u16:GD61037] = \$W * 100; break; case -1: [u16:GD61037] = \$W * 10; break; case 0: [u16:GD61037] = \$W; break; case 1: [u16:GD61037] = \$W / 10; break; } </pre>			
オブジェクト(名称)	数値入力(ヒストリカルグラフ上限) (表示オブジェクトスクリプト)		
スクリプトユーザ ID	1		
データ形式	実数	トリガ種別	常時
<pre> //電流の乗率により //グラフ上限値入力範囲 //グラフ上限表示値の切捨て //グラフ上限表示値の小数点位置を算出 switch([1-1:s16:400755]) { case -3: [flt:GD61052] = 50; [flt:GD61054] = 0.001; [flt:GD61050] = [u16:GD61037] / 1000; my.decimal_point = 3; break; case -2: [flt:GD61052] = 500; [flt:GD61054] = 0.01; [flt:GD61050] = [u16:GD61037] / 100; my.decimal_point = 2; break; case -1: [flt:GD61052] = 5000; [flt:GD61054] = 0.1; [flt:GD61050] = [u16:GD61037] / 10; my.decimal_point = 1; break; } </pre>			

```

case 0:  [flt:GD61052] = 50000;
         [flt:GD61054] = 1;
         [flt:GD61050] = [u16:GD61037];
         my.decimal_point = 0;
         break;

case 1:  [flt:GD61052] = 500000;
         [flt:GD61054] = 10;
         [flt:GD61050] = [u16:GD61037] * 10;
         my.decimal_point = 0;
         break;
}

```

オブジェクト(名称)	数値表示(ヒストリカルグラフ中間)		
スクリプトユーザ ID	1		
データ形式	実数	トリガ種別	常時

```

//グラフ中間値を算出
$$V = $$ /2;

//電流の乗率により小数点位置を算出
switch([1-1:s16:400755])
{
  case -3: my.decimal_point = 3;
           break;

  case -2: my.decimal_point = 2;
           break;

  case -1: my.decimal_point = 1;
           break;

  case 0:
  case 1:
           my.decimal_point = 0;
           break;
}

redraw_object();

```

オブジェクト(名称)	数値表示(現在値_No.1)		
スクリプトユーザ ID	1		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	常時

```

//小数点の位置を算出しています。
switch([1-248:s16:400755])
{
  case -3: my.decimal_point = 3;
           break;

  case -2: my.decimal_point = 2;
           break;

  case -1: my.decimal_point = 1;
           break;

  case 0:  my.decimal_point = 0;
           break;
}

```

redraw_object();			
オブジェクト(名称)	数値表示(カーソル情報_No.1)		
スクリプトユーザ ID	1		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	常時
<pre>//小数点の位置を算出しています。 switch([1-248:s16:400755]) { case -3: my.decimal_point = 3; break; case -2: my.decimal_point = 2; break; case -1: my.decimal_point = 1; break; case 0: my.decimal_point = 0; break; } redraw_object();</pre>			

ベース画面 30023

オブジェクト(名称)	スイッチ(相線式設定_スイッチ)		
スクリプトユーザ ID	1		
データ形式	符号なし BIN16	トリガ種別	デバイス書込み時
<pre>//相線式設定値を格納 [w:GD61063] = [1-248:s16:432781[w:GD61001]];</pre>			
オブジェクト(名称)	数値入力 (一次電圧(線間電圧)) (表示プロジェクトスクリプト)		
スクリプトユーザ ID	1		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	常時
<pre>if([1-248:s16:432781[w:GD61001]] == 4) { clear_object(); } else { redraw_object(); }</pre>			
オブジェクト(名称)	数値入力 (一次電圧(相電圧)) (表示プロジェクトスクリプト)		
スクリプトユーザ ID	1		
データ形式	符号なし BIN16	トリガ種別	常時
<pre>if([1-248:s16:432781[w:GD61001]] == 4) { redraw_object(); } else { clear_object(); }</pre>			

ベース画面 30024

オブジェクト(名称)	スイッチ(センサ種別設定_スイッチ)		
スクリプトユーザ ID	1		
データ形式	符号なし BIN16	トリガ種別	デバイス書き込み時
<pre>//センサ種別を格納 [w:GD61063] = [1-248:s16:432788[w:GD61001]];</pre>			

ベース画面 30032

オブジェクト(名称)	数値表示(レベル A 超過回数_数値)、数値表示(レベル B 超過回数_数値)、数値表示(レベル C 超過回数_数値)、数値表示(レベル D 超過回数_数値)		
スクリプトユーザ ID	1		
データ形式	符号付き BIN32	トリガ種別	常時
<pre>//レベル超過回数モニタ乗率を適用します。 switch([1-248:s16:432914[s16:GD61001]]) { case 0: \$V = \$\$; break; case 1: \$V = \$\$ * 10; break; case 2: \$V = \$\$ * 100; break; case 3: \$V = \$\$ * 1000; break; } redraw_object();</pre>			

ベース画面 30033

オブジェクト(名称)	数値表示(レベル A 超過回数_数値)、数値表示(レベル B 超過回数_数値)、数値表示(レベル C 超過回数_数値)、数値表示(レベル D 超過回数_数値)		
スクリプトユーザ ID	1		
データ形式	符号付き BIN32	トリガ種別	常時
<pre>//レベル超過回数モニタ乗率を適用します。 switch([1-248:s16:432915[s16:GD61001]]) { case 0: \$V = \$\$; break; case 1: \$V = \$\$ * 10; break; case 2: \$V = \$\$ * 100; break; }</pre>			

```

case 3:
    $V = $$ * 1000;
    break;
}

redraw_object();

```

ベース画面 30034

オブジェクト(名称)	数値表示(レベル A 超過回数_数値)、数値表示(レベル B 超過回数_数値)、 数値表示(レベル C 超過回数_数値)、数値表示(レベル D 超過回数_数値)		
スクリプトユーザ ID	1		
データ形式	符号付き BIN32	トリガ種別	常時
<pre> //レベル超過回数モニタ乗率を適用します。 switch([1-248:s16:432916[s16:GD61001]]) { case 0: \$V = \$\$; break; case 1: \$V = \$\$ * 10; break; case 2: \$V = \$\$ * 100; break; case 3: \$V = \$\$ * 1000; break; } redraw_object(); </pre>			

ベース画面 30035

オブジェクト(名称)	数値表示(レベル A 超過回数_数値)、数値表示(レベル B 超過回数_数値)、 数値表示(レベル C 超過回数_数値)、数値表示(レベル D 超過回数_数値)		
スクリプトユーザ ID	1		
データ形式	符号付き BIN32	トリガ種別	常時
<pre> //レベル超過回数モニタ乗率を適用します。 switch([1-248:s16:432917[s16:GD61001]]) { case 0: \$V = \$\$; break; case 1: \$V = \$\$ * 10; break; case 2: \$V = \$\$ * 100; break; case 3: \$V = \$\$ * 1000; </pre>			

```

break;
}

redraw_object();

```

ベース画面 30041

オブジェクト(名称)	数値表示(パルス換算値 1_数値)		
スクリプトユーザ ID	1		
データ形式	符号付き BIN32	トリガ種別	常時
<pre> //パルス換算率よりパルス換算値の小数点位置を算出 [s32:TMP809] = [1-248:s32:432812[s16:GD61001]]; //パルス換算率をテンポラリワークに格納 if([s32:TMP809] < 10) { //0.01 未満の場合 : 小数 3 桁 my.decimal_point = 3; } else { if([s32:TMP809] < 100) { //0.01 以上 0.1 未満の場合 : 小数 2 桁 my.decimal_point = 2; } else { if([s32:TMP809] < 1000) { //0.1 以上 1 未満の場合 : 小数 1 桁 my.decimal_point = 1; } else { if([s32:TMP809] < 10000) { //1 以上 10 未満の場合 : 整数 my.decimal_point = 0; } else { if([s32:TMP809] < 100000) { //10 以上 100 未満の場合 : ×10 my.decimal_point = 0; \$V = \$\$ * 10; } else { if([s32:TMP809] < 1000000) { //100 以上 1000 未満の場合 : ×100 my.decimal_point = 0; \$V = \$\$ * 100; } else { //1000 以上の場合 : ×1000 </pre>			


```

        my.decimal_point = 0;
        $V = $$ * 1000;
    }
}
}
}
}
}
}
}
}

```

redraw_object();

オブジェクト(名称)	数値表示(パルス換算値 2_数値)		
スクリプトユーザ ID	1		
データ形式	符号付き BIN32	トリガ種別	常時

```

//パルス換算率よりパルス換算値の小数点位置を算出
[s32:TMP811] = [1-248:s32:432930[s16:GD61001]]; //パルス換算率をテンポラリワークに格納
if([s32:TMP811] < 10)
{
    //0.01 未満の場合 : 小数 3 桁
    my.decimal_point = 3;
}
else
{
    if([s32:TMP811] < 100)
    {
        //0.01 以上 0.1 未満の場合 : 小数 2 桁
        my.decimal_point = 2;
    }
    else
    {
        if([s32:TMP811] < 1000)
        {
            //0.1 以上 1 未満の場合 : 小数 1 桁
            my.decimal_point = 1;
        }
        else
        {
            if([s32:TMP811] < 10000)
            {
                //1 以上 10 未満の場合 : 整数
                my.decimal_point = 0;
            }
            else
            {
                if([s32:TMP811] < 100000)
                {
                    //10 以上 100 未満の場合 : ×10
                    my.decimal_point = 0;
                    $V = $$ * 10;
                }
                else
                {
                    if([s32:TMP811] < 1000000)
                    {
                        //100 以上 1000 未満の場合 : ×100
                        my.decimal_point = 0;
                        $V = $$ * 100;
                    }
                }
            }
        }
    }
}

```

```

}
else
{
//1000 以上の場合 : ×1000
my.decimal_point = 0;
$V = $$ * 1000;
}
}
}
}
}
}
}
}
}

```

redraw_object();

オブジェクト(名称)	数値表示(パルス換算値 3_数値)		
スクリプトユーザ ID	1		
データ形式	符号付き BIN32	トリガ種別	常時

```

//パルス換算率よりパルス換算値の小数点位置を算出
[s32:TMP813] = [1-248:s32:432933[s16:GD61001]]; //パルス換算率をテンポラリワークに格納
if([s32:TMP813] < 10)
{
//0.01 未満の場合 : 小数 3 桁
my.decimal_point = 3;
}
else
{
if([s32:TMP813] < 100)
{
//0.01 以上 0.1 未満の場合 : 小数 2 桁
my.decimal_point = 2;
}
else
{
if([s32:TMP813] < 1000)
{
//0.1 以上 1 未満の場合 : 小数 1 桁
my.decimal_point = 1;
}
else
{
if([s32:TMP813] < 10000)
{
//1 以上 10 未満の場合 : 整数
my.decimal_point = 0;
}
else
{
if([s32:TMP813] < 100000)
{
//10 以上 100 未満の場合 : ×10
my.decimal_point = 0;
$V = $$ * 10;
}
else
{
if([s32:TMP813] < 1000000)

```

```
{
  //100 以上 1000 未満の場合 : ×100
  my.decimal_point = 0;
  $V = $$ * 100;
}
else
{
  //1000 以上の場合 : ×1000
  my.decimal_point = 0;
  $V = $$ * 1000;
}
}
}
}
}
```

redraw_object();

オブジェクト(名称)	数値表示(パルス換算値 4_数値)		
スクリプトユーザ ID	1		
データ形式	符号付き BIN32	トリガ種別	常時

```
//パルス換算率よりパルス換算値の小数点位置を算出
[s32:TMP815] = [1-248:s32:432936[s16:GD61001]]; //パルス換算率をテンポラリワークに格納
if([s32:TMP815] < 10)
{
  //0.01 未満の場合 : 小数 3 桁
  my.decimal_point = 3;
}
else
{
  if([s32:TMP815] < 100)
  {
    //0.01 以上 0.1 未満の場合 : 小数 2 桁
    my.decimal_point = 2;
  }
  else
  {
    if([s32:TMP815] < 1000)
    {
      //0.1 以上 1 未満の場合 : 小数 1 桁
      my.decimal_point = 1;
    }
    else
    {
      if([s32:TMP815] < 10000)
      {
        //1 以上 10 未満の場合 : 整数
        my.decimal_point = 0;
      }
      else
      {
        if([s32:TMP815] < 100000)
        {
          //10 以上 100 未満の場合 : ×10
          my.decimal_point = 0;
          $V = $$ * 10;
        }
      }
    }
  }
}
```

```

    }
    else
    {
        if([s32:TMP815] < 1000000)
        {
            //100 以上 1000 未満の場合 : ×100
            my.decimal_point = 0;
            $V = $$ * 100;
        }
        else
        {
            //1000 以上の場合 : ×1000
            my.decimal_point = 0;
            $V = $$ * 1000;
        }
    }
}
}
}
}
}
}
}

redraw_object();

```

ウィンドウ画面 30002

オブジェクト(名称)	数値表示(変更_年)		
スクリプトユーザ ID	1		
データ形式	符号なし BIN16	トリガ種別	立上り GB40
<pre> //時計データより本日の年月を取得 [w:TMP0] = [w:GS650] & 0xF000;//設定用時計データより年の下 2 桁の 10 の位を取得 [w:TMP10] = [w:TMP0] >> 12;//桁合せ [w:TMP20] = [w:TMP10] * 10;//BCD->BIN [w:TMP1] = [w:GS650] & 0x0F00;//設定用時計データより年の下 2 桁の 1 の位を取得 [w:TMP11] = [w:TMP1] >> 8;//BCD->BIN [w:TMP100] = 2000 + [w:TMP20] + [w:TMP11];//TMP100 に年を BIN でセット [w:GD63990] = [w:TMP100];//年をセット [w:TMP2] = [w:GS650] & 0x00F0;//設定用時計データより月の 10 の位を取得 [w:TMP12] = [w:TMP2] >> 4;//桁合せ [w:TMP22] = [w:TMP12] * 10;//BCD->BIN [w:TMP3] = [w:GS650] & 0x000F;//設定用時計データより月の 1 の位を取得 [w:TMP101] = [w:TMP22] + [w:TMP3];//TMP101 に月を BIN でセット [w:GD63991] = [w:TMP101];//月をセット [w:TMP4] = [w:GS651] & 0xF000;//設定用時計データより日の下 2 桁の 10 の位を取得 [w:TMP14] = [w:TMP4] >> 12;//桁合せ [w:TMP24] = [w:TMP14] * 10;//BCD->BIN [w:TMP5] = [w:GS651] & 0x0F00;//設定用時計データより日の下 2 桁の 1 の位を取得 [w:TMP15] = [w:TMP5] >> 8;//BCD->BIN [w:TMP102] = [w:TMP24] + [w:TMP15];//TMP102 に日を BIN でセット [w:GD63992] = [w:TMP102];//日をセット [w:TMP6] = [w:GS651] & 0x00F0;//設定用時計データより時の 10 の位を取得 [w:TMP16] = [w:TMP6] >> 4;//桁合せ [w:TMP26] = [w:TMP16] * 10;//BCD->BIN [w:TMP7] = [w:GS651] & 0x000F;//設定用時計データより時の 1 の位を取得 [w:TMP103] = [w:TMP26] + [w:TMP7];//TMP103 に時を BIN でセット </pre>			

[w:GD63993] = [w:TMP103]; //時をセット			
[w:TMP8] = [w:GS652] & 0xF000; //設定用時計データより分の下 2 桁の 10 の位を取得			
[w:TMP18] = [w:TMP8] >> 12; //桁合せ			
[w:TMP28] = [w:TMP18] * 10; //BCD->BIN			
[w:TMP9] = [w:GS652] & 0x0F00; //設定用時計データより分の下 2 桁の 1 の位を取得			
[w:TMP19] = [w:TMP9] >> 8; //BCD->BIN			
[w:TMP104] = [w:TMP28] + [w:TMP19]; //TMP104 に分を BIN でセット			
[w:GD63994] = [w:TMP104]; //分をセット			
[w:TMP1000] = [w:GS652] & 0x00F0; //設定用時計データより秒の 10 の位を取得			
[w:TMP1010] = [w:TMP1000] >> 4; //桁合せ			
[w:TMP1020] = [w:TMP1010] * 10; //BCD->BIN			
[w:TMP1001] = [w:GS652] & 0x000F; //設定用時計データより秒の 1 の位を取得			
[w:TMP105] = [w:TMP1020] + [w:TMP1001]; //TMP105 に秒を BIN でセット			
[w:GD63995] = [w:TMP105]; //秒をセット			
オブジェクト(名称)	数値表示(変更_月)		
スクリプトユーザ ID	2		
データ形式	符号なし BIN16	トリガ種別	常時
// BIN -> BCD 変換			
[w:TMP200] = [w:GD63990] - 2000; // 年の下 2 桁			
[w:TMP201] = (([w:TMP200] / 10) << 4) + ([w:TMP200] % 10); // 年 BIN -> BCD			
[w:TMP202] = (([w:GD63991] / 10) << 4) + ([w:GD63991] % 10); // 月 BIN -> BCD			
[w:TMP203] = (([w:GD63992] / 10) << 4) + ([w:GD63992] % 10); // 日 BIN -> BCD			
[w:TMP204] = (([w:GD63993] / 10) << 4) + ([w:GD63993] % 10); // 時 BIN -> BCD			
[w:TMP205] = (([w:GD63994] / 10) << 4) + ([w:GD63994] % 10); // 分 BIN -> BCD			
[w:TMP206] = (([w:GD63995] / 10) << 4) + ([w:GD63995] % 10); // 秒 BIN -> BCD			
オブジェクト(名称)	数値表示(変更_日)		
スクリプトユーザ ID	3		
データ形式	符号なし BIN16	トリガ種別	常時
// 年月設定			
[w:GS513] = ([w:TMP201] << 8) + [w:TMP202]; // 変更時刻デバイスに年月セット			
オブジェクト(名称)	数値表示(変更_時)		
スクリプトユーザ ID	4		
データ形式	符号なし BIN16	トリガ種別	常時
// 日時設定			
[w:GS514] = ([w:TMP203] << 8) + [w:TMP204]; // 変更時刻デバイスに日時セット			
オブジェクト(名称)	数値表示(変更_分)		
スクリプトユーザ ID	5		
データ形式	符号なし BIN16	トリガ種別	常時
// 分秒設定			
[w:GS515] = ([w:TMP205] << 8) + [w:TMP206]; // 変更時刻デバイスに分秒セット			

オブジェクト(名称)	数値表示(変更_秒)		
スクリプトユーザ ID	6		
データ形式	符号なし BIN16	トリガ種別	常時
<pre>// 曜日設定 [w:TMP211] = [w:GD63990]; //年(BIN) [w:TMP212] = [w:GD63991]; //月(BIN) [w:TMP213] = [w:GD63992]; //日(BIN) if(([w:TMP212] == 1) ([w:TMP212] == 2)) { //1・2月の場合のみ前年の13・14月として計算するための補正処理 [w:TMP211] = [w:TMP211] - 1; //年から1を減算 [w:TMP212] = [w:TMP212] + 12; //月に12を加算 } [w:TMP220] = [w:TMP211]/4; //ツェラーの公式に必要な項を作成 [w:TMP221] = [w:TMP211]/100; //ツェラーの公式に必要な項を作成 [w:TMP222] = [w:TMP211]/400; //ツェラーの公式に必要な項を作成 [w:TMP223] = (13*[w:TMP212]+8)/5; //ツェラーの公式に必要な項を作成 //ツェラーの公式で曜日算出して変更時刻デバイスに曜日をセット [w:GS516] = ([w:TMP211]+[w:TMP220]-[w:TMP221]+[w:TMP222]+[w:TMP223]+[w:TMP213])%7;</pre>			

ウィンドウ画面 30011

オブジェクト(名称)	スイッチ(OK)		
スクリプトユーザ ID	1		
データ形式	符号なし BIN16	トリガ種別	立上り GB61020
<pre>//設定回路値によりレジスタアドレスを変更する if([w:GD61000] == 1) { [1-248:s16:400513] = [w:GD61063]; //回路1の場合 } else { [1-248:s16:432781[u16:GD61001]] = [w:GD61063]; //回路1以外の場合 } </pre>			

ウィンドウ画面 30012

オブジェクト(名称)	スイッチ(OK)		
スクリプトユーザ ID	1		
データ形式	符号なし BIN16	トリガ種別	立上り GB61020
<pre>//設定回路値によりレジスタアドレスを変更する if([w:GD61000] == 1) { [1-248:s16:400532] = [w:GD61063]; //回路1の場合 } else { [1-248:s16:432788[u16:GD61001]] = [w:GD61063]; //回路1以外の場合 } </pre>			

6. GOT 上での MODBUS®アドレスの指定方法について

GOT (GT Designer3) 上で使用するデバイスは、使用する MODBUS®機器のアドレスマップに応じて GT Designer3 上でのデバイス番号に置き換えて使用してください。MODBUS®アドレスの詳細については、「GOT1000 シリーズ接続マニュアル (マイコン・MODBUS® 周辺機器接続編)」を参照してください。

6.1 アドレスの置き換え方法

保持レジスタのアドレス「1234H」をモニタしたい場合保持レジスタは GT Designer3 上ではアドレス「4*****」となります。GT Designer3 ではアドレス番号は 10 進数を使用しますので、「1234H」を 10 進数に変換して「04660」となります。また GT Designer3 上のアドレス番号は、保持レジスタの場合「1」からとなりますので、上記アドレスに「+1」したアドレスとなります。よって保持レジスタのアドレス「1234H」は、GT Designer3 上では「404661」となります。

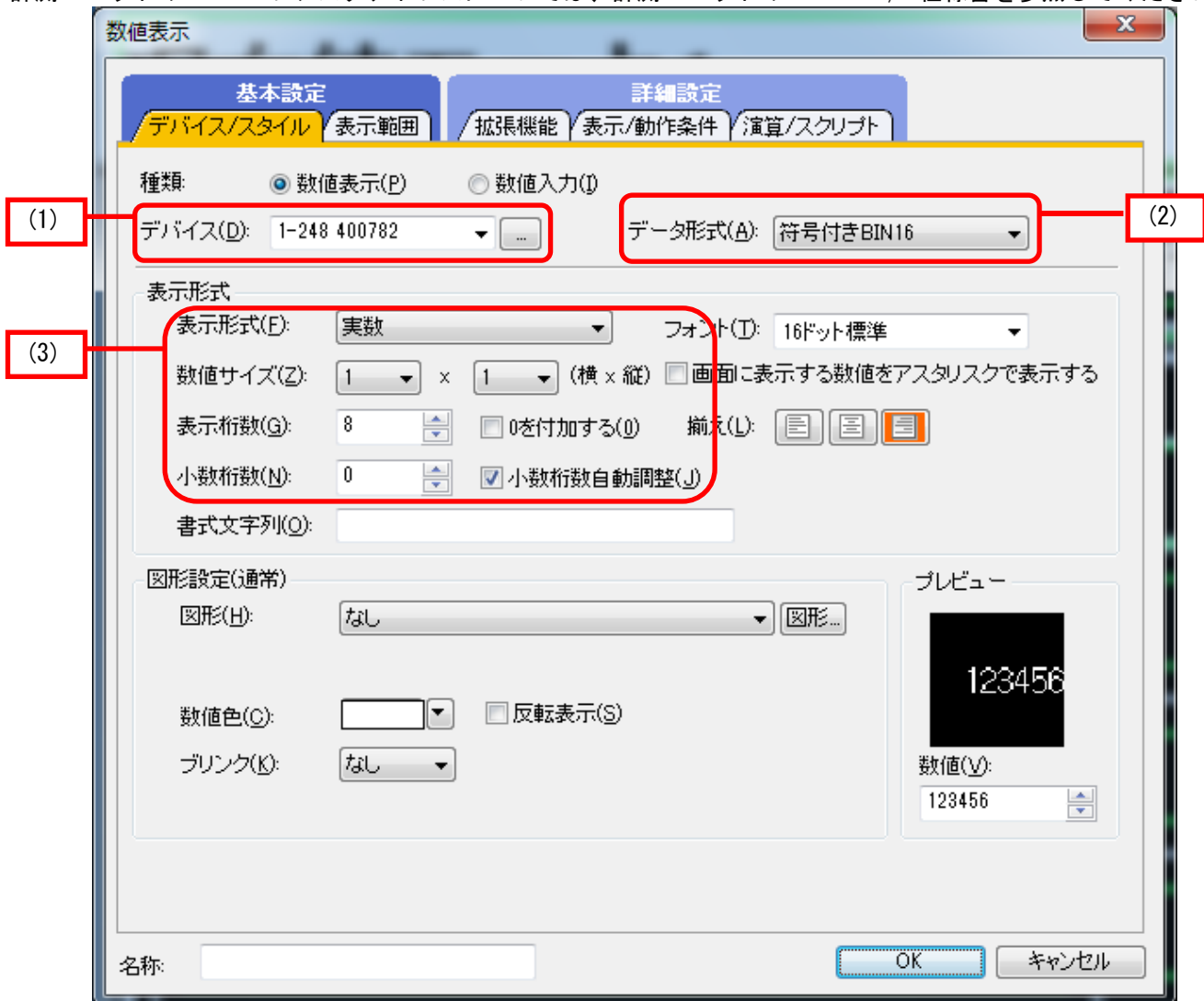
6.2 計測ユニットの計測値をモニタ表示する例

実際の計測値は、モニタしたデータ値に乗率 ($\times 10^n$) を乗じた値となります。そのため、スクリプトにてモニタしたデータ値に乗率を乗じた値を表示する必要があります。以下に、回路 1 の線間電圧現在値 (平均) の計測値を表示する場合の例を示します。

6.2.1 線間電圧現在値 (平均) のデバイス設定

ここでは、線間電圧現在値 (平均) をモニタ表示するためのデバイス設定の例を示します。

計測ユニットの MODBUS®レジスタアドレスについては、計測ユニットの MODBUS I/F 仕様書を参照してください。



(1) デバイスの設定

デバイスの設定では、MODBUS®レジスタアドレスの設定およびネットワーク設定を行います

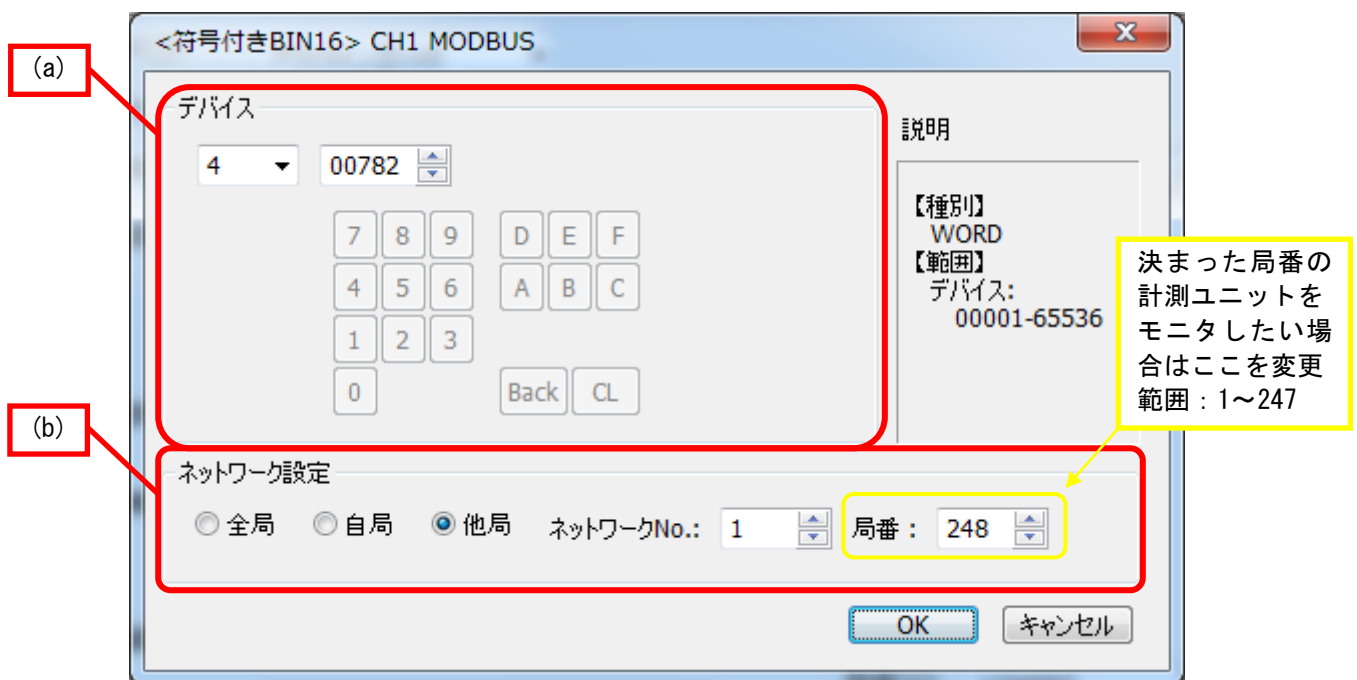
(a) MODBUS®レジスタアドレスの設定

線間電圧現在値(平均)のMODBUS®レジスタアドレスは、「781(10進)」のため、GT Designer3 上では「400782」となります。

(b) ネットワーク設定

モニタ対象計測ユニットの局番を設定します。

項目	設定値	内容
ネットワーク設定	他局	他局の計測ユニットをモニタする場合に選択します。 選択後、モニタする接続機器のネットワーク No. と局番を設定します。
ネットワーク No.	1	1 を設定してください。
局番	248	計測ユニットの局番を設定します。 局番に 248 を設定した場合は、GD10 の値がモニタ対象計測ユニットの局番になります。(サンプルでは、GD10 に局番を設定しています。) * モニタ対象計測ユニットの局番をそのまま指定もできます。 (設定範囲 1~247)



(2) データ形式の設定

線間電圧現在値(平均)のバイト数は、2 バイトのためデータ形式に「符号付 BIN16」を設定します。

電力量など 4 バイトの MODBUS®レジスタアドレスでは、データ形式に「符号付き BIN32」を設定してください。

バイト数については、計測ユニットの MODBUS I/F 仕様書を参照してください。

(3) 表示形式の設定

項目	設定値	備考
表示形式	実数	小数を表示するため実数を設定します。
表示桁数	8	符号、乗率、小数点を加味して設定します。
小数点桁数	0	スクリプトにて設定をしているため 0 を設定しています。
小数桁数自動調整	チェック	スクリプトにて設定をしているため小数桁数自動調整を設定しています。

6.2.2 線間電圧現在値(平均)のスク립ト設定

モニタしたデータ値に乗率($\times 10^n$)を乗じた値を表示させるため、スク립トにてモニタしたデータ値に乗率($\times 10^n$)を乗じます。以下にスク립トの例を示します。

モニタ項目により、乗率のレジスタアドレスおよび乗率の範囲を変更してください。

データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	常時
<pre>//小数点の位置を算出しています。 switch ([1-248:s16:400756]) { case -3: my.decimal_point = 3; break; case -2: my.decimal_point = 2; break; case -1: my.decimal_point = 1; break; case 0: my.decimal_point = 0; break; case 1: my.decimal_point = 0; \$V = \$\$ * 10; break; } redraw_object();</pre>			

電圧 乗率
のレジスタアドレス

乗率の値により、
小数桁数の設定、データ演算を行う。
乗率=-3 ⇒ 小数桁数=3
乗率=1 ⇒ 小数桁数=0、乗率= $\times 10$

7. グラフ・ロギングについて

電力量グラフ・総合電流グラフは、ロギング機能を使用して電力量・総合電流の計測値をロギングし、ヒストリカルトレンドグラフ表示しています。サンプル画面では、局番1の回路1の計測ユニットの電力量・総合電流をロギングし、グラフ表示しています。ロギング機能・ヒストリカルトレンドグラフの詳細については、「GT Designer3 Version1 画面設計マニュアル(作画編)」を参照してください。

7.1 ロギング詳細

サンプル画面にてロギング設定を行っている詳細を記載します。

ロギング ID	ロギング内容	ロギング詳細	ロギング期間
30001	1時間電力量ロギング	毎00分(1時間ごと)に計測ユニットの電力量をロギングしています。 また、毎00時(1日ごと)にロギングしたデータをCSVファイル形式でSDカードに保存しています。	62日間 (24時間×62ファイル)
30002	1日間電力量ロギング	毎00時(1日ごと)に計測ユニットの電力量をロギングしています。 また、01日(1ヶ月ごと)にロギングしたデータをCSVファイル形式でSDカードに保存しています。	24ヶ月 (1日×24ファイル)
30003	1ヶ月間電力量ロギング	01日(1ヶ月ごと)に計測ユニットの電力量をロギングしています。 また、1月1日(1年ごと)にロギングしたデータをCSVファイル形式でSDカードに保存しています。	3年間 (12ヶ月×3ファイル)
30004	1分総合電流ロギング	毎00秒(1分ごと)に計測ユニットの総合電流をロギングしています。	31分(31件×1ファイル)
30005	10分総合電流ロギング	毎0分(10分ごと)に計測ユニットの総合電流をロギングしています。	310分(31件×1ファイル)
30006	1時間総合電流ロギング	毎00分(1時間ごと)に計測ユニットの総合電流をロギングしています。	31時間(31件×1ファイル)
30007	1日間総合電流ロギング	毎00時(1日ごと)に計測ユニットの総合電流をロギングしています。	31日(31件×1ファイル)

* ロギングしている電力量・総合電流は、乗率を加味していないデータです。

7.1.1 電力量ロギングデータファイルの仕様

電力量のロギングデータを、SDカードの「Project1¥LOG3000*」（*はロギング ID により異なります）フォルダ内に CSV ファイル形式で保存しています。

項目	説明
ファイル名	“LOG3000*_” + yyyyymmdd + “_” + hhmmss + “_” + **** + “.csv” LOG3000*_ : ロギング ID (*はロギング ID により異なります。) yyyyymmdd : 年月日 hhmmss : 時分秒 **** : ファイル番号 (ファイルが作成された順番) 例) LOG30001_20150702_000000_0001.csv 2015年7月1日0時~7月2日0時の1時間電力量ロギング CSV ファイル
ファイル内容	ロギング周期ごとの電力量データを記録
1行目	「:LOG」という文字列を固定出力します。
2行目	ロギング ID、ロギング名称を出力します。
3行目	ファイル名の最後に付くファイル番号を出力します。
4行目	デバイス数を出力します。
5行目	ロギングの件数を出力します。
6行目	デバイスコメントを出力します。
7行目	デバイス形式 (BIN32 : 符号付 BIN32 または符号なし BIN32) を出力します。
8行目	表示形式 (DEC : 符号付き 10 進) を出力します。
9行目	デバイスのサイズを出力します。(2:ワードデバイス (32 ビット))
10行目	電力量を収集した時刻、収集した電力量を出力します。
:	
:	
n行目	電力量を収集した時刻、収集した電力量を出力します。

<出力例>

2015年07月01日のロギング ID30001 : 1時間電力量ロギングの CSV ファイル例

ファイル名 : LOG30001_20150702_000000_0001.CSV

```

:LOG
:LOGGING_ID, 30001, "ロギング 1"
:SERIAL_ID, 1
:DEVICE_NUM, 1
:RECORD_NUM, 24
:DEV_COMMENT,
:DEV_TYPE, BIN32
:DISP_TYPE, DEC
:DEV_SIZE, 2
2015/07/01 01:00:00, 166232
2015/07/01 02:00:00, 166252
2015/07/01 03:00:00,
2015/07/01 04:00:00, 166286
2015/07/01 06:00:00, 166301
. . . . .
. . . . .
. . . . .
2015/07/01 23:00:00, 168032
2015/07/02 00:00:00, 168062
  
```

*1 電力量のデータは、乗率を乗算していない値です。

*2 2015/07/01 01:00:00 のデータは、2015/07/01 01:00:00 にロギングした電力量 (指示値) です。
2015/07/01 01:00:00~2015/07/01 02:00:00 の間に使用した電力量を求めたい場合は、

ロギングされた電力量の差によって求めてください。

また、電力量(指示値)は、999999(9の6桁)まで積算をすると0に戻ります。

*3 通信エラー等で計測ユニットから電力量を収集できなかった場合、電力量のデータはブランクになります。

*4 GOTが停電期間中のロギングデータはありません。

*5 ファイルを保存するタイミングで GOTが停電していた場合のファイルを保存するタイミングは以下のようになります。

ロギング内容	停電時間	ファイルを保存するタイミング
1時間電力量ロギング	00時00分00秒	ロギング件数が24件に達した時
1日間電力量ロギング	01日00時00分00秒	ロギング件数が31件に達した時
1ヶ月間電力量ロギング	01月01日00時00分00秒	ロギング件数が12件に達した時

7.2 ログ項目を追加する例

サンプル画面では、局番1の回路1の計測ユニットの電力量および総合電流のみログしています。
局番1の回路1以外の計測ユニットのデータや、電力量・総合電流以外の項目をログしたい場合に以下の例を参考にログ項目を追加してください。

例：局番2の回路1の計測ユニットの総合電流を追加

- (1) ブロック数を1→2に変更
- (2) No. 2 に以下の設定を行う。

項目	設定値	設定内容
デバイス	1-2 400773	追加するログ項目のデバイスを設定してください。 デバイスは、計測ユニットの MODBUS I/F 仕様書および 6.2 計測ユニットの計測値をモニタ表示する例を参照してください。
デバイス形式	符号付き BIN16	デバイスのバイト数により変更してください。 バイト数は、計測ユニットの MODBUS I/F 仕様書を参照してください。 デバイスのバイト数が 2 の場合：符号付き BIN16 デバイスのバイト数が 4 の場合：符号付き BIN32
点数	1	ログ項目点数を設定します。 連続するデバイス(レジスタアドレス)をログする場合に設定をします。 例：1 相電流現在値(デバイス：1-1 400769)～3 相電流現在値(デバイス：1-1 400771)まで 3 点をログする場合は、デバイスに 1 相電流現在値のデバイス(1-1 400769)を設定し、点数に 3 を設定します。

(1) ログ項目数を設定

ブロック数(B): 2

No.	デバイス	デバイス形式	点数	最大文字数(半角)	デバイスコメント	ファイル出力属性	
						表示形式	表示桁数
1	1-1 400773	符号付きBIN16	1	-		符号付き10進	6
2	1-2 400773	符号付きBIN16	1	-		符号付き10進	6

(2) 追加項目のデバイスを設定

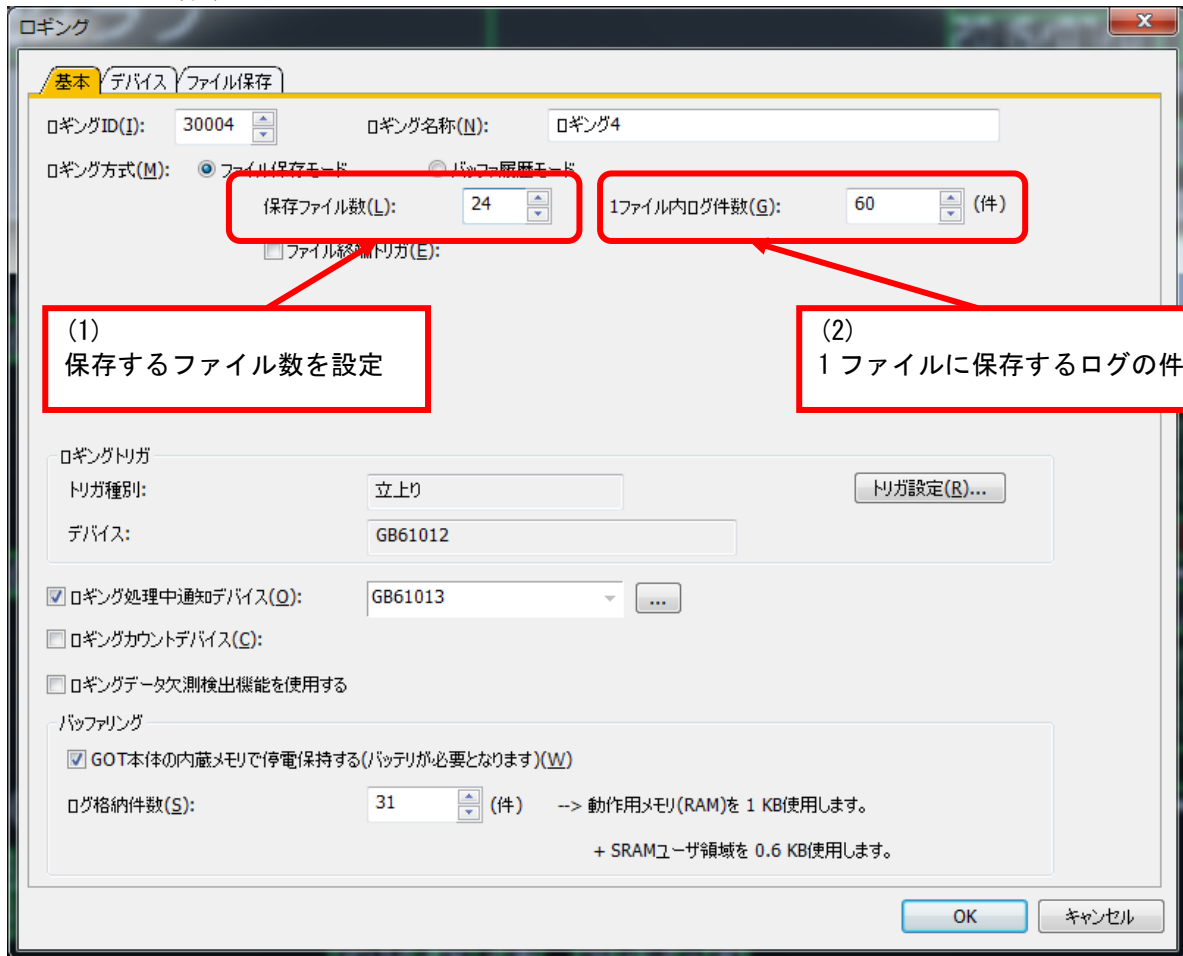
7.3 ヒストリカルトレンドグラフに表示する過去データを増やす例

ヒストリカルトレンドグラフでは、ロギングでバッファリングエリアやメモリカードに収集、蓄積したデータが、グラフとして表示されます。ロギング設定(ファイル数・ログ件数)を変更することにより、過去のデータを増やすことができます。以下の例を参考にロギング設定を変更してください。

例：1分総合電流ロギングを1440件(1日間)ロギングする例

ロギング設定の保存ファイル数および1ファイル内ログ件数を変更することによりロギング期間を増やすことができます。以下の例では、1ファイルに60件(1時間分)保存し、24ファイル(24時間)保存をすることで、1440件(1日間)のロギングをしています。

- (1) 保存ファイル数 : 24
- (2) 1ファイル内ログ件数 : 60



7.4 追加したロギング項目をヒストリカルトレンドグラフに表示する例

追加したロギング項目をヒストリカルトレンドグラフに表示するための例を記載します。

- ・ロギング項目を切り換えて表示
- ・グラフ上に線を追加して表示

7.4.1 ロギング項目を切り換えて表示する例

オフセットデバイス(総合電流グラフでは、「GD61035」が設定済み)の値によってヒストリカルトレンドグラフに表示するロギング項目を切り換えて表示します。ただし、現在値の値および上限値の範囲(表示)は「GD61035」の値を変更しただけでは切り替わりません。

例：総合電流グラフにロギング No. 切換(オフセットデバイス)スイッチを追加

- (1) オフセットデバイスを加算するスイッチを画面に追加。
- (2) スイッチにオフセットデバイス(GD61035)に+1 を加算。
- (3) オフセットにより、デバイスが範囲外にならないように初期値条件を設定。

(1)

総合電流グラフ

15.07.17 10:40

局番: 1 回路: 1

ロギング No. 切換

1分 10分 1時間 1日

現在値 75.2

カーソル情報 00/00 00:00:00 0.0

07/17 10:09:00 << >> 更新 07/17 10:40:00

メニュー 現在値 電力量グラフ パラメータ設定 アラーム履歴

スイッチ

基本設定 スタイル* 文字* 拡張機能 動作条件 スクリプト

動作リスト:

動作	設定	動作追加
1	ワードセット GD61035 GD61035 + 1	ビット(B)... ワード(W)... 初期値条件(E)... 切換え(H)... ワード(O)... ワード表示(B)...

動作(ワード)

デバイス(D): GD61035

データ形式(I): 符号付きBIN16

モード(M): データ加算 変化量: 1

初期値条件(L)
デバイス値が条件値を上回る/下回る場合、リセット値がデバイスに書き込まれます。

条件値(U): 1 リセット値(E): 0

OK キャンセル

名称: ランプへ変更... OK キャンセル

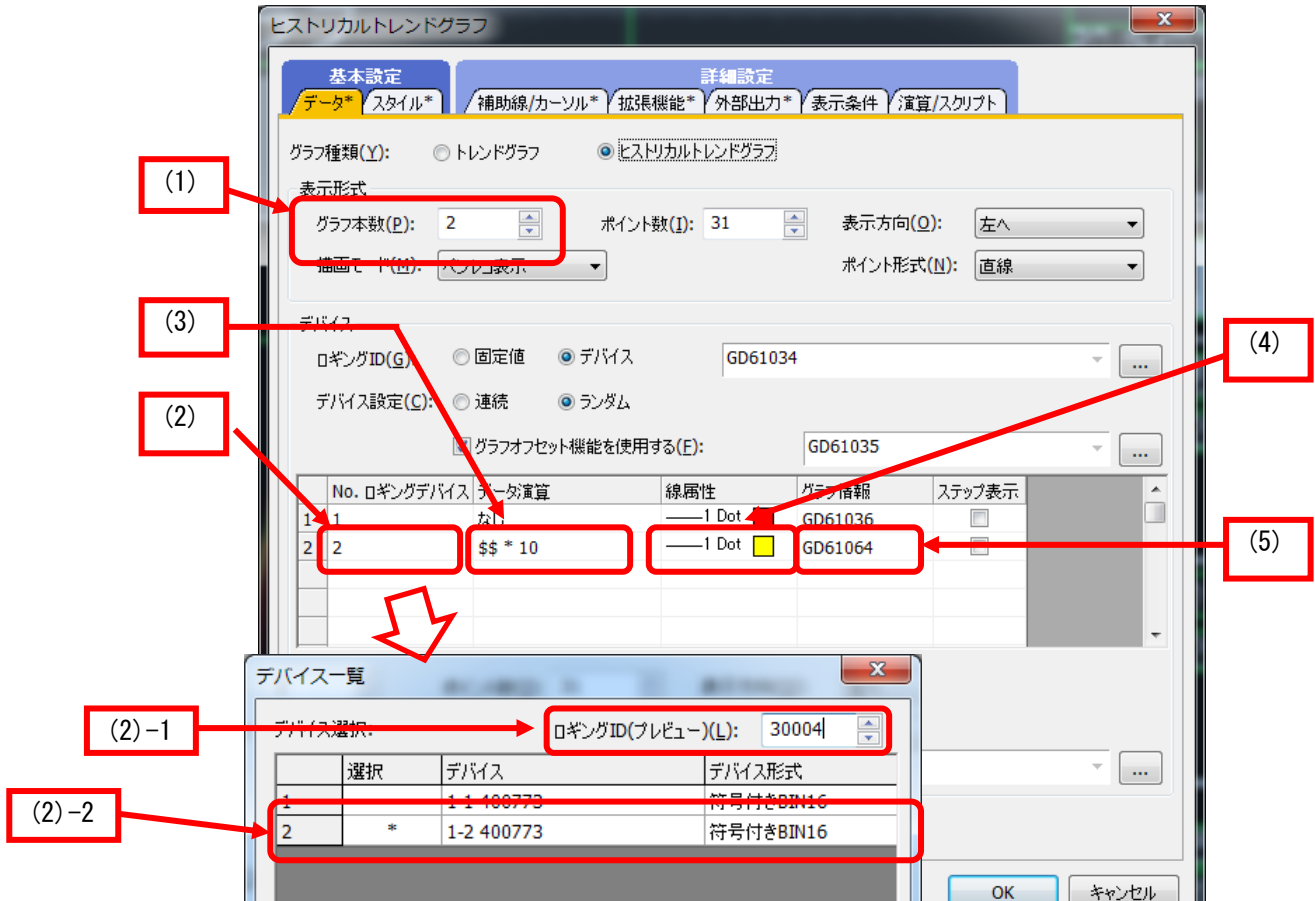
(2)

(3)

7.4.2 グラフ上に線を追加して表示する例

ヒストリカルトレンドグラフのグラフ本数を増やすことで、追加したロギング項目を表示させることができます。同一時刻のロギングデータを1グラフ上で比較表示できます。

- (1) グラフ上に表示するグラフ本数を設定：2
- (2) [デバイス一覧]ダイアログで、ロギング No. を選択します。
 - (2)-1 ロギング ID(プレビュー)にて、ロギング項目を追加したロギング ID を設定します。
 - (2)-2 追加表示するロギング項目を選択します。
- (3) 表示するロギング項目の乗率が異なる場合にデータ演算を設定します。
以下例では No. 1 の乗率=1、No. 2 の乗率=10
- (4) グラフに表示する線の色を設定します。
- (5) カーソル位置の値を格納するデバイスを設定します。(乗率(データ演算)が乗算されていない値です。)



例：グラフ上に線を追加

